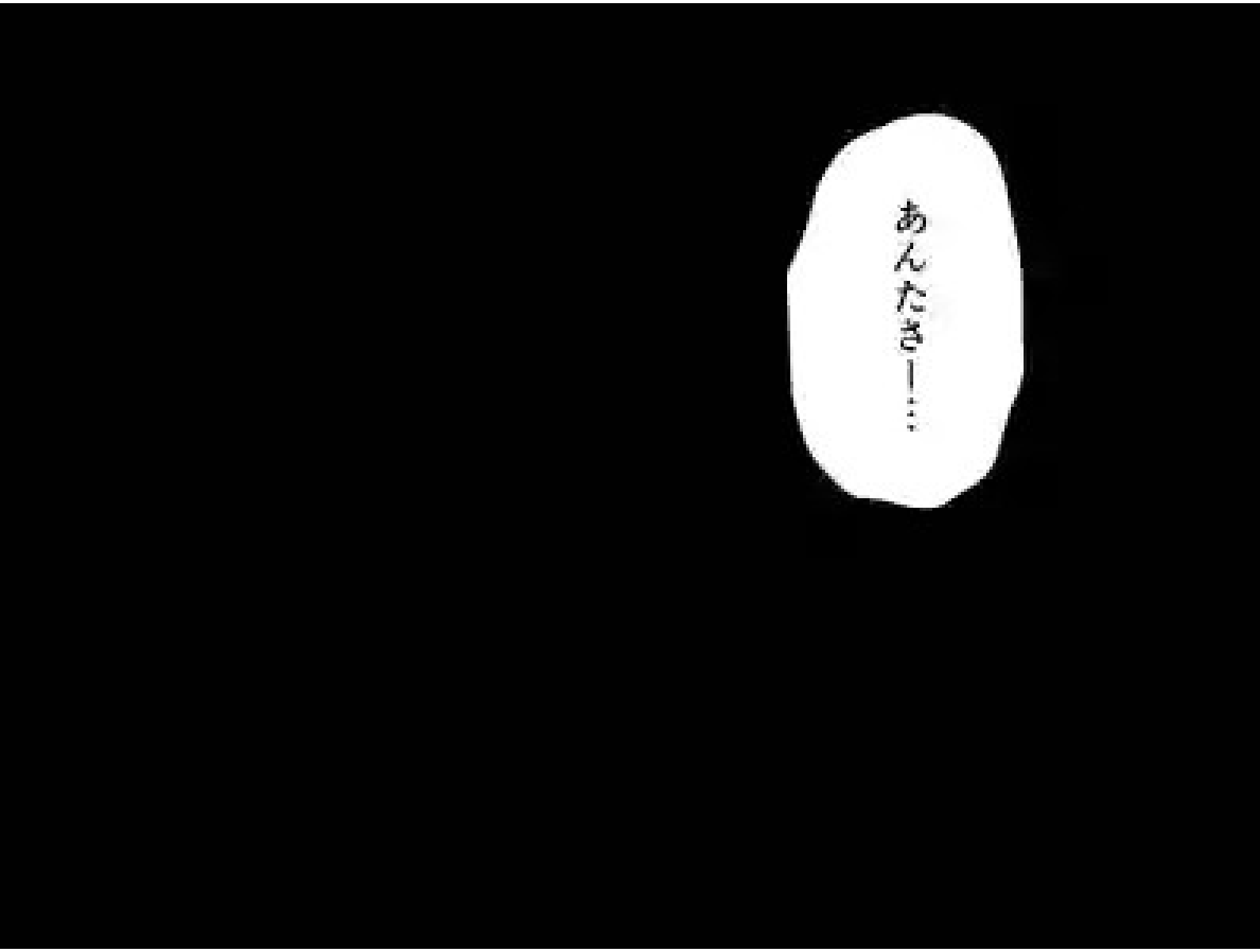
杜戸先生と
苔田ママを
レズらせて
3Pしてみた夜ー
と…その後の話。

この作品は、パソコンなどでの閲覧を想定して制作された
「デジタルコミック」となっています。

ところどころ、ＧＩＦアニメを活用した動く演出が用いられておりますので、
閲覧に際しては、ＧＩＦアニメが再生可能なビューワソフトを
ご使用なさることを推奨いたします。

この赤丸が左右に動いて見えていれば
再生環境はバッチリです。

ZIN


あんたさー…

前に私の事好きって
言ってなかった？

目の前に―
杜戸…先生の…
怖い顔…

それが何？
恋人ができた…？
聞いてないんだけど

しかも
相手は
子持ちの
人妻じゃない

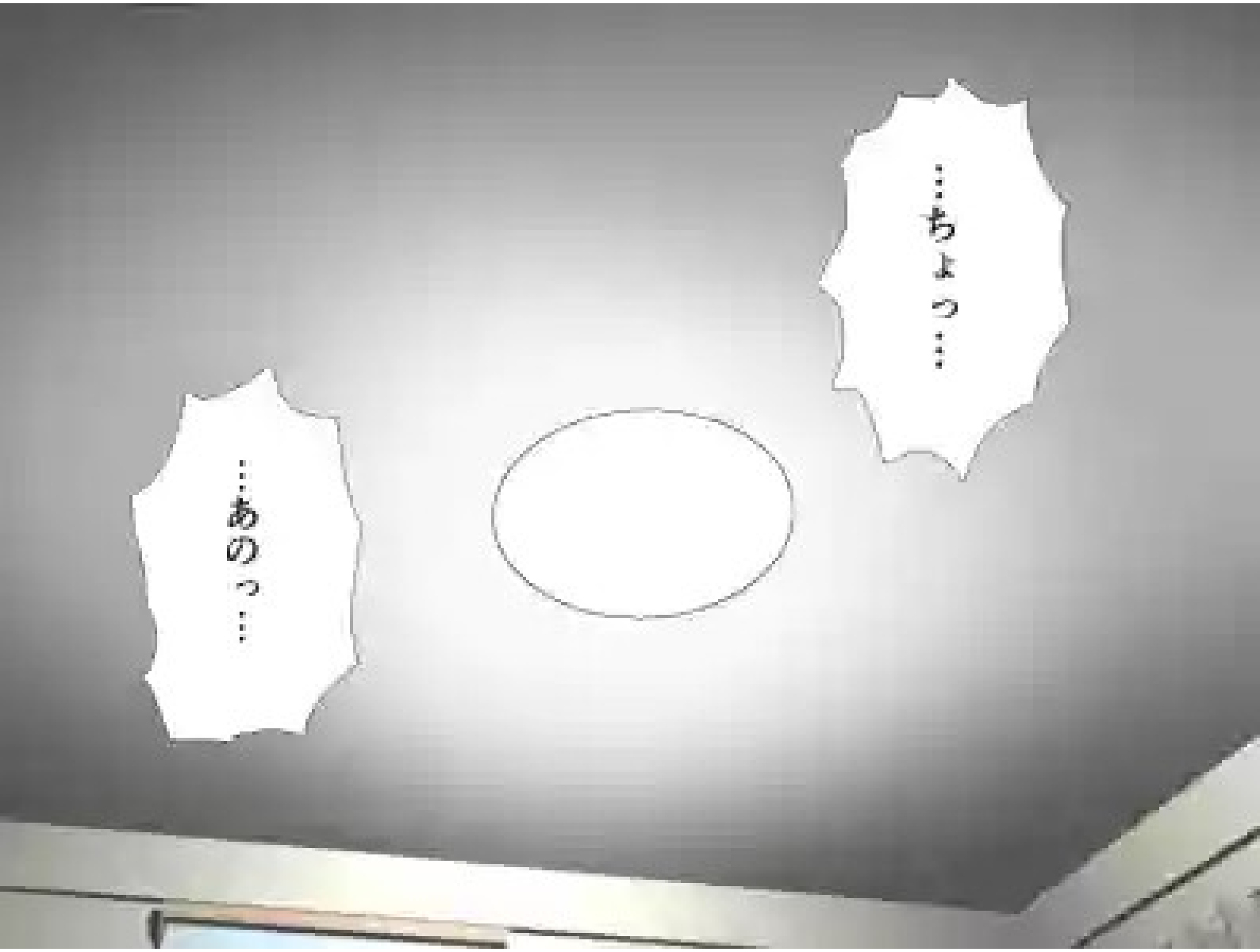
……
すごく怒ってる…

怒ってるけど…
やっぱり先生…美人…
睨まれてるのに
ドキドキしちゃう…

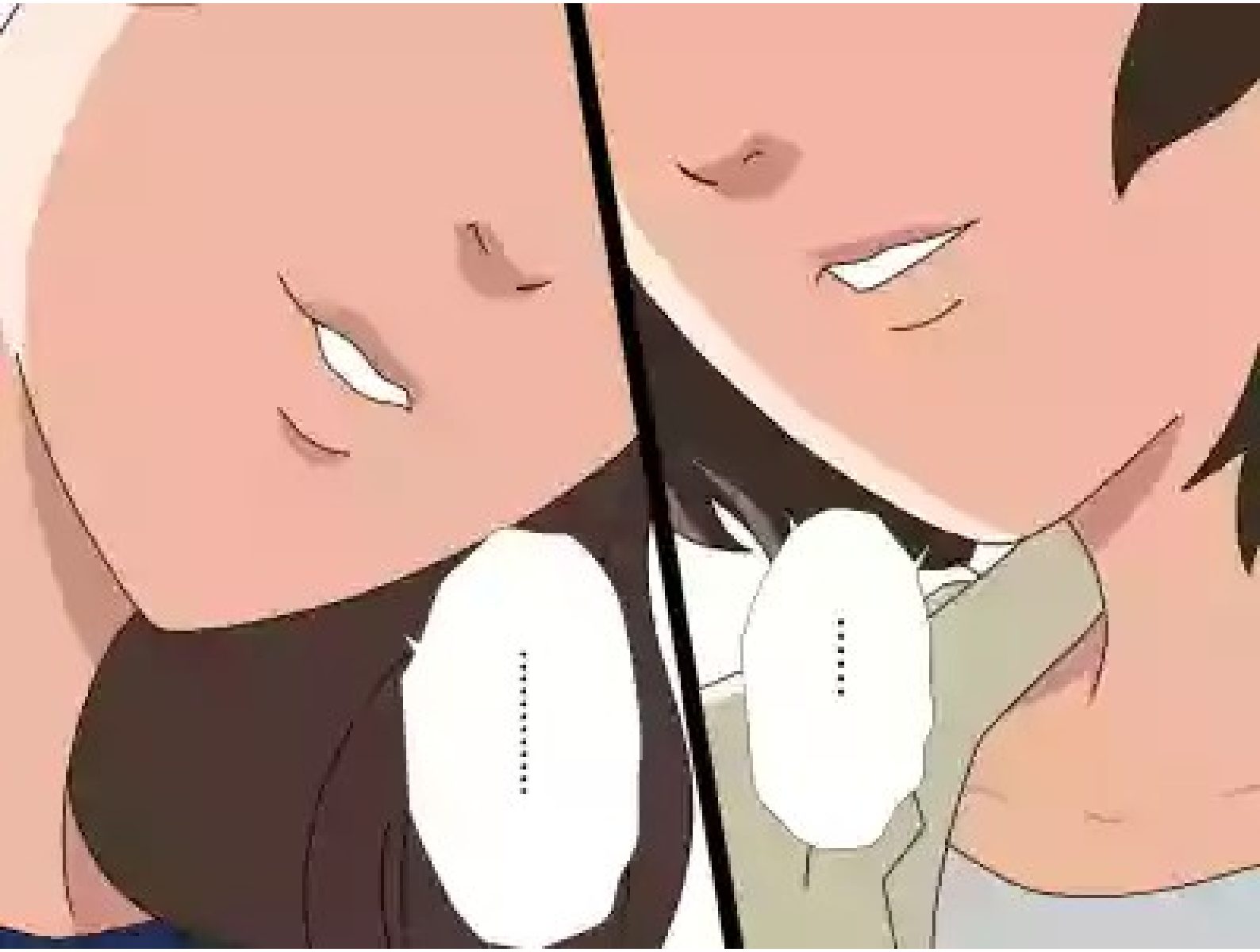
ふふ…っ
っ…
そういうとこ…
なんじゃないんですか？

いくら「昔」
好きだったとしても…
性格を知ったら
覚めちゃうことだって
あるでしょう?

そういうとこに飽きて…
…心が乗り替わっちゃうことだってありますよね
……


…ちょっ…
…あのっ…

きょ…今日は
そういうことじゃ
なくて…ですね…
つ…伝えていた
通り…あの…っ



…ふう…
仕方ない…わね

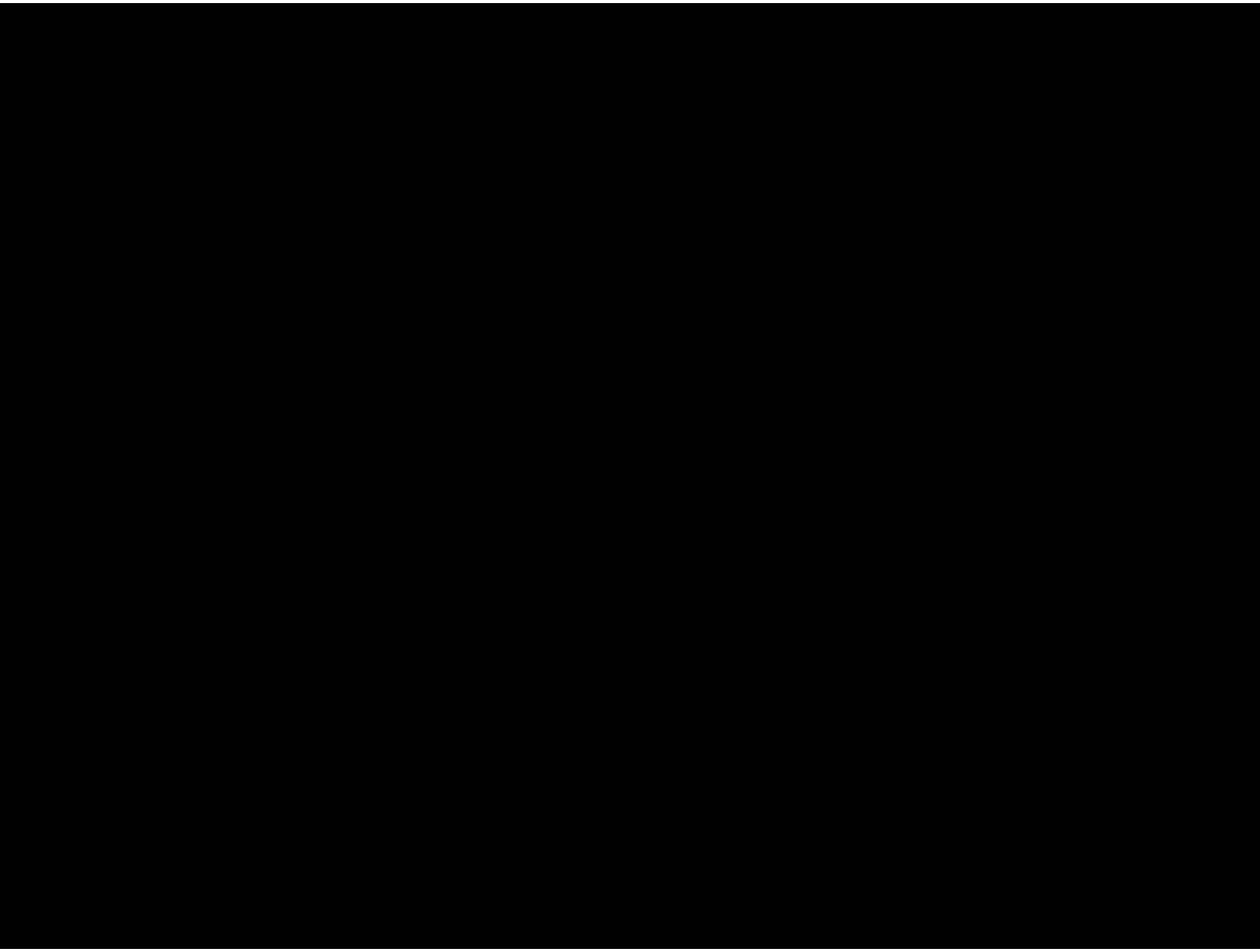
そんなにあんたが見たいってんなら…
見せてあげるわ…

私たち二人が…
レズってる
ところ…

杜戸先生と
苫田ママを
レズらせて
3Pしてみた夜ー
と…その後の話。

杜戸先生と苔田ママをレズらせて3Pしてみた夜ー

と…その後の話。



……

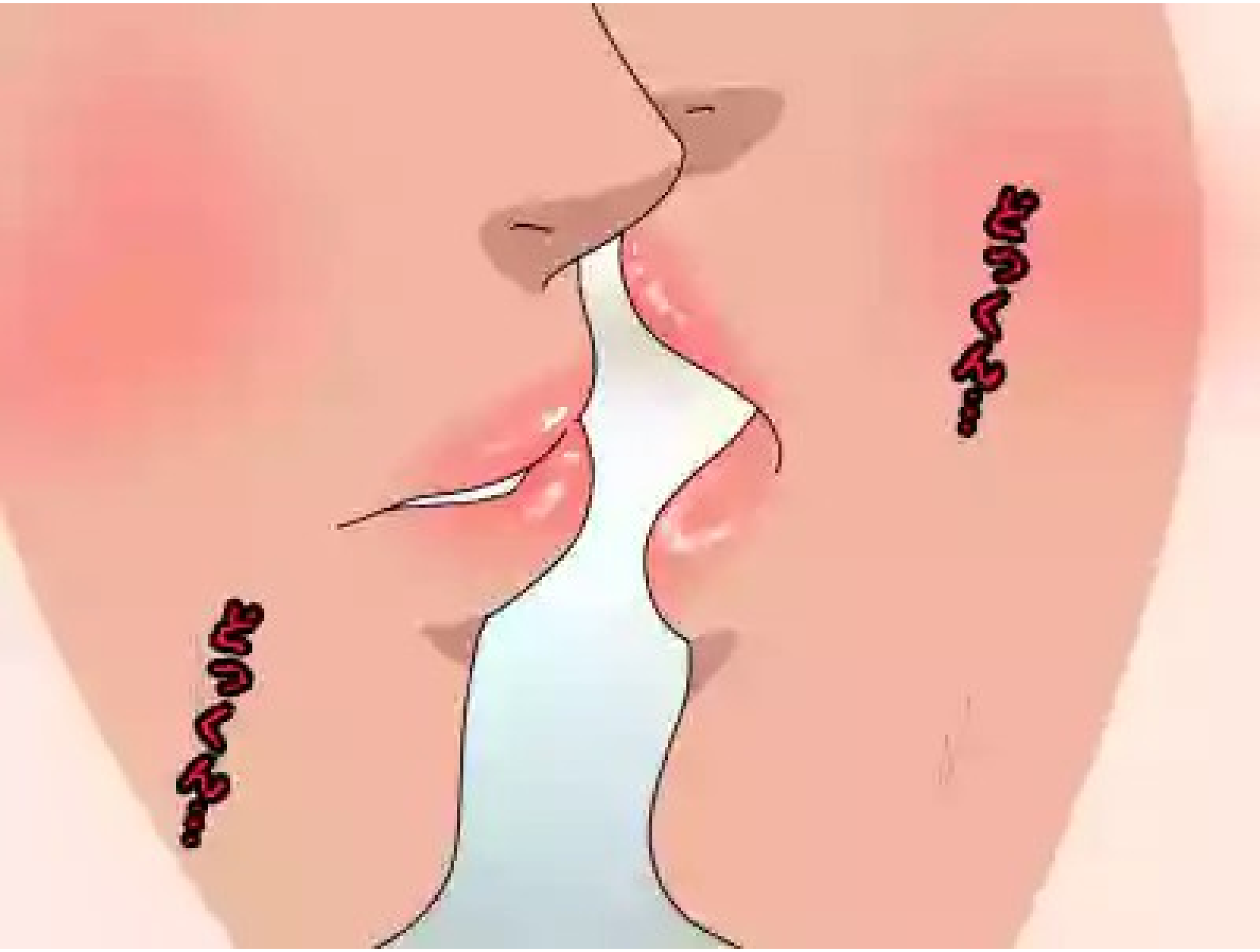
どうぞ？

ああ…

どうぞ…
どうぞ…

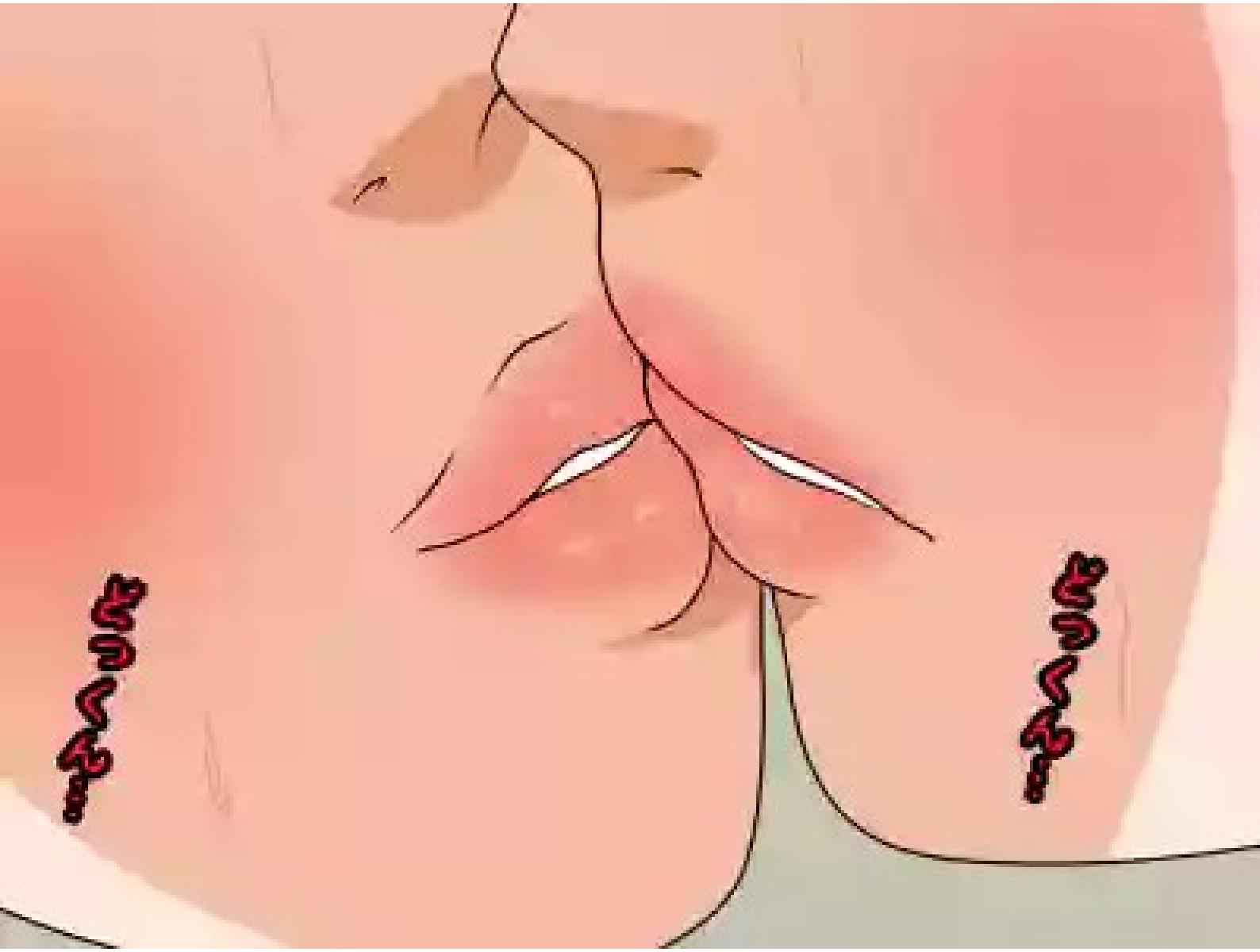
……この…
二人…が…

マジ…か…
どうぞ!

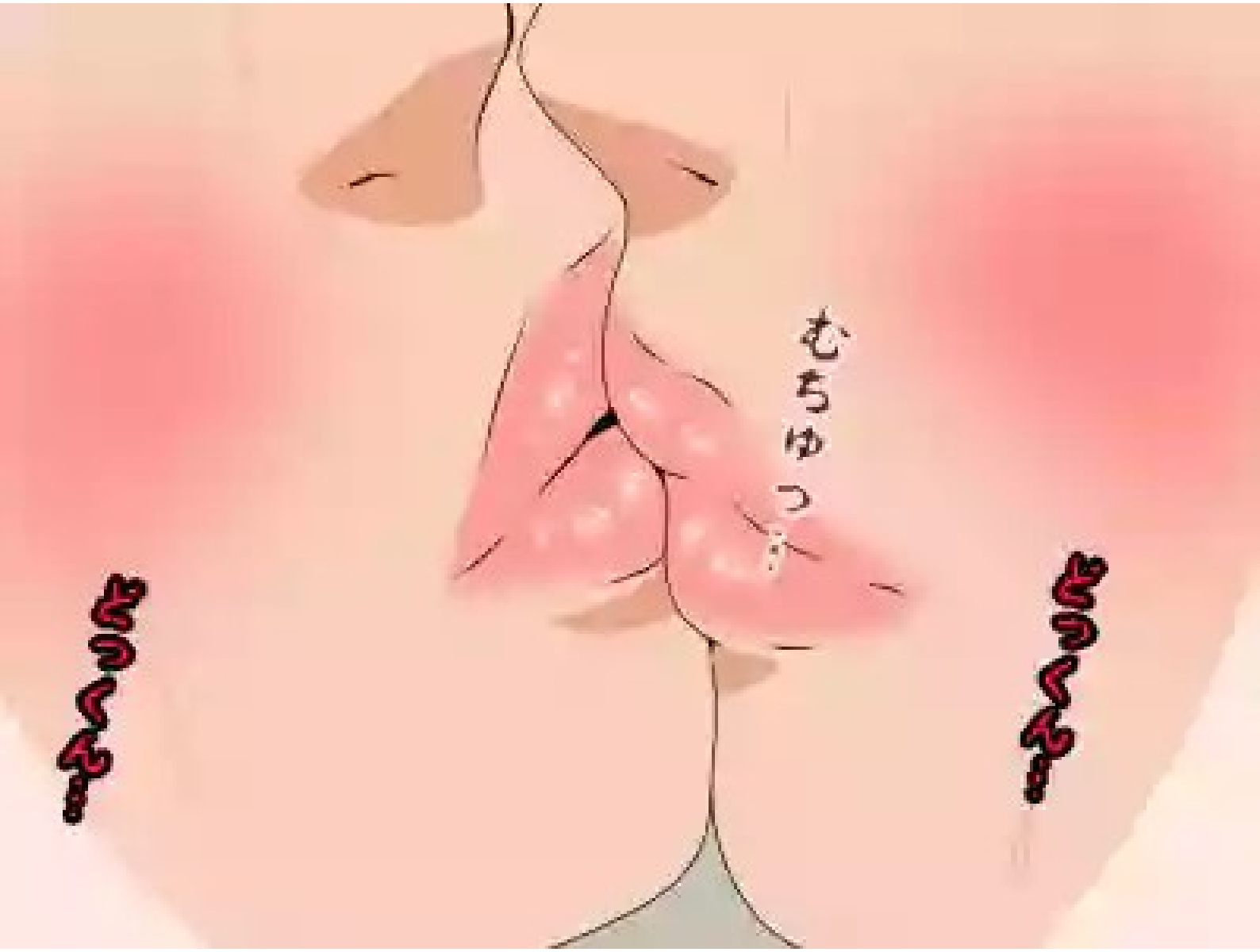

ちゅっ
ちゅっ

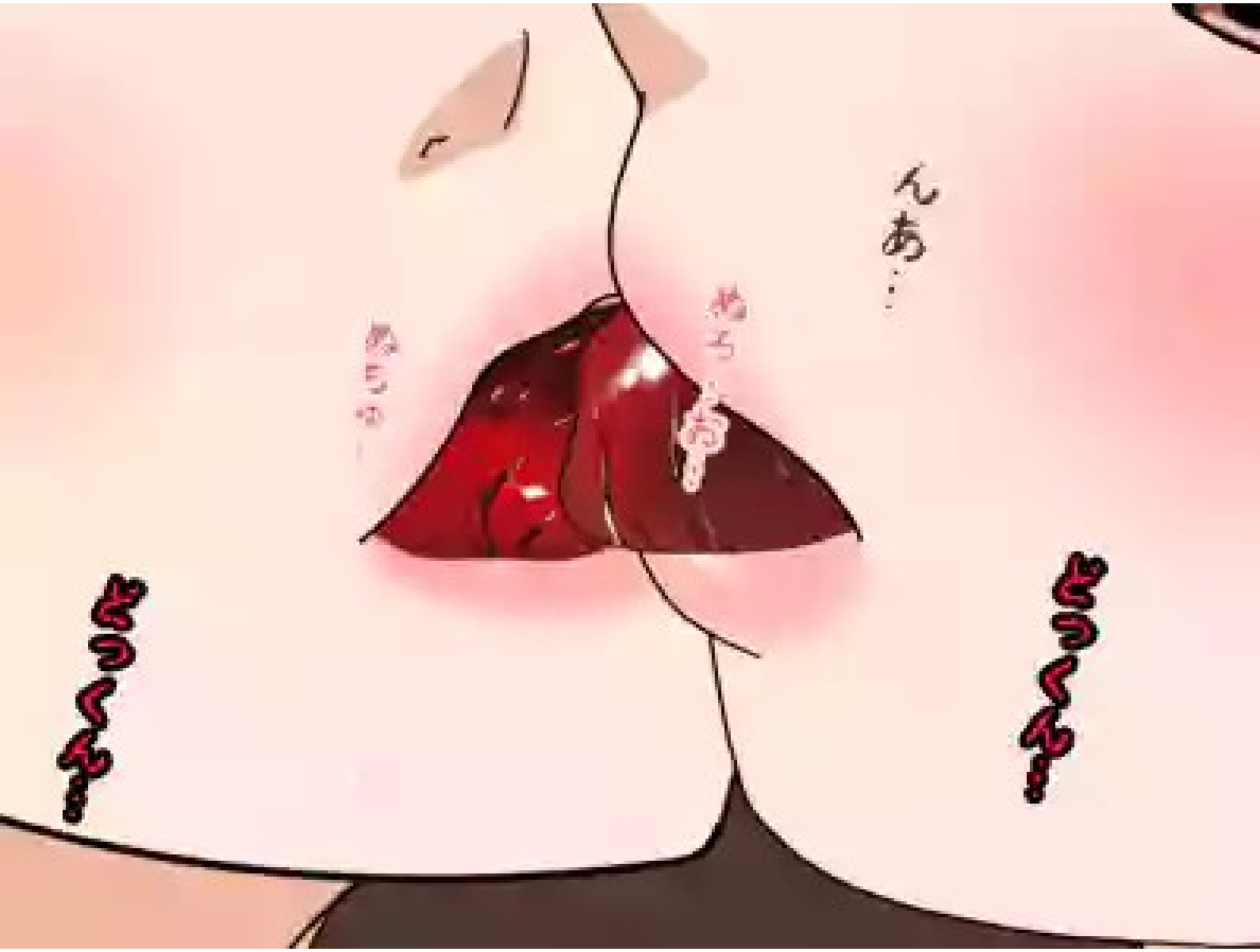
あ…待って
どうぞ…
キスするときは
あっち見ながら…が…
いいわね
…っ？
どうぞ…

どっくん…
どっくん…


ぷるんっ
ぷるんっ

ちゅっ
ちゅっ
っ…！


むちゅっ
ぷるるん
ぷるるん


んあ…
どっくん!!
どっくん!!

んふっ…
…んっ…
ぬちゅ…
ぬちゅ…
ぬちゅ…
ぬちゅ…
ふっ…

…んっ…
ぬろ…
ぬろ…
んふっ…
どっくん…
ぬちゅ…
ぬちゅ…
どっくん…
ふっ…

…んっ
これが…
んふ…
どうくん♡
ぬちゅ…
ぬちゅ…
見たかったん
でしょ…？
んっ…んふっ
どうくん♡
ぬちゅ…
ぬちゅ…

…んっ…
ぬろ…
ぬろ…
ぬちゅ…
ぬちゅ…
どっくん…
どっくん…
ふっ…
んふっ…

……っ！
どっくん…
んふっ…
ふっ…
どっくん…

ゆ…
ゆり菜さんとっ…
とっくそ。
も…杜戸
せん…せいがっ…！
とっくそ。

…んっ…
ぬろ
ぬろ
とろ〜
とろ〜
んふっ…
ぬちゅ
ぬちゅ
ふっ…

…ん…っ
んふっ…
ふっ…

…んっ…
どっくん…
ふっ…
んふっ…
どっくん…

ああ…すごい…
観たかった光景が…
今…目の前に…！
どうくん…
ふっ…
…んっ…

んふっ…
…んっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…

どうぞ…
…んっ…
ああ…
やべ…
ふっ…
どうぞ…

ね…ねえ
い、今ここで
二人を見ながら
オナニーしてもいい？
どうくん？
……っ！
どうくん…

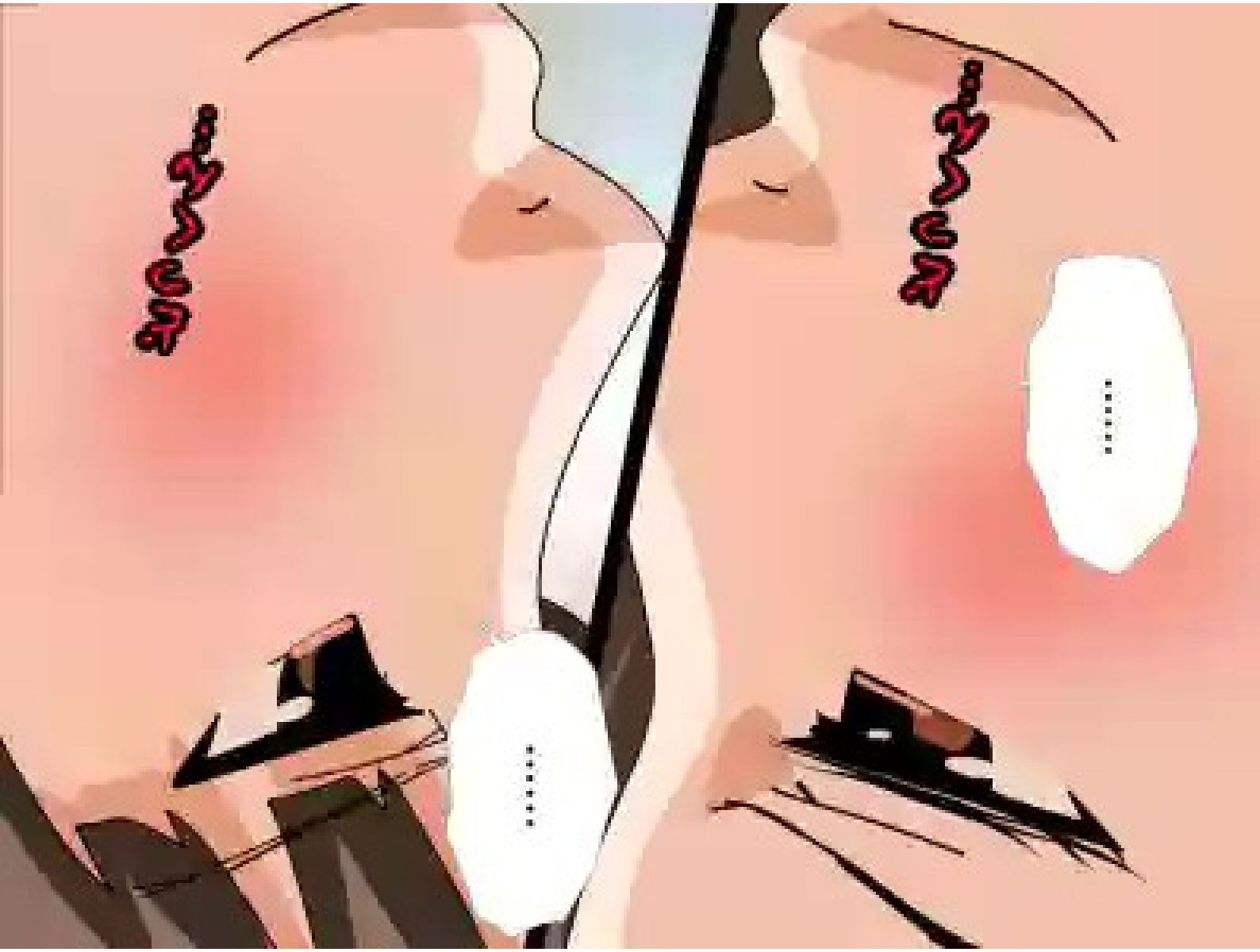
う、うん…
どうぞ？
まあ…いいけど…
どうぞ？

おチンポ
挿れてほしく
なっちゃう…
どうぞ?
ねー
私たちには
なにか
ご褒美ないの?
どうぞ?

そうだ！
じゃあさ
どうぞ？
レズプレイで
良かった方の
オマンコに
挿れてあげる
ってのはどう？
!!
どうぞ？

どっくん…
どっくん…

……
どうぞ？
……
どうぞ？



……
……
ぎゅっ
ぎゅっ

……
こうしてー
どっくん!!
…はは…
どっくん!!

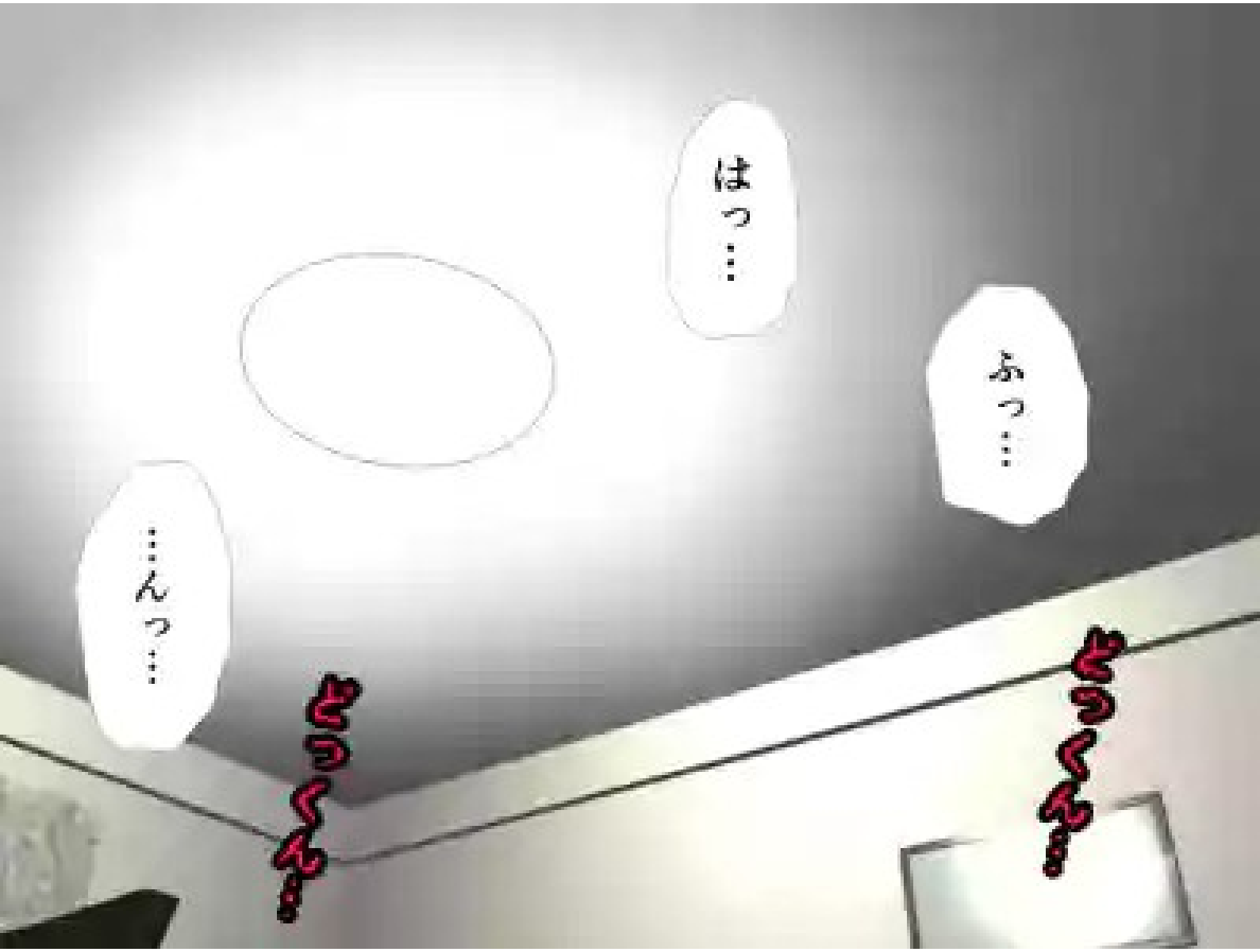
チンポを求めて
女同士の
プライドを賭けた
濃厚なレズプレイが

始まったのだった…！

杜戸先生と苗田ママをレズらせて3Pしちゃう夜

～ふたなりの淫魔物語～

プレイが始まって…
最初に
目にしたのは…
どうくん…
どうくん…


はっ…
ふっ…
…んっ…
どくん
どくん

とろ～ん。
はっ…
ふっ…
もみ…
もみっ…
もみ…
もみっ…
…んっ…
とろ～ん。

どっくん…
もみ…
…んっ…
もみっ…
ふっ…
びゅっ…
びゅっ…
はっ…
どっくん…

どっくん…

…んっ…

ふっ…

どろっ…

どっくん…

どうぞ…
っていうか…
びゅー
もみ…
もみっ…
何このどすけべなおっぱい…
びゅー
あっ…
どうぞ…

ああっ…
どっくん…
ぎゅううっ
ぴゅ
ぴゅっ
乳輪もバカみたいにデカいし…
どっくん…
黒ずんでて…相当遊んで来たんじゃないの？

ああっ…
どっくん…
きゅううっ
ぴゅ
お互いの乳首を
弄りながら
罵倒しあう
二人の姿だった…
ぴゅっ
どっくん…
黒ずんでて…
相当遊んで
来たんじゃないの？

このスケベな
おっぱいで
彼をたらしこんだ
のね…
どっくん
ああ…
どっくん
夫も子供も
いるというのに
…信じらんない

真面目そうな
お母さんだと
思ってたのに…
どうくん…
どうくん…
ひ…人の
こと言える
立場なのっ？
せ…先生
だって…！

どくん。
な…なによ
このいやらしい
おっぱい…
どくん。
ぎゅっ
この男好きしそうな
大きなバストで
彼のこと
誘惑したんでしょうっ!?

聞けば…
婚約者が
いたそうじゃ
ないですか
とろ～ん
あっ…
とろ～ん
むにっ
ぴゅっ

ああっ…
むにっ
ぴゅっ
どくんっ
結婚間近の
婚約者を裏切って
自分のクラスの
生徒を誘惑し…
筆おろしまで
したとか…
どくんっ
むにっ
ぴゅーっ
前代未聞よ…
教師として
あるまじき行為…

やっ…
やめっ…
むにっ
どくんっ
ぴゅーっ
むにっ
ぴゅっ
どくんっ
そんなに彼とセックスがしたかったの？
どうせこの大きなお胸で彼を惑わせて…
いっぱいいやらしいこと教えこんだんでしょ？

あっ…
あああ！
くりくりくり…
どっくん…
どっくん…
ああ…だめ…
くりくりしない
でぇ…

むぎゅうう
まったく
どんだけ淫乱な
教師なの…っ？
どうくん。
ぴゅーっ
あぁっ
どうくん。
ち…ちが…う…
そ…そんなこと…
してな…い…っ

ああっ
い…いやらしいわ…
か、彼とどれだけ
し…シタの…っ
どうぞ…
むにっ…
むにっ…
ぴゅぴゅっ
あふっ…
あ…あんただって
彼とつきあうなんて
どれだけ…セックスで
慣にしたのよっ…
どうぞ…
むにっ…
むにっ…
ぴゅぴゅっ

ああすごい…

むにっ…

びゅびゅっ

どっくん!

ふ、二人とも

子供産んだから

むにっ…

びゅびゅっ

母乳が溢れ出て…

どっくん!

勿論…
産んだのは
二人とも
僕の子供だ…
どくん…
どくん…
どくん…

つまり…二人がどうぐ。
むたっ…
むたっ…
ひゅひゅっ
僕の物であるという
証拠の母乳…!!
むたっ…
むたっ…
ひゅひゅっ
どうぐ。

ちょっ…ちょっと
二人とも…
あっ…
むたっ…
むたっ…
ぴゅぴゅっ
どくんっ
け…喧嘩し…しないで…
れ、レズプレイなんだから
な…仲良くしてよっ
ああん
むたっ…
むたっ…
ぴゅぴゅっ
どくんっ

ほ…ほらっ
そ、そのまま仲直りの
キスして…っ
あんっ…
むにっ…
ぴゅびゅっ
どうぞ…
むにっ…
ぴゅびゅっ
どうぞ…
あぁっ…

あ…そ…そんなこと
言ったって…
どうぞ♡
むにっ…
むにっ…
ぴゅぴゅっ
あんっ…
むにっ…
むにっ…
ぴゅぴゅっ
どうぞ♡
あぁっ…

あんっ…
ああっ…
むにっ…
むにっ…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
どっくん…

はあ…っん…
んっ…んふっ…
どっくん…
どっくん…
むたっ…
むたっ…

はあ…っん…
むにっ…
むにっ…
どうして…
んっ…んふっ…
どうして…

はあ…っん…
むにっ…
むにっ…
ぬろ…
ぬめ…
ぬろ…
ぬめ…
どっくん…
どっくん…
んっ…
んふっ…
むにっ…
むにっ…

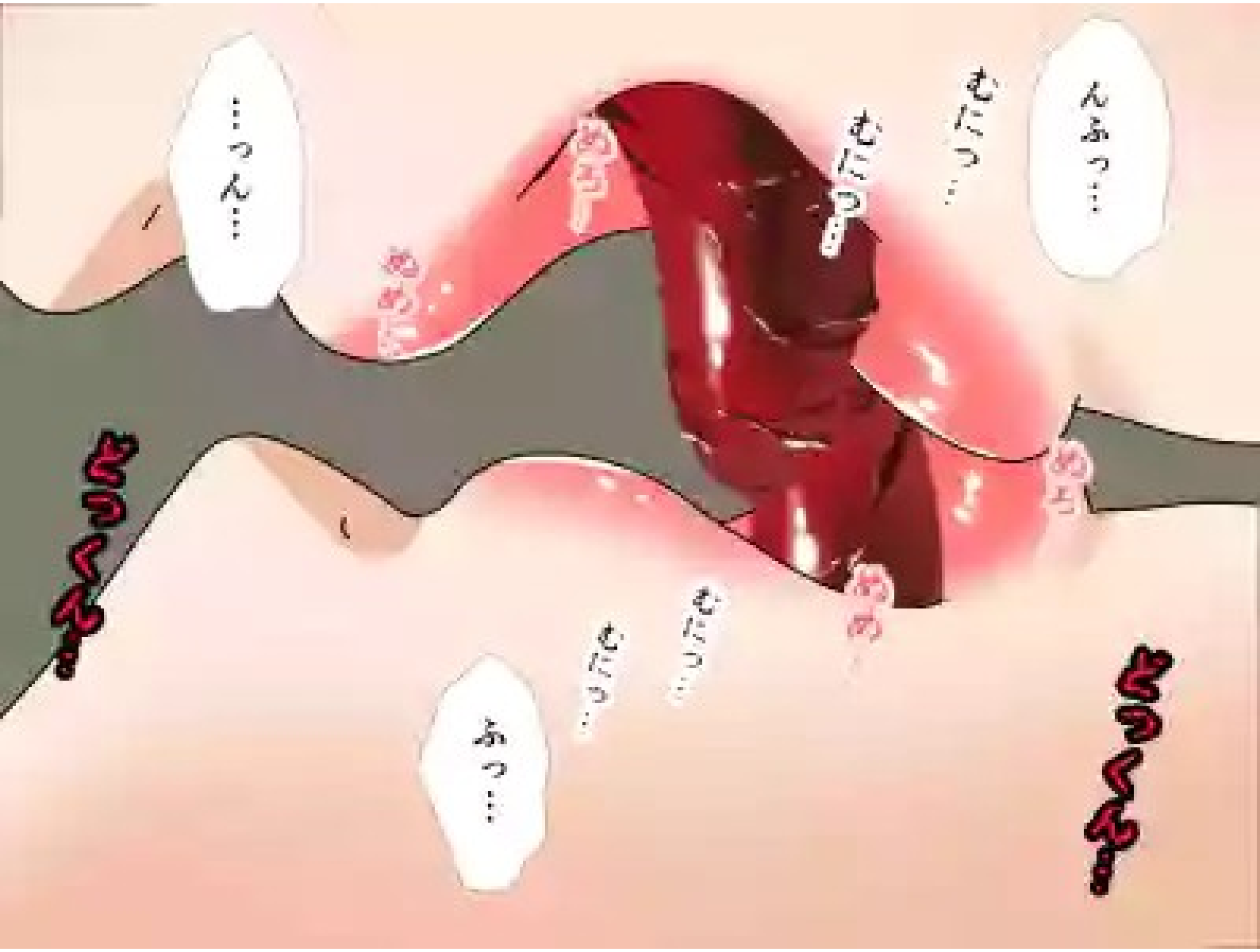
はあ…っん…
むにっ…
むにっ…ぬろ…
ぬめ…
どっくん…
んっ…
んふっ…
ぬろ…
ぬめ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…

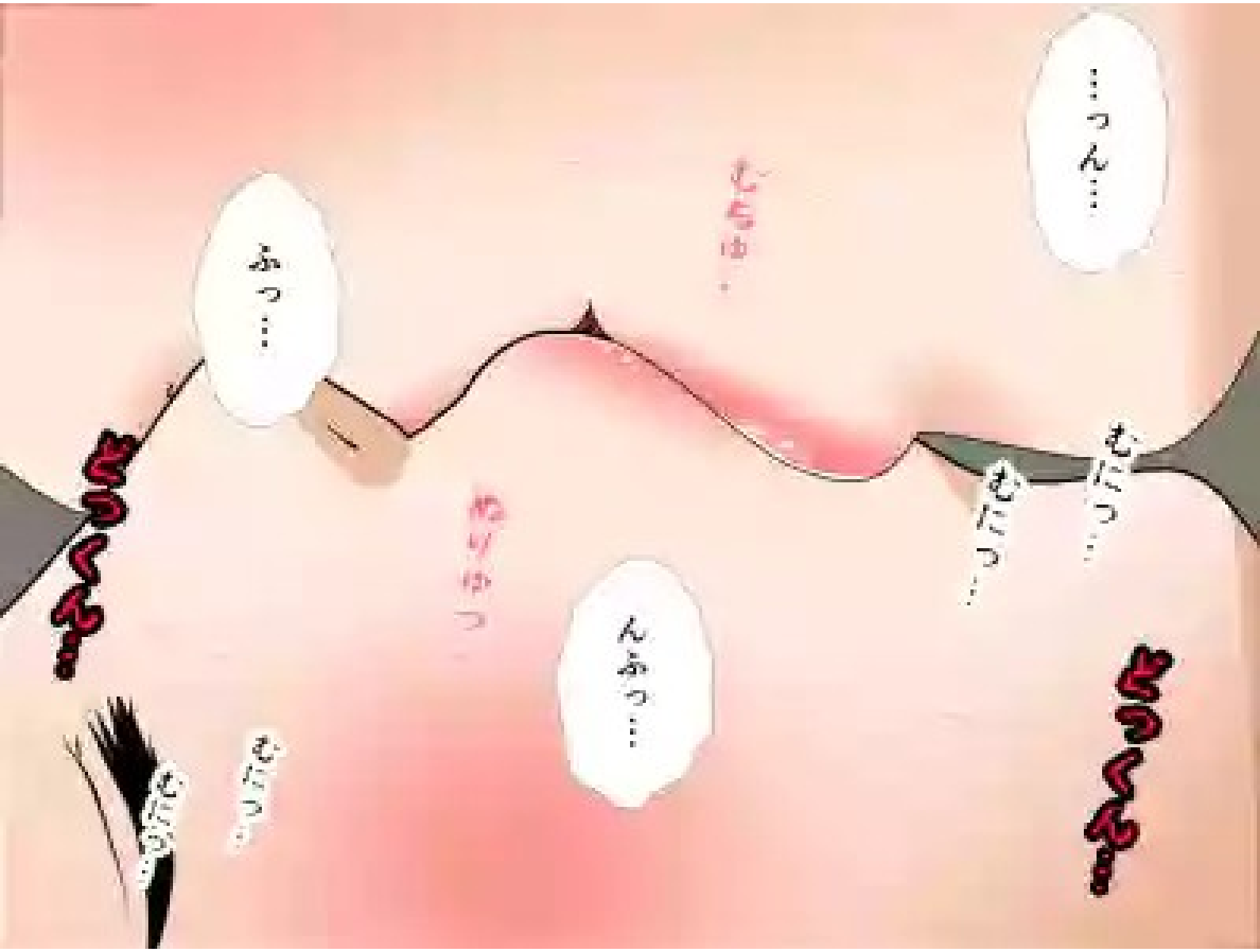
はあ…っん…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
んっ…
んふっ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…

はあ…っん…
むにっ
どうくん…
ああ…すごい…
景色だ…
この二人が…
こんな…
どうくん…
んっ…
んふっ…

あ…っん…
んっ…
んっ…
んふっ…
最高で…
夢のような時間は…
まだまだ続く…
どっくん…
どっくん…

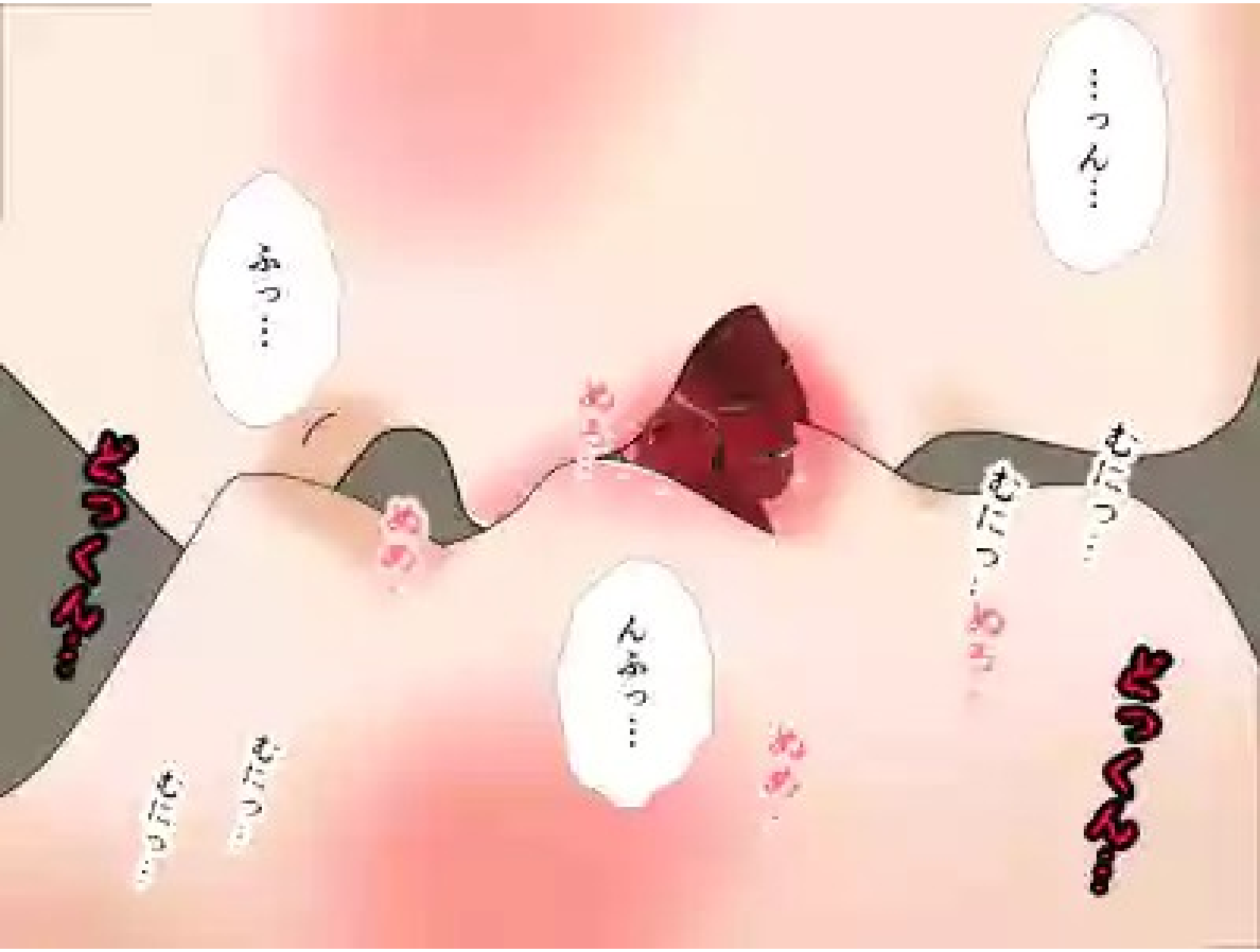
…っん…
ふっ…
むにっ…
むにっ…
ぐっくん!!
んふっ…
ぐっくん!!
むにっ…
むにっ…


んふっ…
むにっ…
むにっ…
…っん…
むにっ…
むにっ…
ふっ…


…っん…
むたっ…
むたっ…
ぐっくん…
むちゅ…
ふっ…
ぬりゅっ
んふっ…
ぐっくん…
むたっ…
むたっ…

んふっ…
むにっ…
むにっ…
むちゅっ…
ぬちゅっ…
接吻…
…っん…
にゅぷっ…
むにっ…
むにっ…
ふっ…
どうして…
どうして…

永遠に繰り返されるかのような…
やらしい接吻の応酬…
むにっ…
どっくん…
むちゅ…
んふっ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…


…っん…
むにっ…
むにっ…
ぬろ…
ぬぬ…
ぬぬ…
んふっ…
ふっ…
ぬぬ…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
どっくん…

んふっ…
むたっ…
むたっ…
…っん…
ぬろ
ぬめ
ぬろ
ぬめ
むたっ…
むたっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…

…っん…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
ふっ…
むちゅ…
ぬりゅっ
んふっ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…

…「ケンカしないで」と
言ってから…
どっくん…
むちゅ…
どっくん…
さっきまでと
打って変わって
黙々と
まぐわい始めた二人…
んふっ…

ただ…黙々と…

…っん…

どうくん…

むちゅ…

むにっ…

どうくん…

愛し合う
二人の
美しい女性が
そこにいた

んふっ…

むにっ…

むにっ…

聞こえるのは…

…っん…

むにっ…

むにっ…

どっくん…

むちゅ…

どっくん…

ふっ…

んふっ…

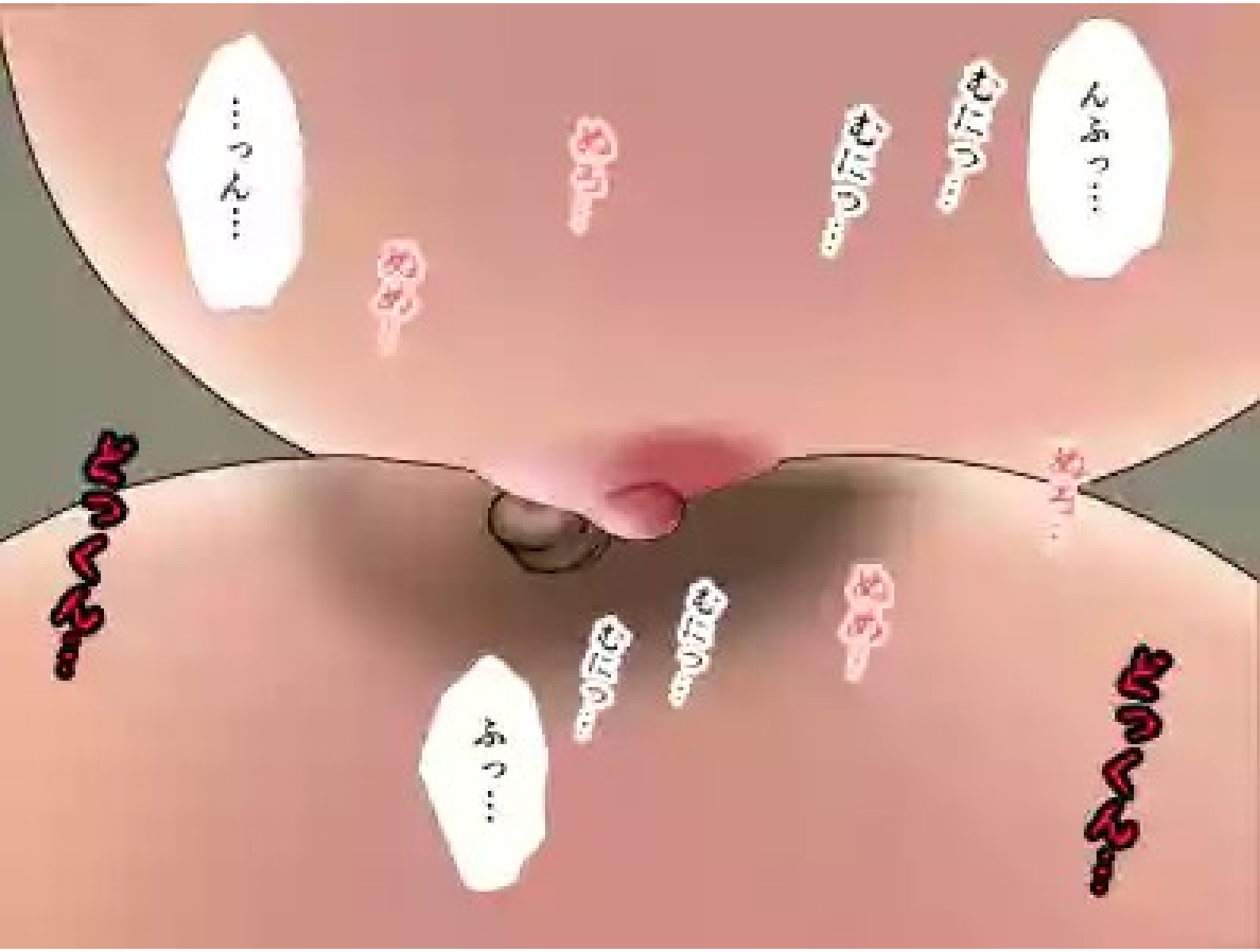
愛しあいながら

漏れる二人の

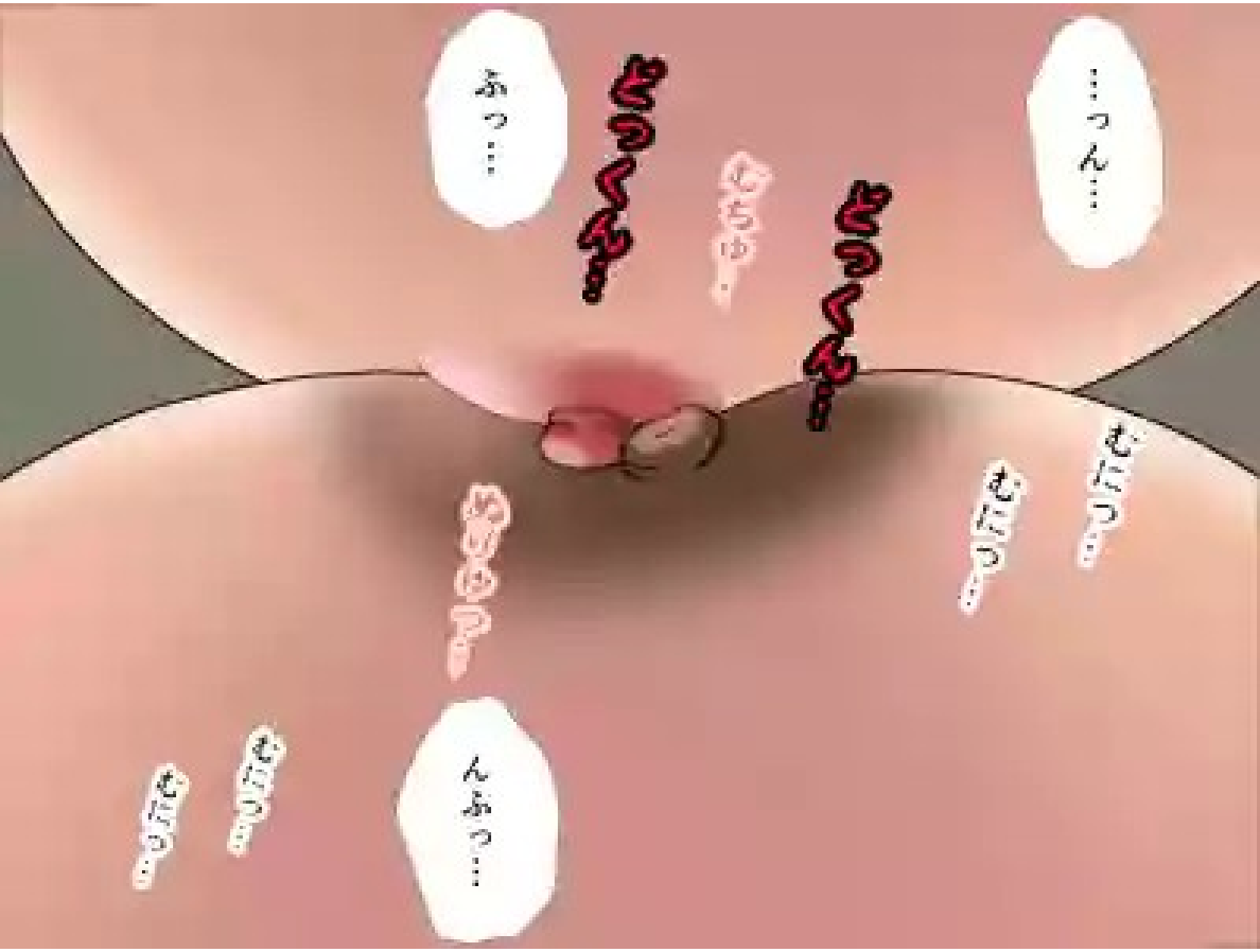
吐息と…

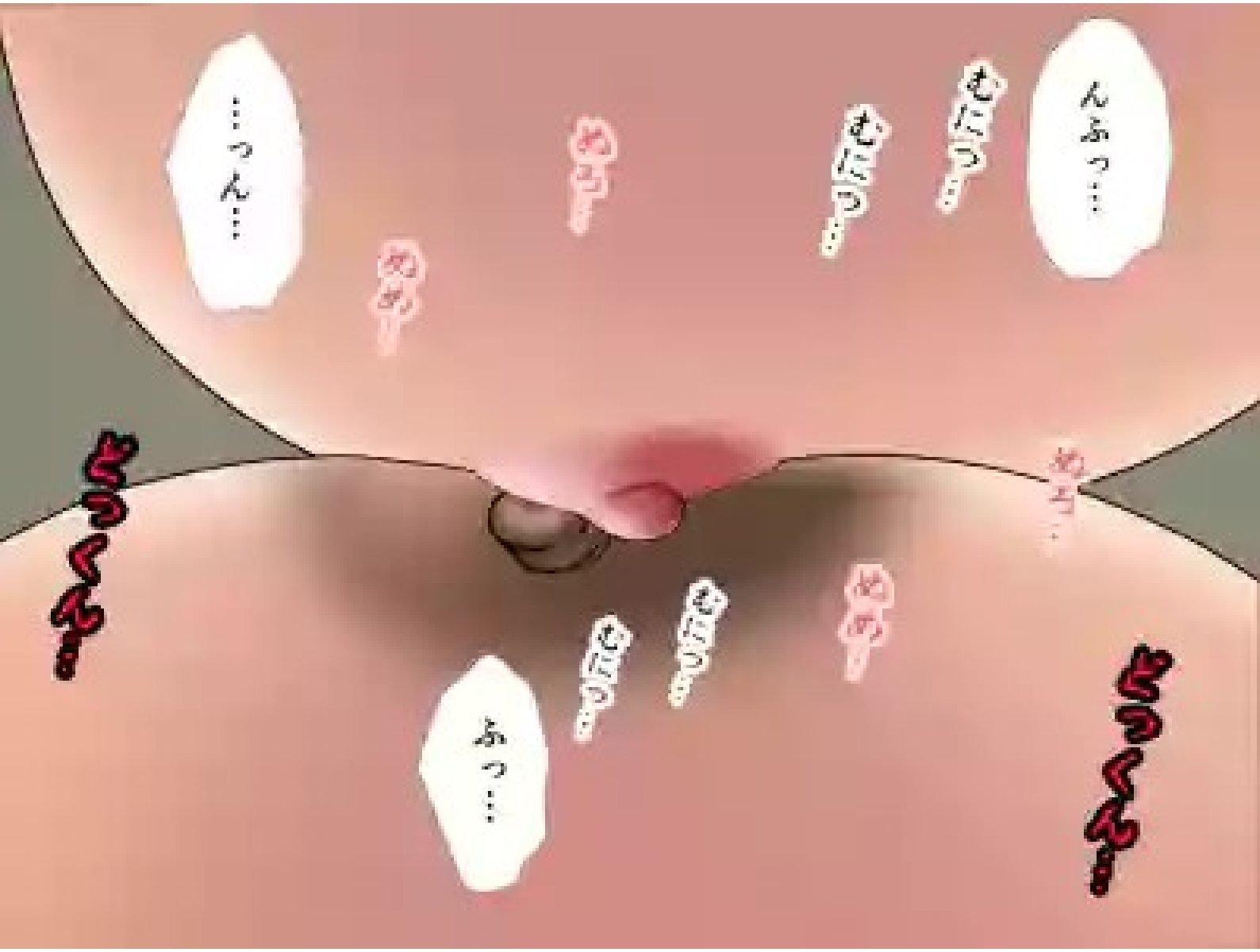
唾液がまじりあう…
…っん…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
むちゅ…
どっくん…
ふっ…
ぬりゅっ…
んふっ…
卑猥な音のみ…

どうぞ？
んふっ…
むにっ…
むにっ…
ぬちっ
ぬめっ
むにっ…
むにっ…
ふっ…
女と…女の…
…っん…
ぬちっ


んふっ…
むにっ…
むにっ…
めろ…
めめ…
…っん…
めろ…
めめ…
むにっ…
むにっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…

…っん…
どっくん…
どっくん…
ふっ…
むにっ…
むにっ…
んふっ…
むにっ…
むにっ…

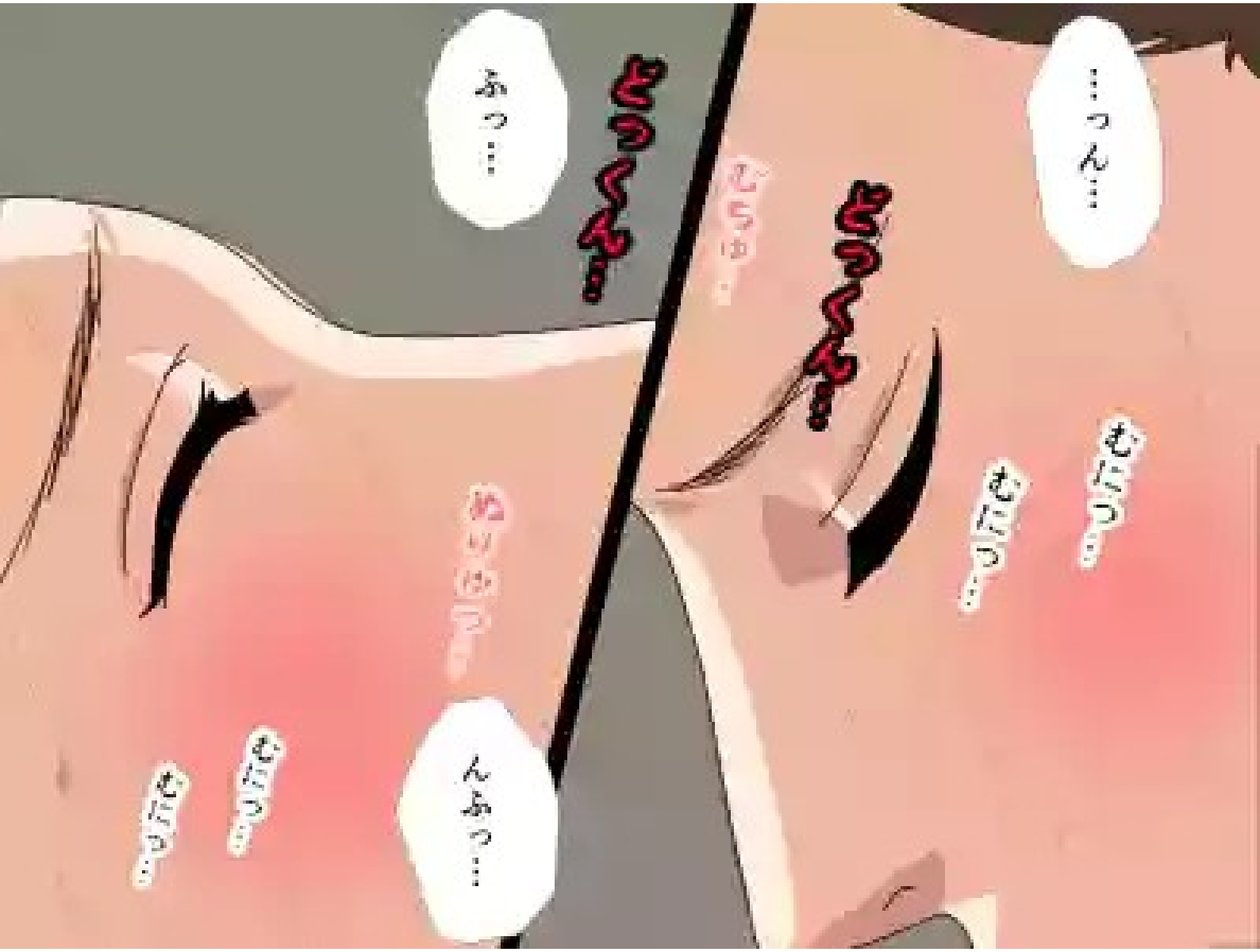

…っん…
どっくん…
むちゅ…
どっくん…
ふっ…
むにっ…
むにっ…
んふっ…
むにっ…
むにっ…


んふっ…
むにっ…
むにっ…
めろ…
めめ…
…っん…
めろ…
めめ…
むにっ…
むにっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…

んふっ…
むにっ…
むにっ…
…っん…
めろ…
めめ
めろ…
めめ…
むにっ…
むにっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…
しかし―

んふっ…
むにっ…
むにっ…
めぇ…
めめ…
どっくん…
…っん…
めぇ…
めめ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…
ふっ…

…っん…
どっくん…
むちゅ…
どっくん…
ふっ…
むにっ…
むにっ…
やがて…
二人のおっぱいが
こすれ合い…
んふっ…
むにっ…
むにっ…


…っん…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
むちゅ…
どっくん…
ふっ…
ぬりゅっ…
んふっ…
むにっ…
むにっ…

…っん…
ぴゅつ
どっくん…
むちゅ…
ぴゅつ…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
ふっ…
ぬりゅつ
んふっ…
むにっ…
むにっ…

…っん…
ぴゅつ
どっくん…
むちゅ…
どっくん…
ふっ…
むたっ…
むたっ…
どろっ
んふっ…
むたっ…
むたっ…

…っん…

どっくん…

むちゅ…

どっくん…

ふっ…

二人から
あふれでた母乳が…
おっぱいと
おっぱいの間に…

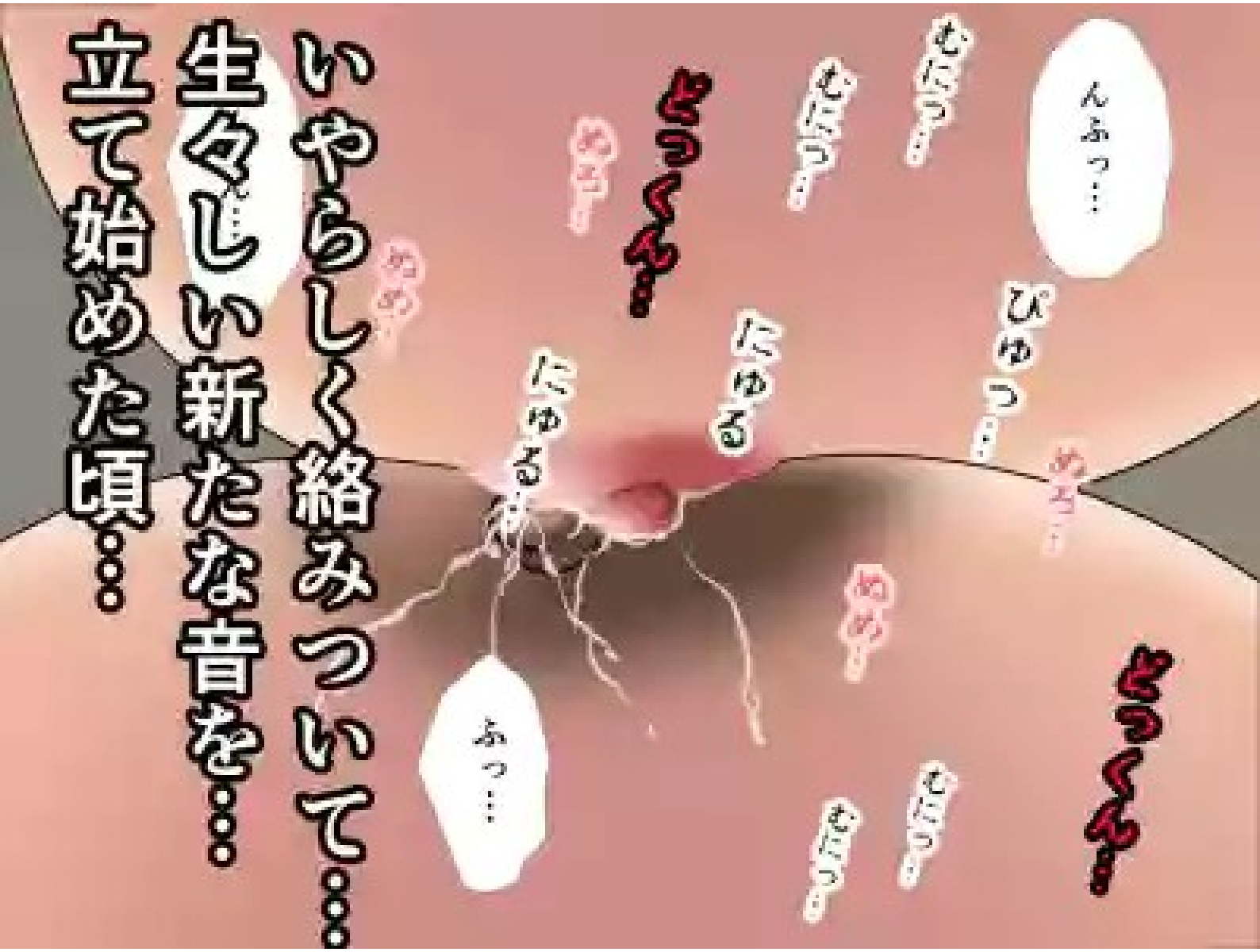
むにっ…

むにっ…

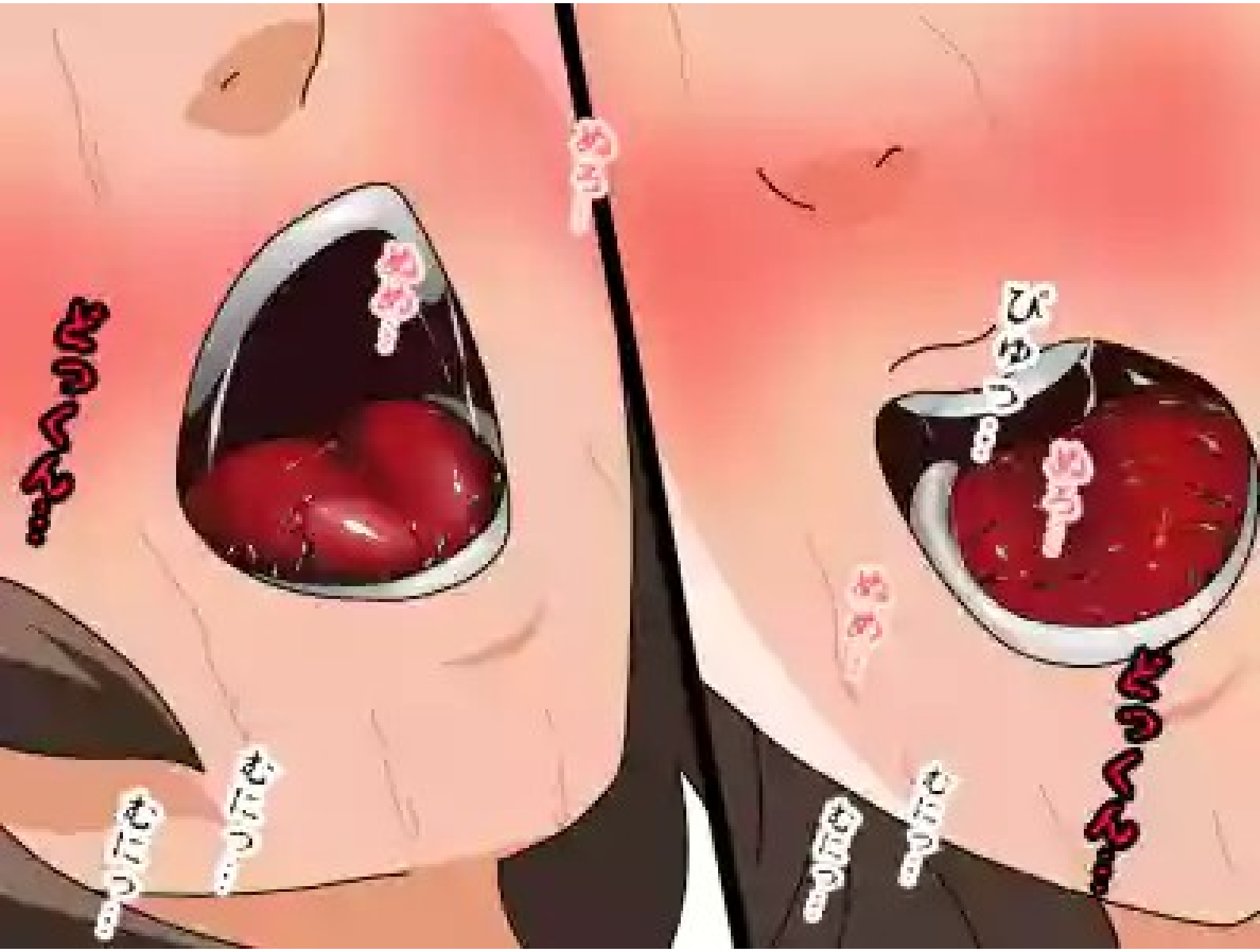
むにっ…

むにっ…

んふっ…


んふっ…
むにっ…
むにっ…
どっくん…
ぴゅっ…
にゅる
にゅる…
ぬろ…
ぬめ…
ぬろ…
ぬめ…
ぬめ…
ふっ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…
いやらしく絡みついて…
生々しい新たな音を…
立て始めた頃…

…っん…
どっくん…
ぴゅっ
どっくん…
むちゅ…
ふっ…
むたっ…
むたっ…
ぬちゅ…
にゅる…
んふっ…
段々と…
二人の吐息も…

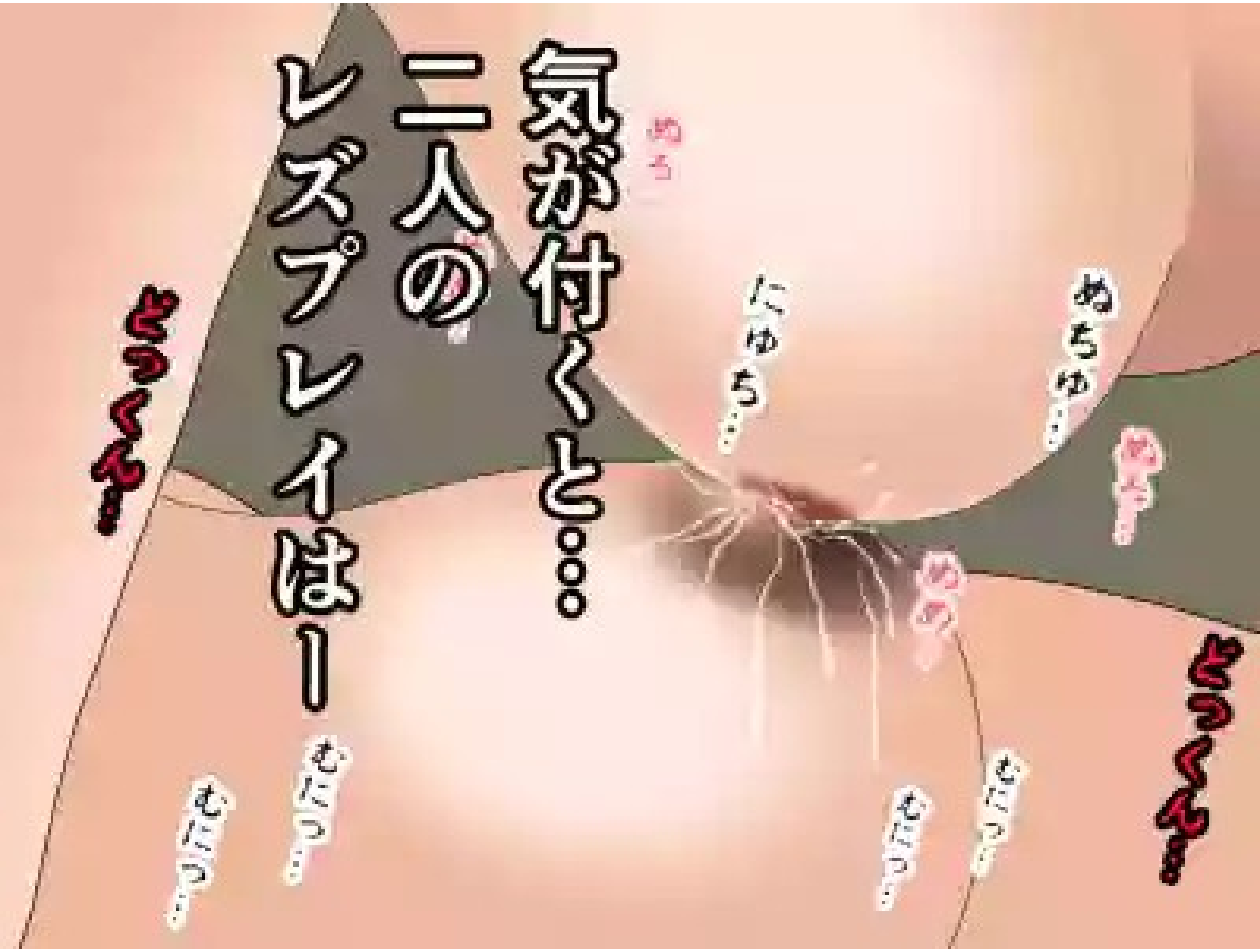

ぴゅっ…
めろ…
めめ
どっくん…
むにっ…
むにっ…
めろ
めめ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…

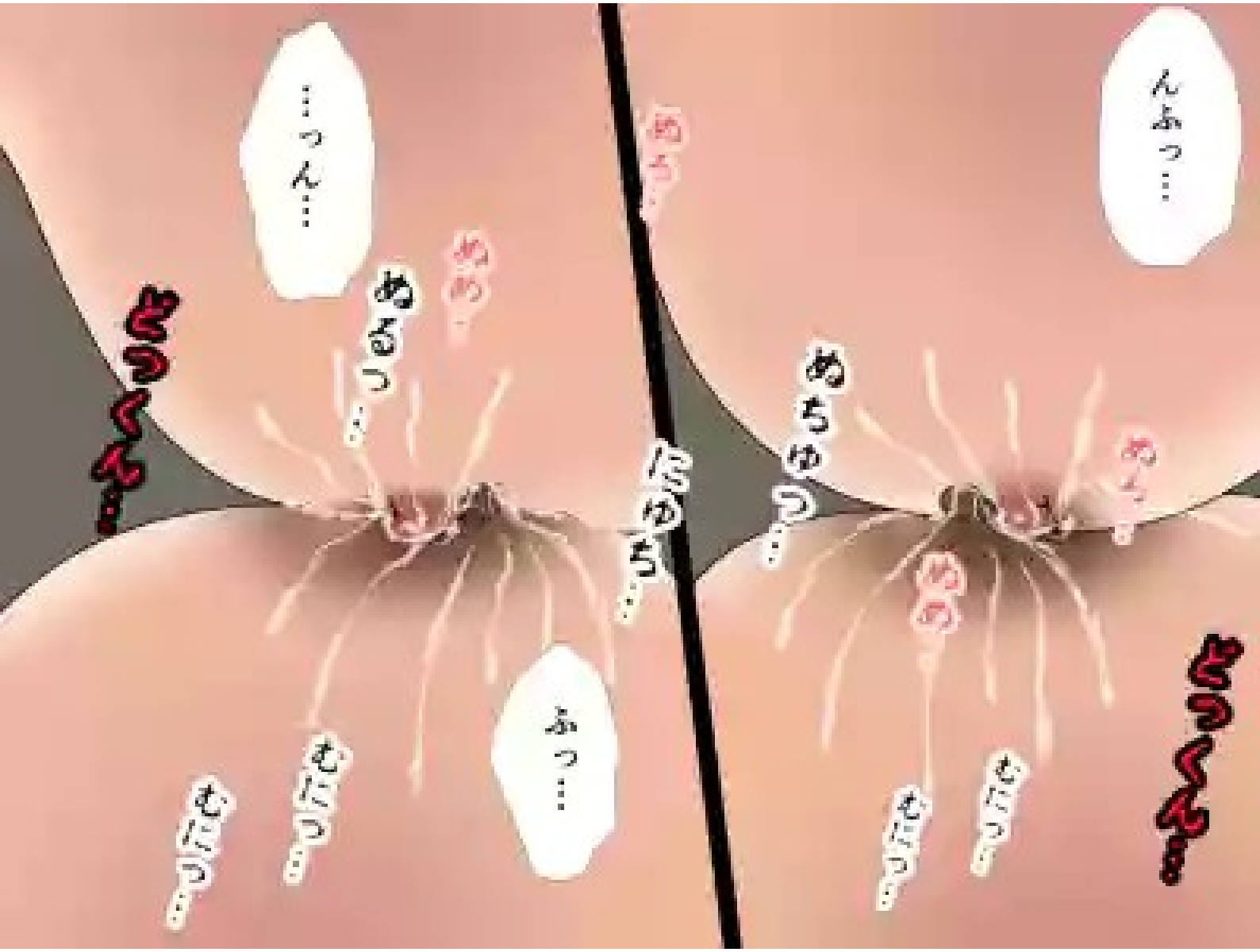
ぴゅっ…
ぬろ…
ぬめ…
にゅる
どっくん…
むにっ…
むにっ…
さらに熱を帯びた
もう一段階…
上のものに
変わって
いくのだった
どっくん…
むにっ…
むにっ…

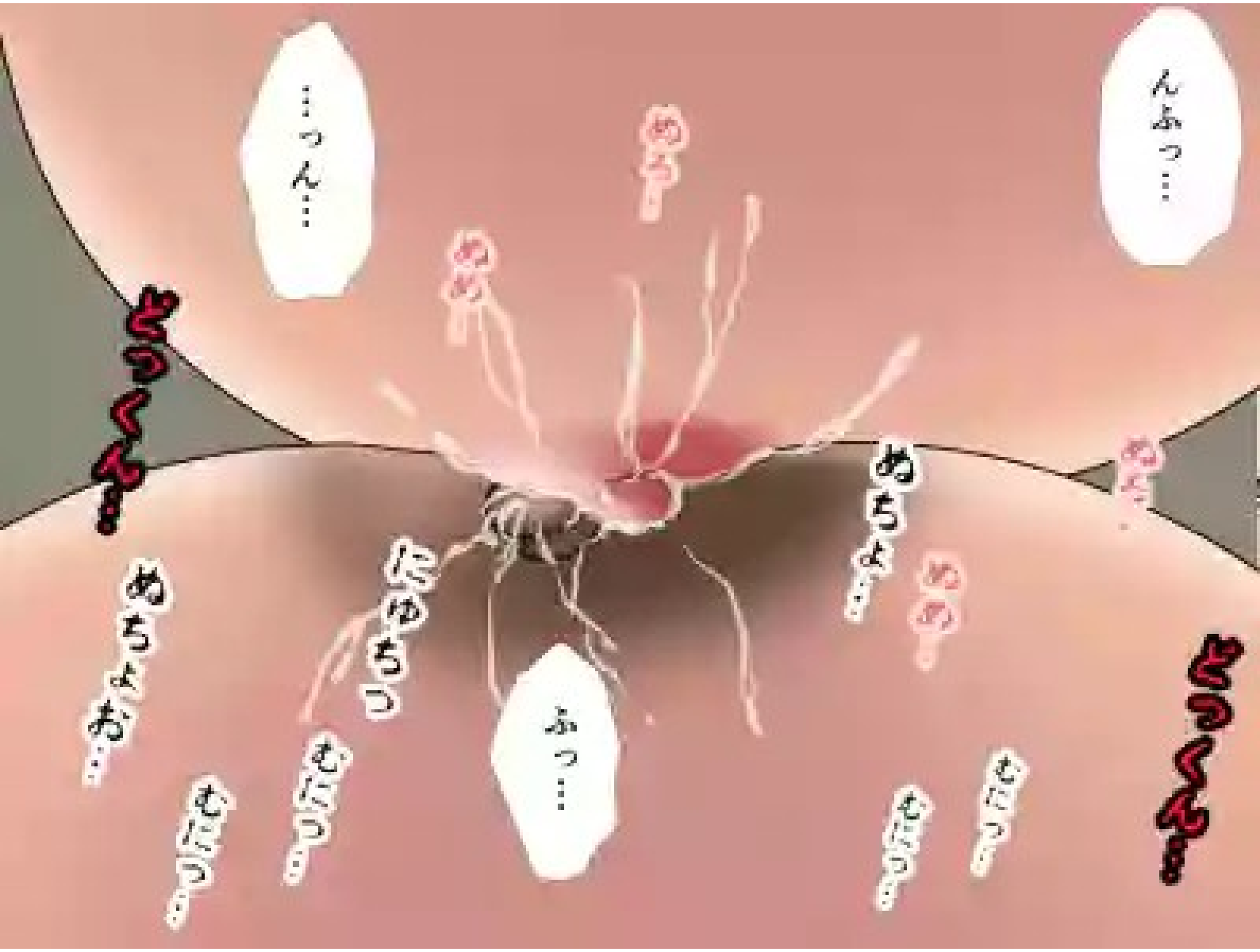
杜戸先生と苗田ママをレズらせて3Pしちゃう夜

～ふたなりの淫魔物語～

んふっ…
どうくつ…
ぬちょ…
ぬちっ
むにっ
むにっ
…っん…
どうくつ…
ぬちょお…
ふっ…
むにっ
むにっ


気が付くと…
二人の
レズプレイはー
ぬち
ぬちゅ…
ぬち…
にゅち…
ぬめ…
どっくん…
どっくん…
むたっ…
むたっ…
むたっ…
むたっ…


んふっ…
めちゅつ…
めち…
めめ
どっくん…
むたっ…
むたっ…
…っん…
めち…
めめ
めるっ…
にゅち…
ふっ…
どっくん…
むたっ…
むたっ…


んふっ…
…っん…
どくん…
どくん…
ぬちょ…
ぬちょお…
にゅちっ
ふっ…
むにっ…
むにっ…
むにっ…
むにっ…

んふっ…
お互い
高まり合いながら…
どんどん熱を
帯びて…
…っん…
どっくん…
めちょ…
めちっ
むにっ…
めちょお…
ふっ…
めちっ
むにっ…
むにっ…
どっくん…

いっしか
二人だけの世界に
入るように…

どうくん…

めちょ…

めちょ…

めちっ

むにっ…

むにっ…

めちっ

めちょお…

ふっ…

…っん…

めち…

めめ

どうくん…

むにっ…

むにっ…

母乳が
まじりあった
おっぱいが
擦りあう度に…

どっくん…
どっくん…
めろ…
めろ…
めめ…
めめ…
めちょ…
めちょお…
ふっ…
めちっ
むたっ…
むたっ…
むたっ…
むたっ…

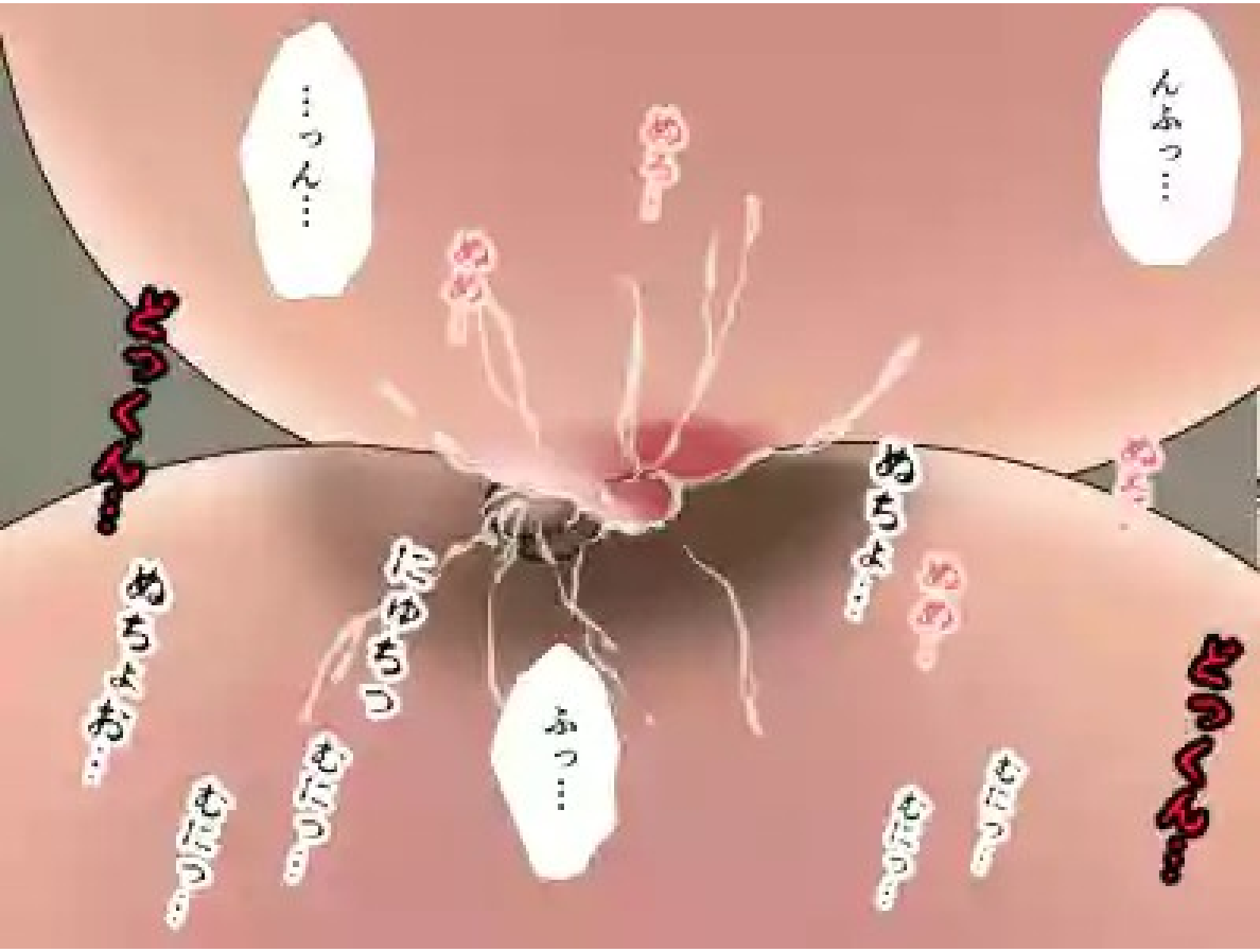
あんっ…
ぬち
ぴくっ…
ぴくんっ…
ぬち
ぬめ…
ぬちょ…
どうくん…
むにっ…
むにっ…
ぬちっ
ぬちょお…
あっ…
ぬめ…
どうくん…

淫靡な声で
喘いでは――…
どっくん…
ぴくっ…
ぴくんっ…
めちょ…
むにっ…
むにっ…
めちっ
めちょお…
あっ…
どっくん…

んふっ…
どうぞ。
ぬちょ…
むたっ…
むたっ…
ぬちっ
ぬちょお…
ふっ…
また…
舌を絡ませ
キスをして…
どうぞ。
…っん…
むたっ…
むたっ…

んふっ…
…っん…
どっくん…
めちょ…
むにっ…
むにっ…
めちっ
めちょお…
ふっ…
どっくん…
むにっ…
むにっ…

はあ…っん…
んっ…んふっ…
どっくん…
どっくん…
むたっ…
むたっ…


んふっ…
…っん…
どくん…
どくん…
ぬちょ…
ぬちょお…
にゅちっ
ふっ…
むにっ…
むにっ…
むにっ…
むにっ…

あんっ…
ぴくっ…
ぴくんっ…
ぬろ…
ぬめ…
ぬろ…
ぬめ…
ぬちょ…
ぬちっ
むにっ…
むにっ…
ぬちょお…
どっくん…
どっくん…
あっ…

あんっ…

ぴくっ…

ぴくんっ…

ぬちょ…

ぬぬ…

ぬちょ…

ぬちっ

むにっ…

むにっ…

どっくん…

それを何度…

ぬち…

ぬぬ…

ああっ…

どっくん…

あんっ…

ぴくっ…

ぴくんっ…

ぬちょ…

ぬちょ…

ぬちっ…

ぬちっ…

どっくん…

ああっ…

繰り返した

だろうか…

ぬちっ

ぬちょお…

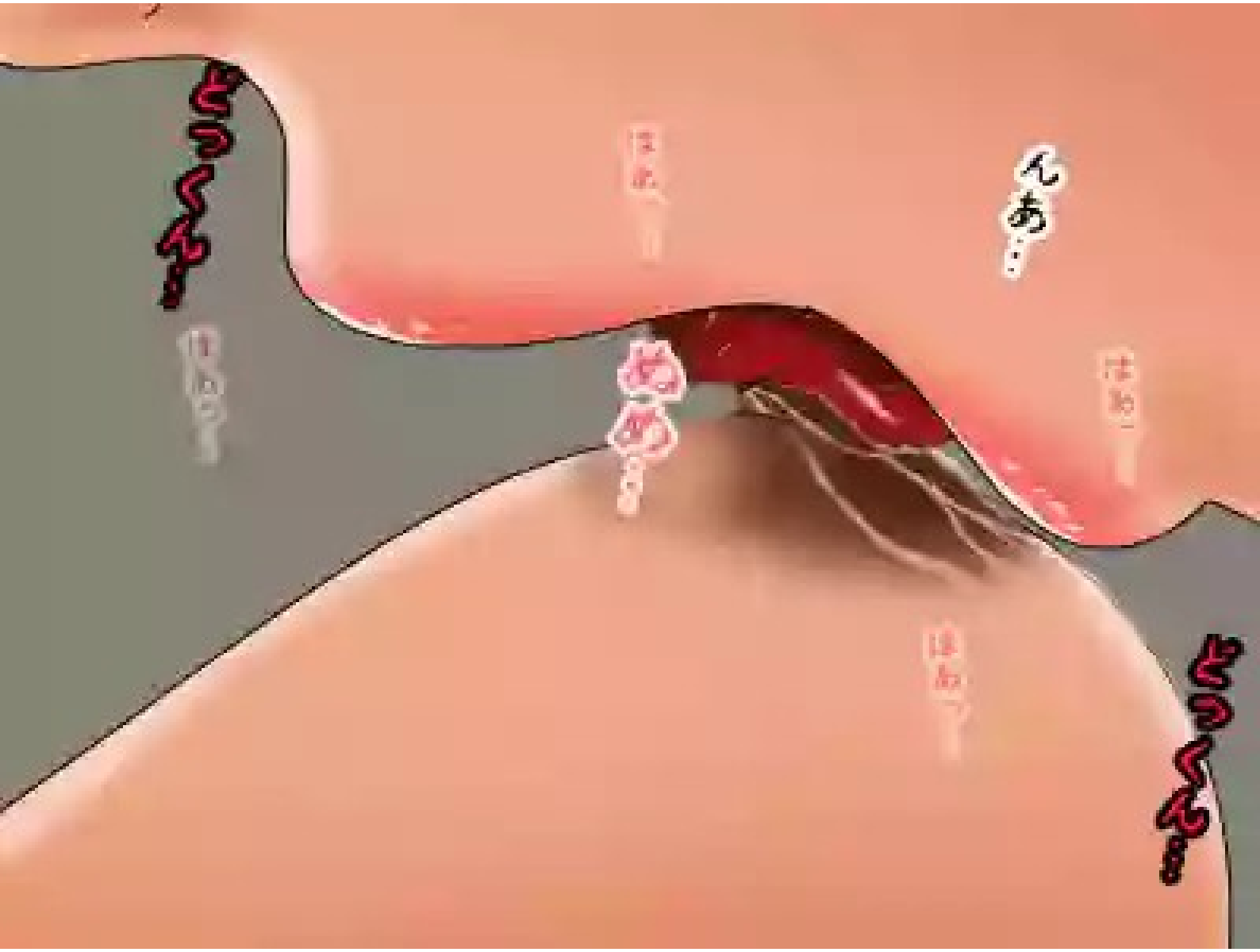
どっくん…

気が付くと二人は
上気した顔で…
黙ったまま…
どうぞ…

ただ――…
……
……
どっくん…
どっくん…
二人は
見つめ合って
いた…

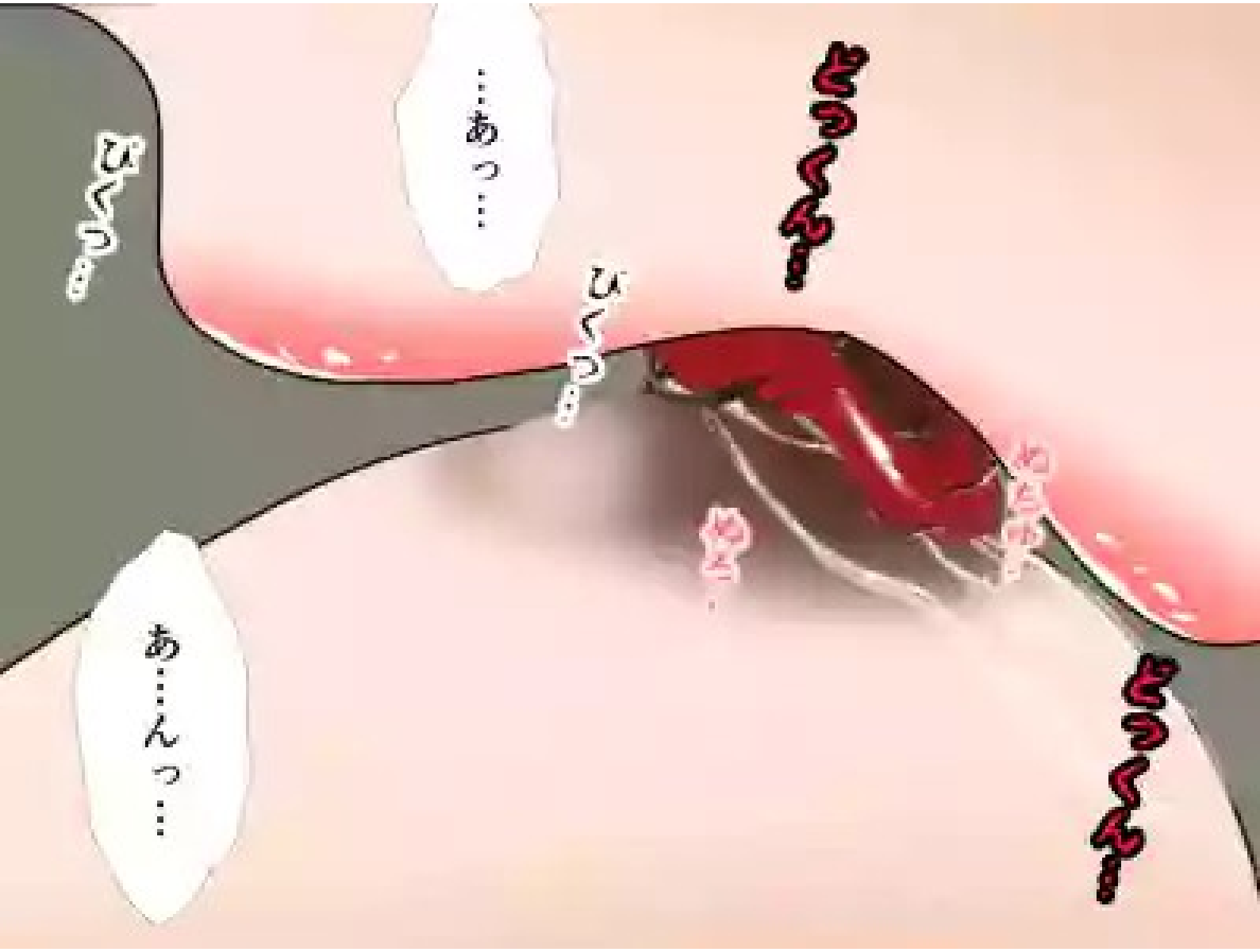
……
……
どっくん!!
どっくん!

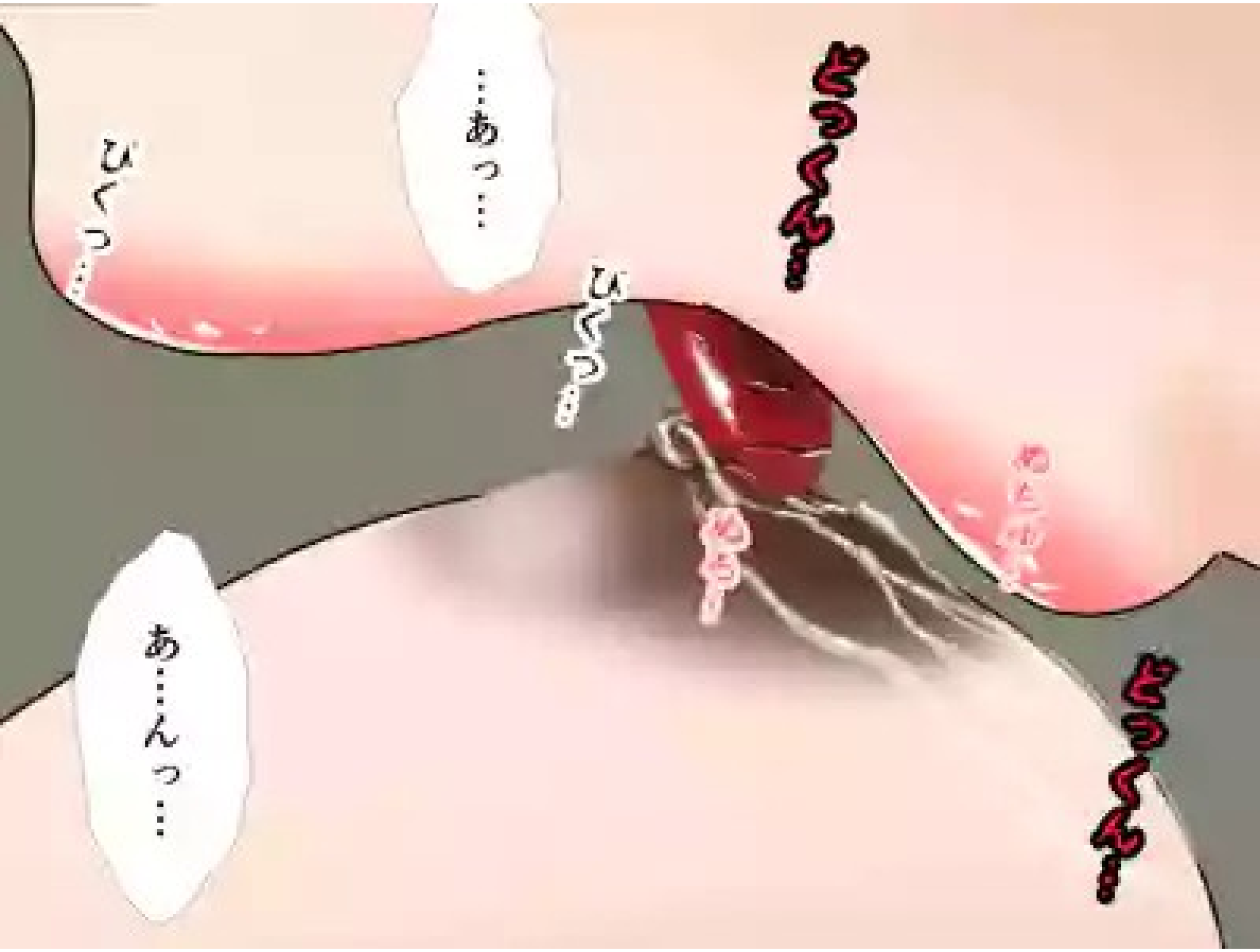
すると…杜戸先生が
無言のまま…
どっくん…
どっくん…

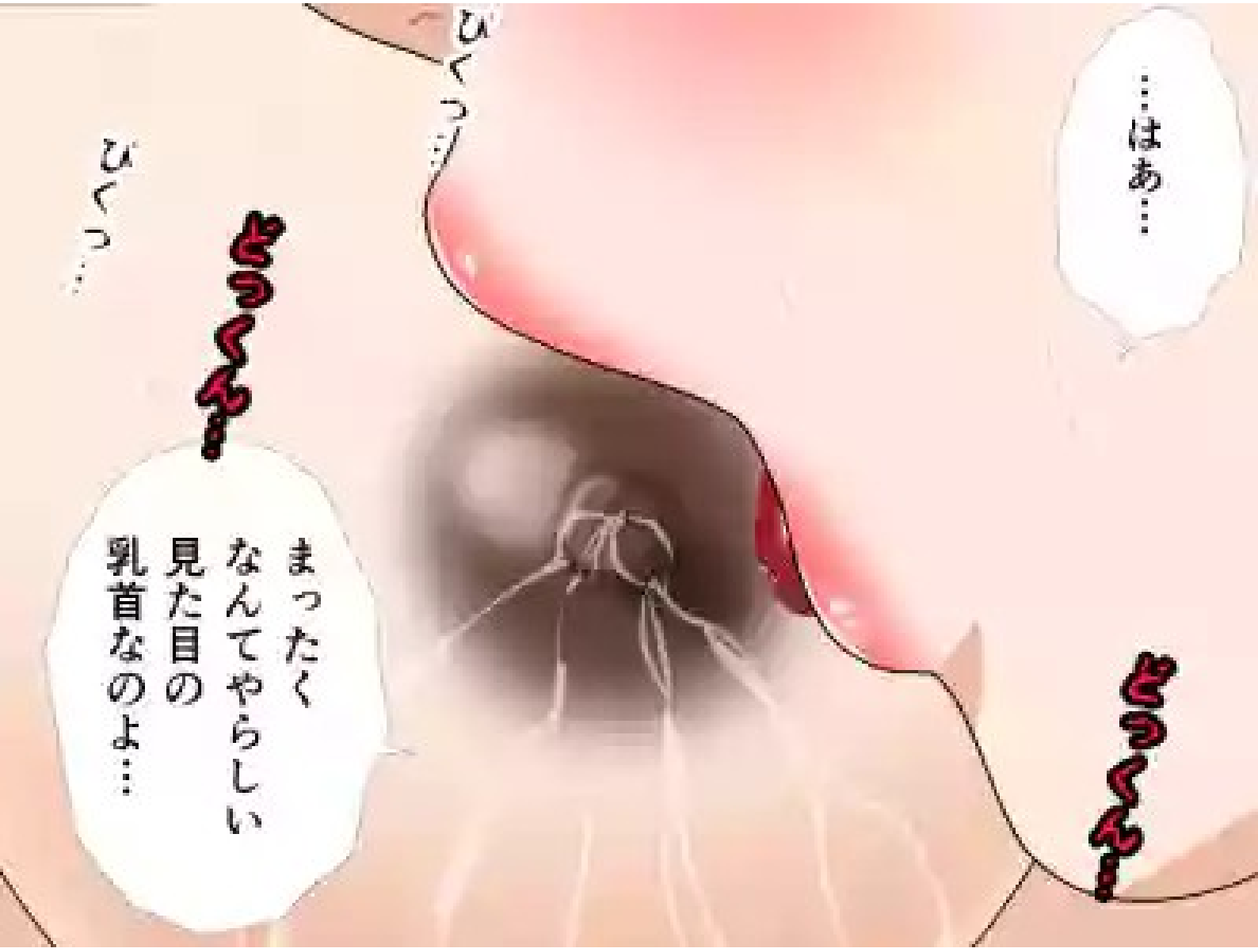

んあ…
どっくん…
どっくん…

どっくん…
ぴくっ…
…ああっ…
どっくん…

どうくん…
…あっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
ぬとぬと
ぬとぬと
あ…んっ…
どうくん…


どっくん…
…あっ…
ひくっ…
ぴくっ…
あ…んっ…
どっくん…


どっくん…
…あっ…
びくっ…
びくっ…
あ…んっ…
どっくん…



…はあ…

どっくん…

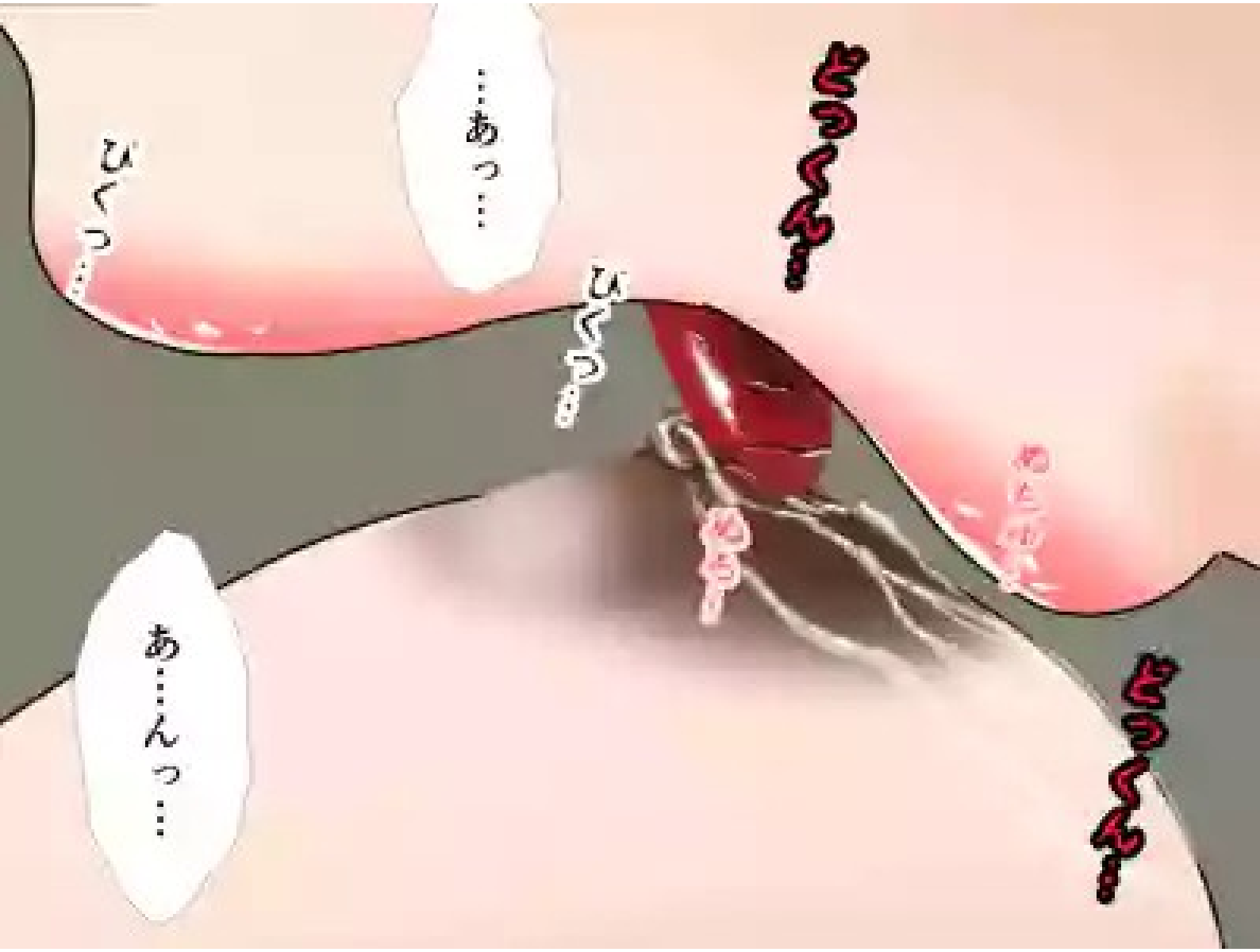
びくっ…

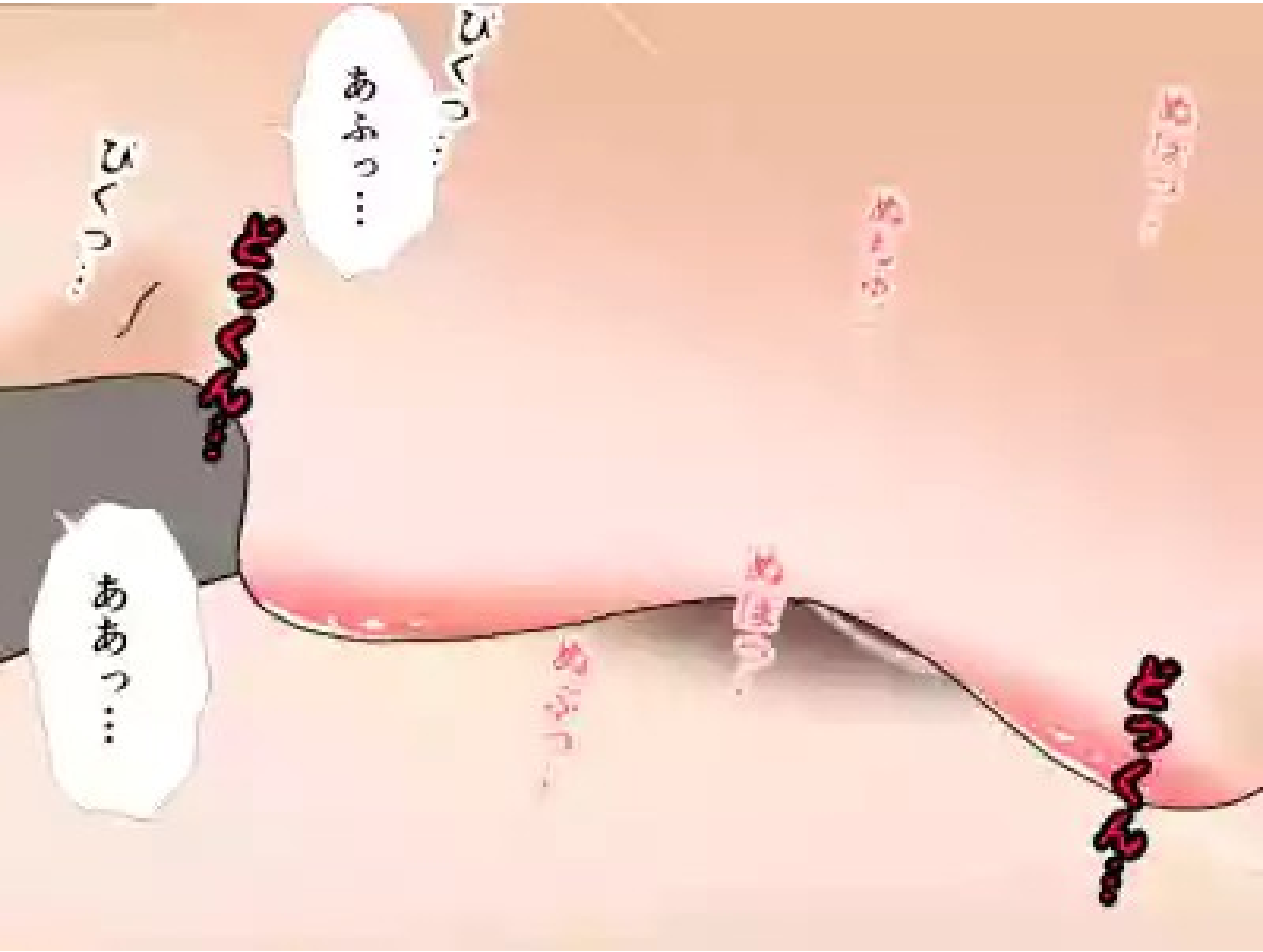
どっくん…

びくっ…

まったく
なんてやらしい
見た目の
乳首なのよ…

まるでどっかの
誰かさんみたい…
びくっ
どうくん?
びくっ
どうくん?
大体
乳輪の大きい女は
むっつり
スケベなのよね…


どっくん…
…あっ…
びくっ…
びくっ…
あ…んっ…
どっくん…


びくっ…
あふっ…
びくっ…
どっくん…
ああっ…
どっくん…

ああ…
せっかくいい
雰囲気だったのに
また…

どっくん…

ぴくっ…

ぴくっ…

どっくん…

険悪な
感じに
逆戻り―？

あふっ…
どっくん…
ああっ…
びくっ…
どっくん…
びくっ…

……
どっくん…
どっくん…

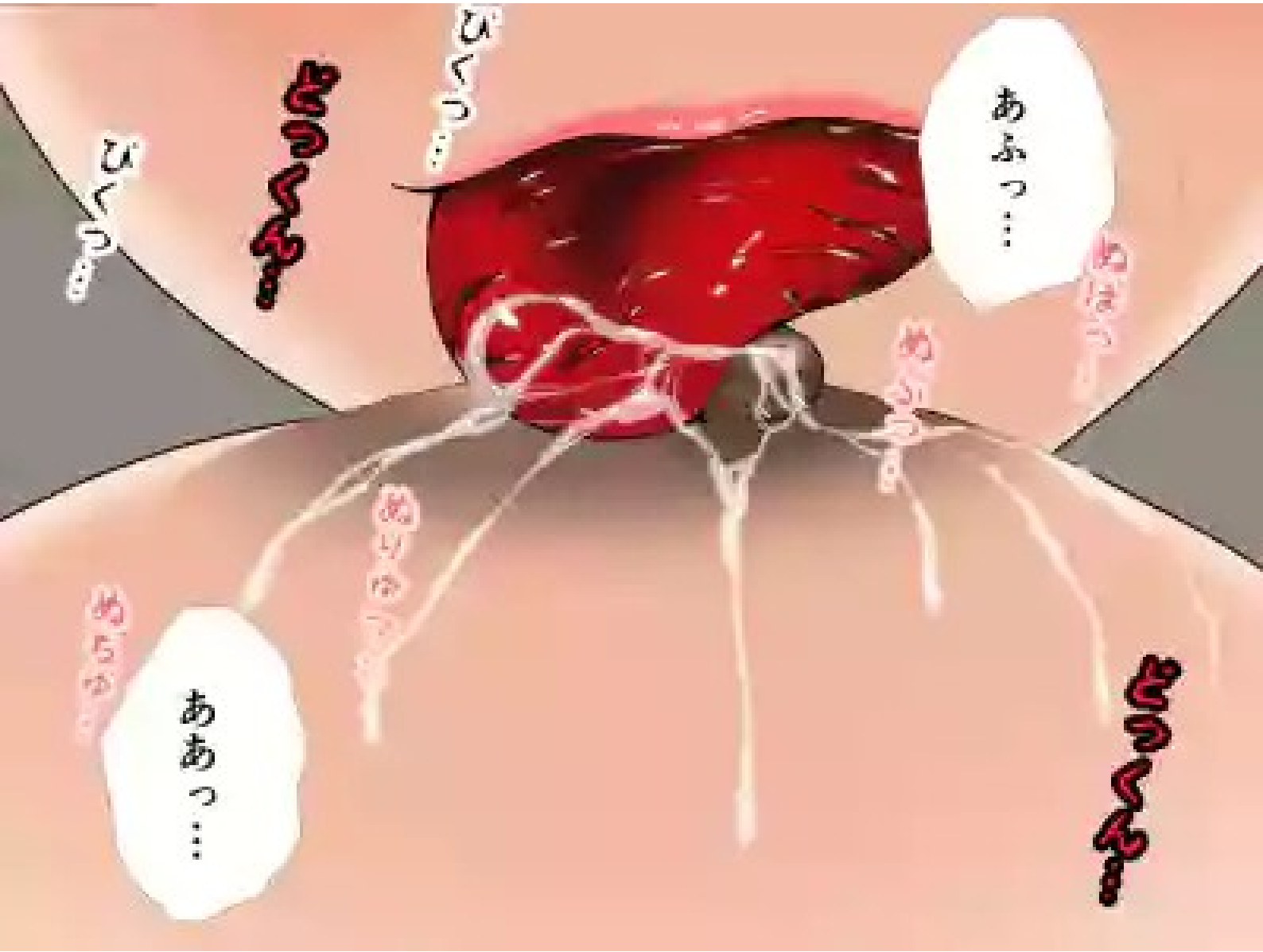
…お願い…
どうぞ…
…もっと舐めて…
どうぞ…

……
どうくん…
どうくん…

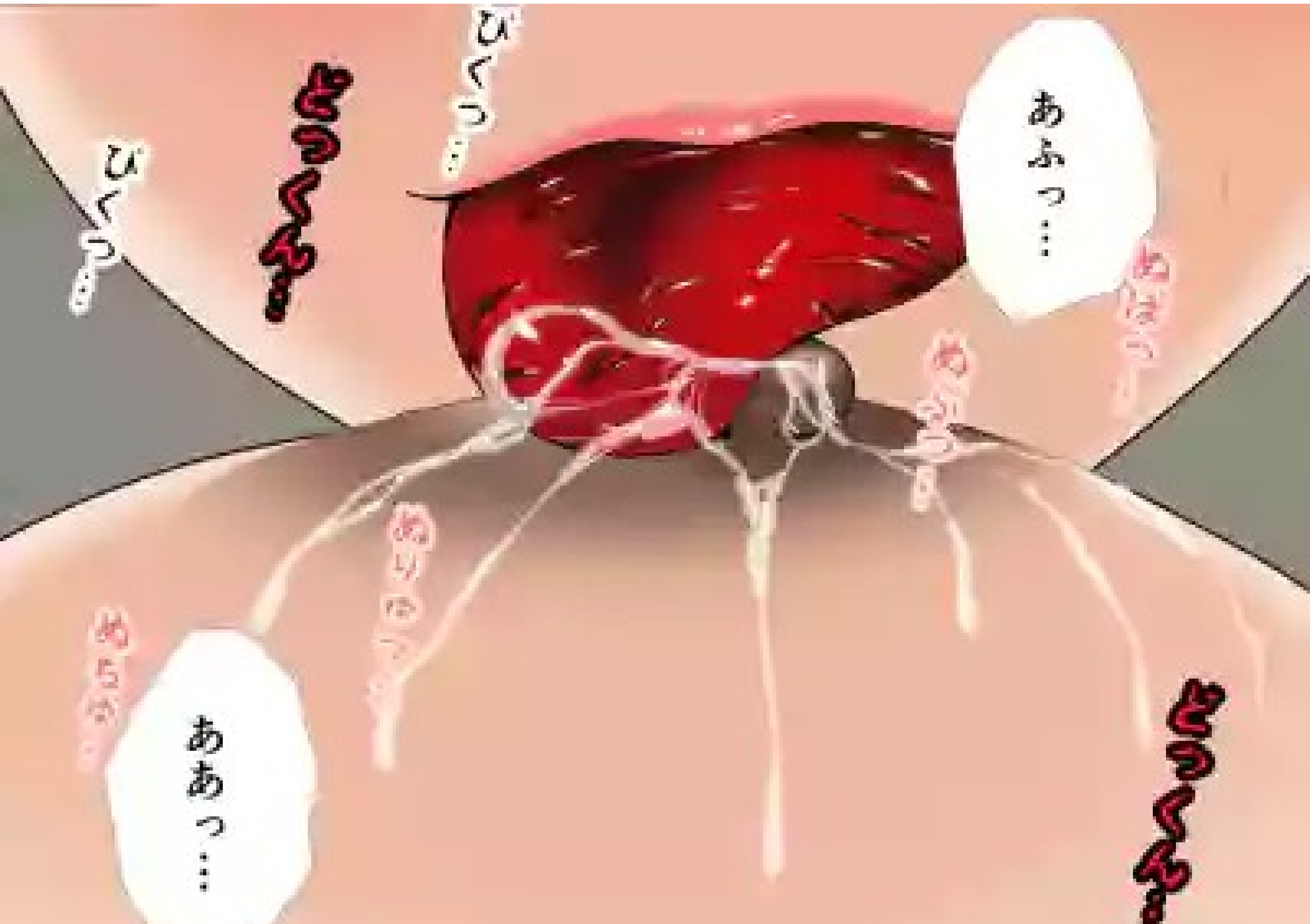
あふっ…
ぴくっ…
どっくん…
ぴくっ…
めぼっ…
めぶっ…
めりゅっ…
めちゅ…
ああっ…
どっくん…

あふっ…
ぬぼっ…
ぬぷっ…
ぴくっ…
どっくん…
ぴくっ…
ぬりはっ…
ぬちゅ…
ああっ…
どっくん…

あふっ…
ぬぼっ
ぬぷっ…
ぴくっ…
どっくん…
ぴくっ…
ぬりゅっ
ぬちゅ…
ああっ…
どっくん…

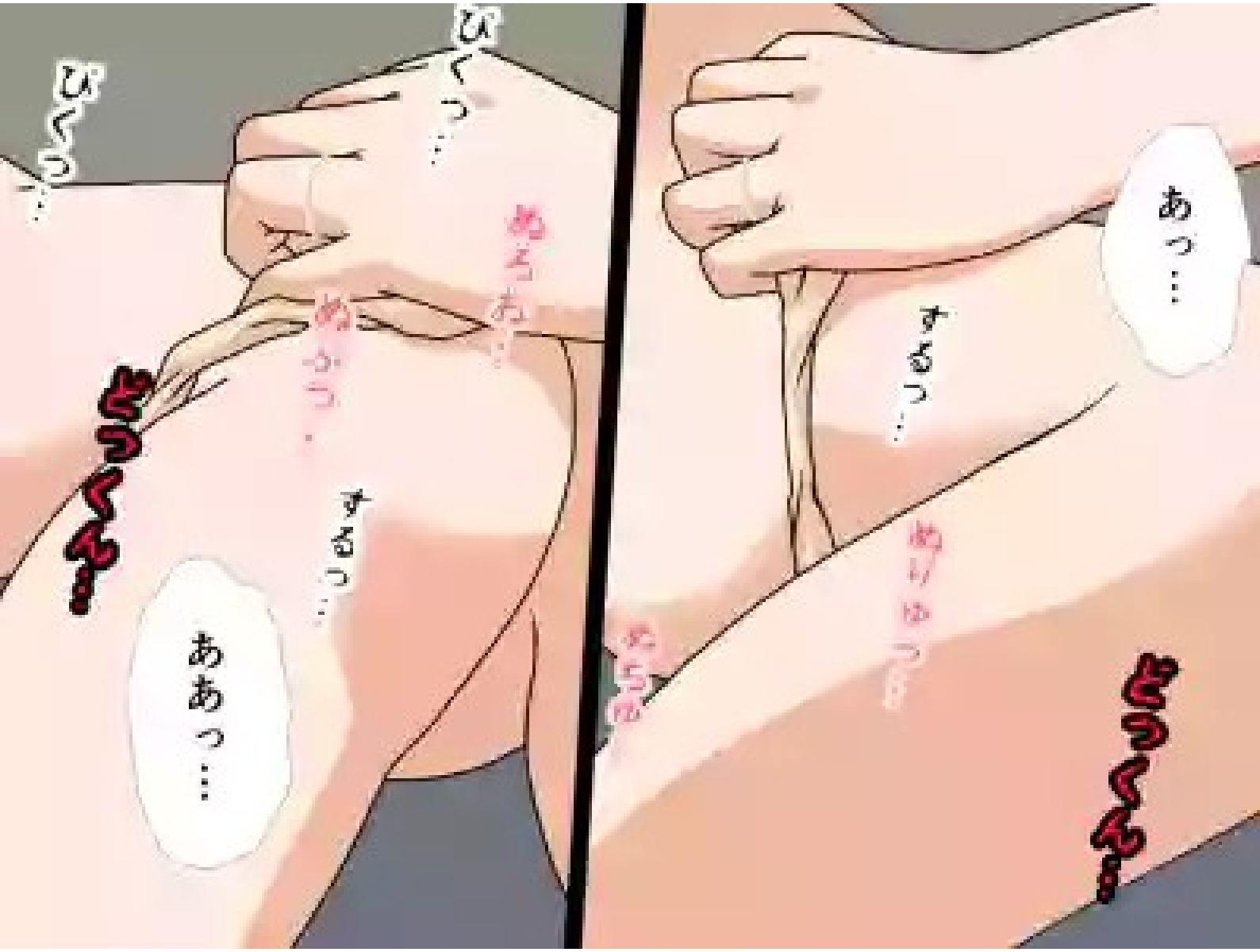

あふっ…
ぬぽっ…
ぬぷっ…
ぬりゅっ…
ぬちゅ…
ああっ…
どっくん…
どっくん…
びくっ…
びくっ…

あっ…
どっくん…
ああっ…
ぴくっ…
どっくん…
ぴくっ…


あふっ…
どっくん…
ぴくっ…
どっくん…
ぴくっ…
ああっ…

はああっ…
どうくん…
ああっ…
ぴくっ…
どうくん…
ぴくっ…

あっ…
ああっ…
どっくん…
びくっ…
びくっ…
どっくん…


あっ…
するっ…
ぬりゅっ…
ぬちゅ
どっくん…
ぴくっ…
ぴくっ…
ぬるぬ…
ぬふっ…
するっ…
ああっ…
どっくん…

どうぞ…
どうぞ…

あっ…
ぬぬ…
ぬぬ…
どっくん…
にゅぷっ…
にゅるるっ…
ああっ…
どっくん…

あっ…

ああ…

この二人は…

どっくん…

どっくん…

ああっ…

あはっ…
違う領域に…
どうくん…
二人だけで…
どうくん…
あはっ…

あはっ…

今…まさに入っていってるんだ…

ああはっ…

どっくん…

どっくん…

あはっ…
とろ〜ん
しゅるるっ
とろ〜ん
ああはっ…

あはっ…
ぬぬ…
ぬめ…
どっくん…
ああはっ…
どっくん…

あはっ…

男の僕を介さないー

ぬち…

ぬぬ…

どっくん…

にゅぷっ…

しゅるるっ

どっくん…

ああはっ…

ああっ…
すごい…
二人だけの
世界へー
気持ち…いい…
どっくん…
どっくん…

あっ…

ぬち…

どっくん…

ぬめ…

深い…

快楽の世界へ―

にゅぶっ…

ああっ…

どっくん…

ああっ…
あっ…
だめ…っ
めっ…
ぬめ…
どっくん…
溶け
…ちゃ…う…
どっくん…

あっ…
ああっ…
めち…
す…
どっくん…
どっくん…
すぶぶっ…
えっ…？

ちょっ…
ああっ…
そ、それっ…
どっくん…
どっくん…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…

あっ…だめっ
だめっ…
めち…
じゅぶ
じゅぶっ…っ…
どっくん…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
じゅるるっ
ああああっ…
どっくん…

あっ…きっ…
気持ち…い…い…
にゅぶっ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
どっくん…
どっくん…
やっ…
す…すご…い
…それ…っ

ぬろ…
じゅぶ
じゅぶっ…っ…
ぬめ…
だめっ…
い、一回止めてっ…
にゅぶっ…
じゅぶっ…
にゅぶっ…
じゅぶっ…
どっくん…
どっくん…
ああっ…
やめっ…！

ああ…
だめっだめっ…
ぬろっ…
ぬめ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
じゅぶ
じゅぶっ…っ…
どっくん!!
そ…
そんなにしたら…っ
どっくん!!

はあっ…！
じゅぶっ…
じゅぶっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
どっくん…
どっくん…
あああ…っ

あっ…あっ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
めっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
ああ…はあ…
どっくん…
どっくん…

はあ…ああ…
ひくっ…
ひくっ…
どくんどくん
どくんどくん

はあ…ああ…
ひくっ…
苗田ママが…
イっちゃった…
ひくっ…
どくどく
はあっ…
どくどく

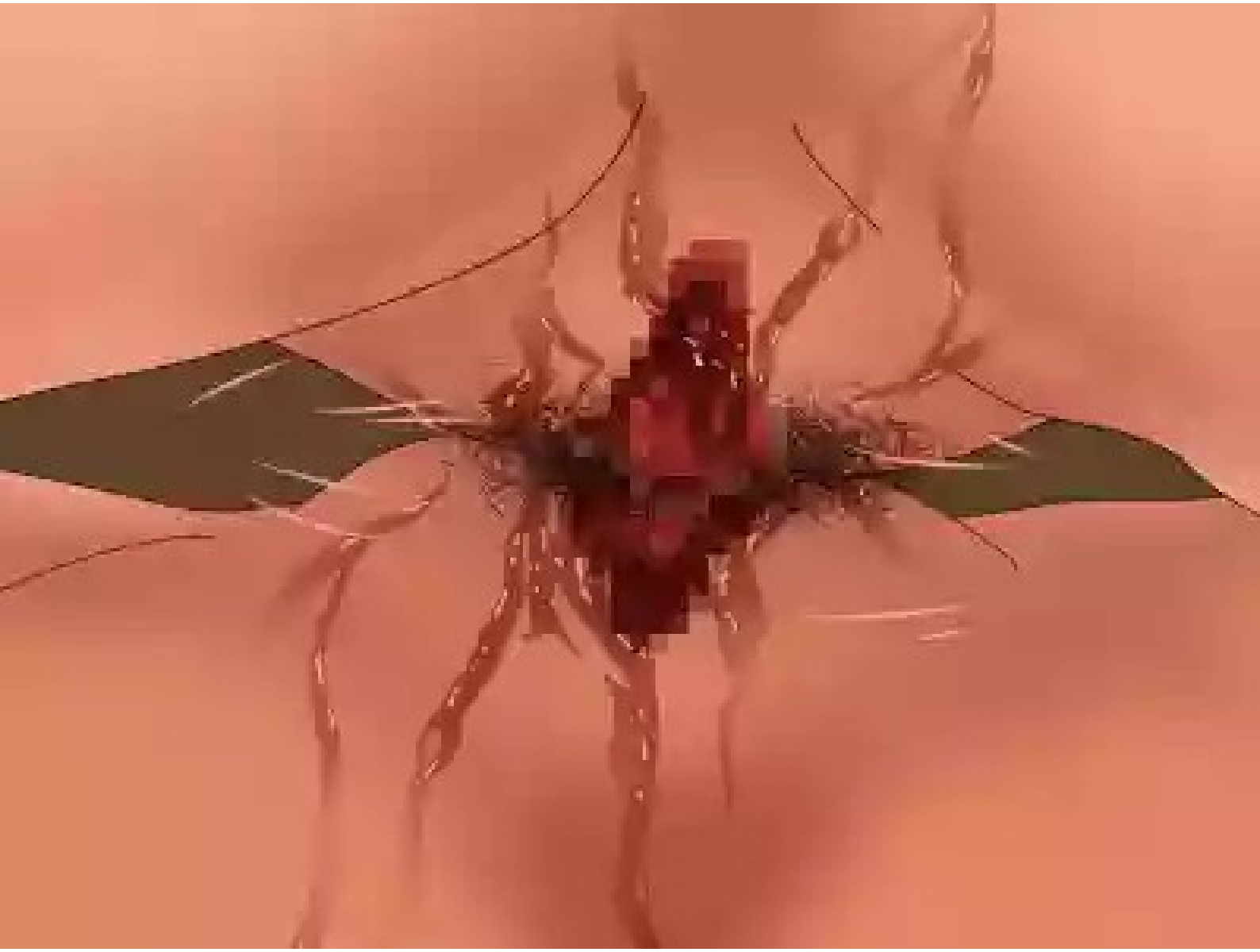
苫田ママが…
杜戸先生に
イカされちゃった…！
ぬめ
ぴくっ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…

こ…こんな日が来るなんて…!!
ぐっぐっ
ぐっぐっ

めぼ…
どろお…
どっくん…
どっくん…

せ、先生…
な…なんか
慣れてません？
どうして…
そ、そんな…上手
なんで…すか…

どうくん…
どうくん…



どうくん…
どうくん…

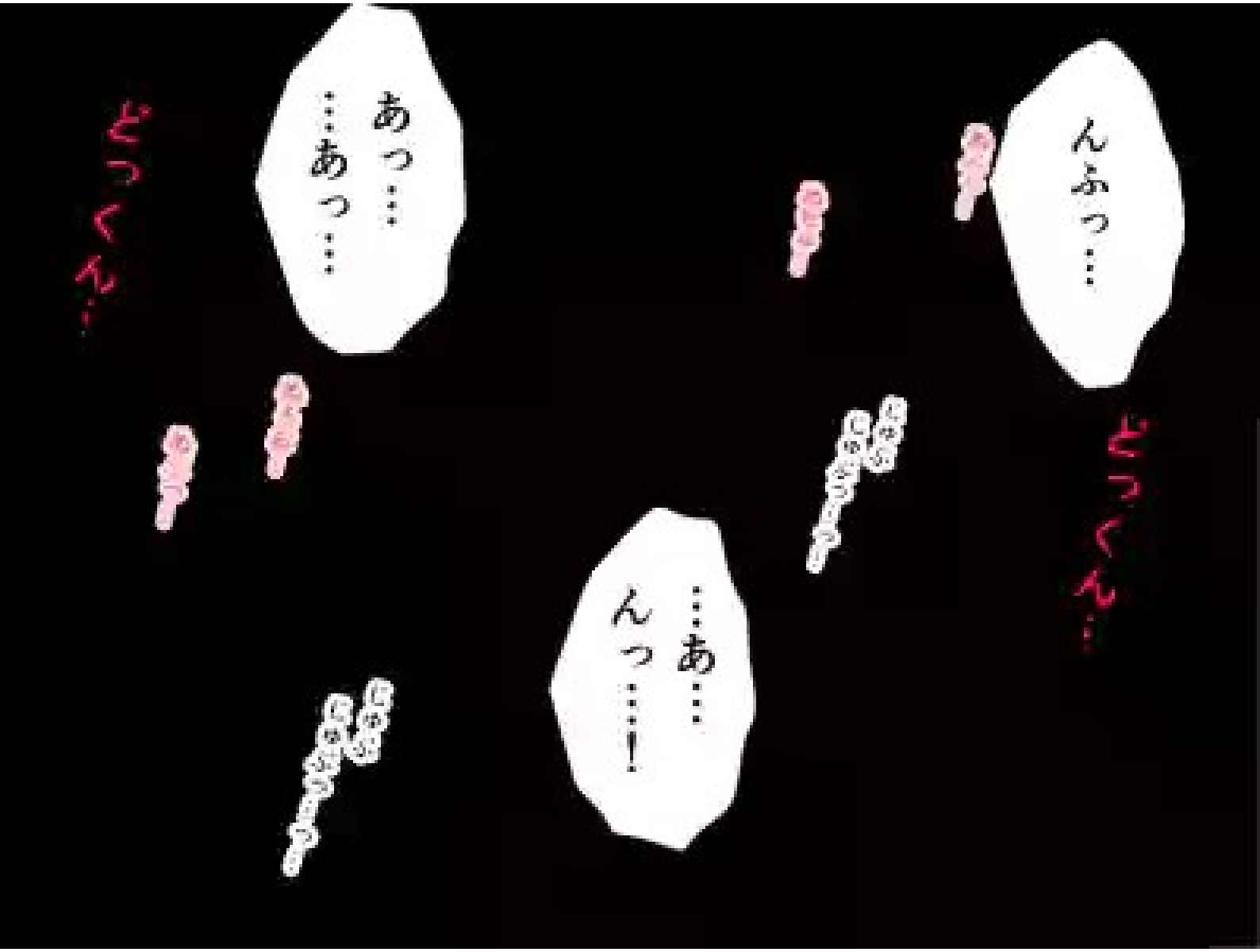
どっくん…
どっくん…

内緒♥
どうして…
どうして…

ゆ…
ゆり菜さん…
も…もう
何も言われなくても
自分から舌を…！
とろ～ん…
とろ～ん…

はむっ…！
どうぞ。
んんふっ…！
どうぞ。

んふっ…！
どうくん…
じゅぶっ…
じゅぶっ…
は…あ…
んっ…！
どうくん…


んふっ…
どっくん…
あっ…
…あっ…
どっくん…
…あ…
んっ…！

杜戸先生と苗田ママをレズらせて3Pしちゃう夜

～ふたなりの淫魔物語～

んっ…！
んんんっ！
ぬる…
ぬぬ
じゅぶ
じゅぶっ…っ…
どっくん…
んんんっ！
どっくん…
じゅぶっ…
じゅぶっ…

んんっ！
どうくん？
にゅぷっ…
にゅぷっ…
どうくん？
ん…んっ！

んっ…！
んはあっ！
どっくん！
どっくん！
じゅぶっ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…っ…
どっくん！
どっくん！
あはっ！

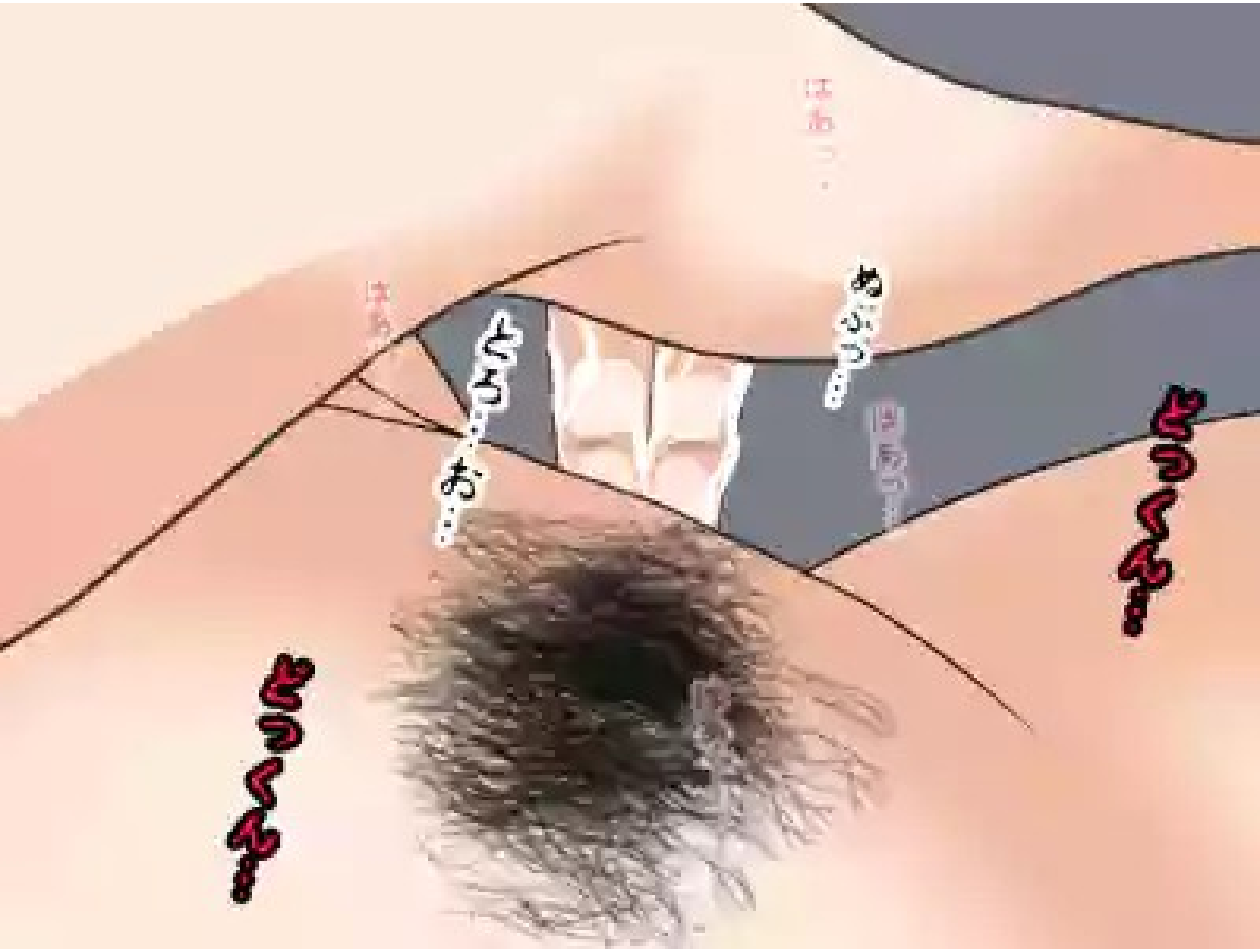
んっ…！
んんんっ！
ぬち
ぬめ
にゅぶっ…
にゅぶっ…
にゅぶっ…
にゅぶっ…
どくんっ
どくんっ
んんんっ！

はあ…あっ！
どっくん…
ぬろ…
ぬぬ…
にゅぶっ…
じゅぶっ…
どっくん…
あ…っ！

んっ…！
んはあっ！
あはっ…！
どっくん…
どっくん…
じゅぶ
じゅぶっ…っ…
じゅぶっ…
じゅぶっ…

めっ…
ぴくんっ…
ぴくぴくっ…
ぴくっ…
にゅぶっ…
じゅぶっ…
ぴくっ…

びくっ…
びくびくっ…
にゅぷっ…
じゅぷっ…
どっくん…
どっくん…


はあっ…
めふっ…
はあっ…
とろ…お…
どっくん…
どっくん…

うわあ…
なに…これ…
どっくん！
……
どっくん！

すっごいよ…
中…
どっくん…
とろ…お…
愛液で
あふれかえって
ぬちょぬちょの
どろどろ…
どっくん…

あっ…やっ…

ぐちょ…

ぐちょ…

どっくん…

どっくん…

だめっ…
い…今
敏感…っ…

もし私が男で
こんな中に…
オチンチン
挿れたら…
どっくん
気持ちいいに
決まってる…
どっくん

き…気持ち
いいですよ…
どっくん
どっくん
だって彼も
何度もこのオマンコで
気持ちよすぎて
射精したんですもの…

どうくん…
……っ！
ゆ…
ゆり菜さん…っ
どうくん…

……！
……
どっくん…
どっくん…

…やっぱあんた…
どうくん。
どうくん。
むかつくわ…

あっ…
どっくん
ああっ…！
どっくん

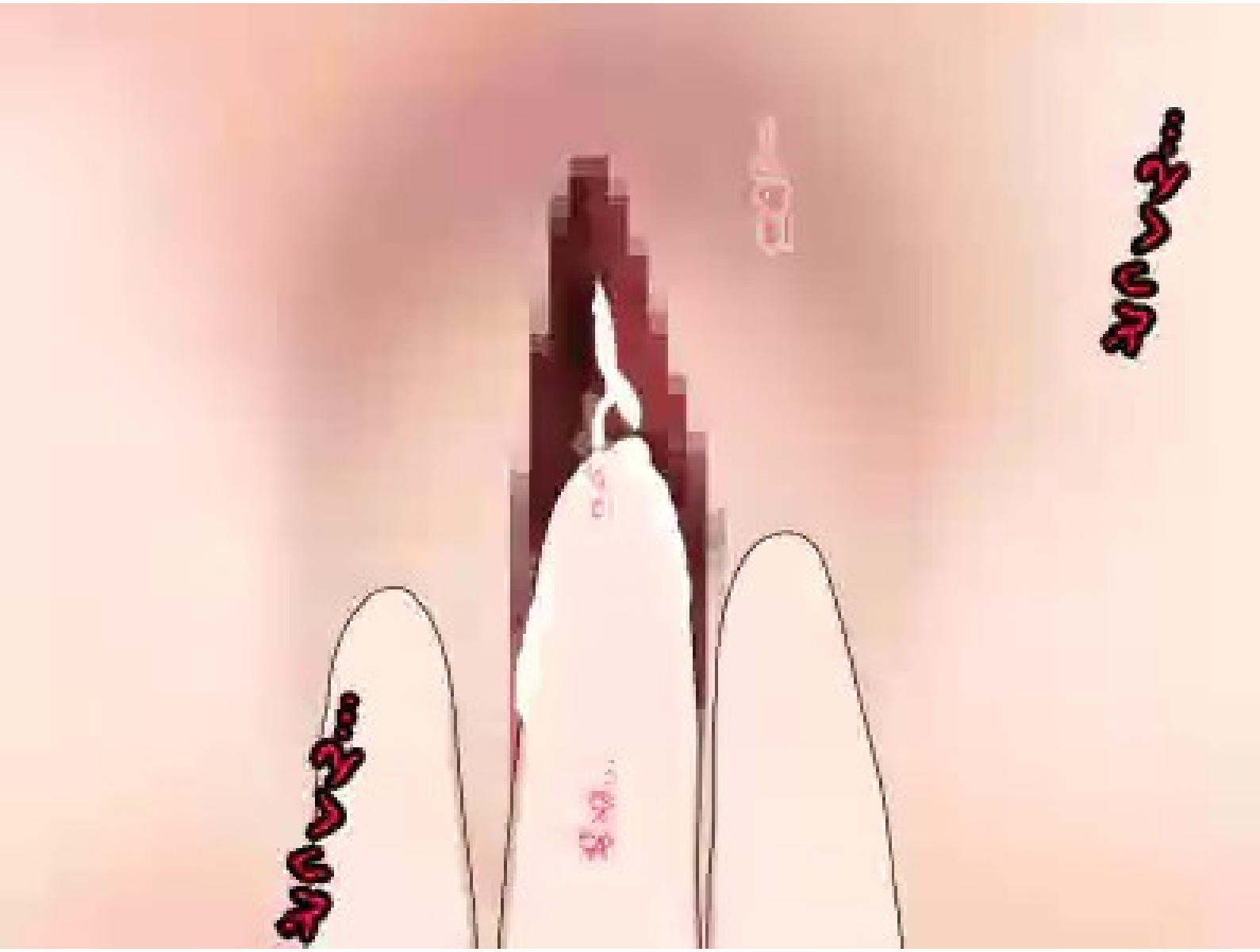
あっ…
はあっ…
どくどく
どくどく

ふっ…！
どっくん…
あふっ…
んふっ…！
どっくん…

やっあ…
あっ…は…

なに…これ…
ぬるぬる…
ぬるぬる…
どっくん…
ひ…人のこと言えないでしょ…
ぬるぬる
どっくん…
入口までぬるぬるじゃない…

な…中に
指…挿れて…
どうくん…
……
どうぞ。



ぬるっ…
ぐっくん!
ぐっくん!

どうぞ？
ぬるるる…
ありがとう

ど…どお…？
どぅくん…
……
どお…って…
指の感覚が
ないくらい
中までぬるぬるよ…
ぬるぬる
ぬるぬる
ぬるぬる
どぅくん…

なによ
これ…
どっくん…
教師が
こんなオマンコ
してていいと
思ってるの？
セックス
したくて
しょうがないん
じゃない…
どっくん…

こんな中に…
どくん…
おチンポ
挿れたら…
男の子は
絶対気持ちいい
でしょうね…
どくん…

そうよ…
だって…
どうくん…
彼の童貞を
奪ったオマンコ
ですもの…
どうくん…

ぐいっ
…っ！
ぐいっ
も…
杜戸先生
まで…っ！

……！
どっくん…
どっくん…

女を知らない
彼のおチンポが…
どくん
初めて射精したのは
このオマンコ…
どくん

初々しい彼の…
初めての射精を
この中で
受け止めたの…

初めて私の家で
肌を重ねたあの日の事…
もう昨日のことのように
思い出すわ…

……
どうくん…
……！
どうくん…

……っ！
…っん…
どっくん…
あっ…
ああ…
ふっ…
ど、どうしよう…
また二人が…
どっくん…

どうくん…
もう…
どうくん…

どっくん…
やめましょ…
どっくん…

どうして…？
えっ…？
んっ…！
んふっ…！
どうして…？

ふっ…！
どっくん…
あふっ…
んふっ…！
どっくん…

ああ…もう…
ふっ…この二人…
どうくん…
どういう感情なんだ…
んふっ…！
どうくん

ふっ…！
どっくん…
あふっ…
んふっ…！
どっくん…

ふっ…！

女同士のプライドがぶつかりながらも…

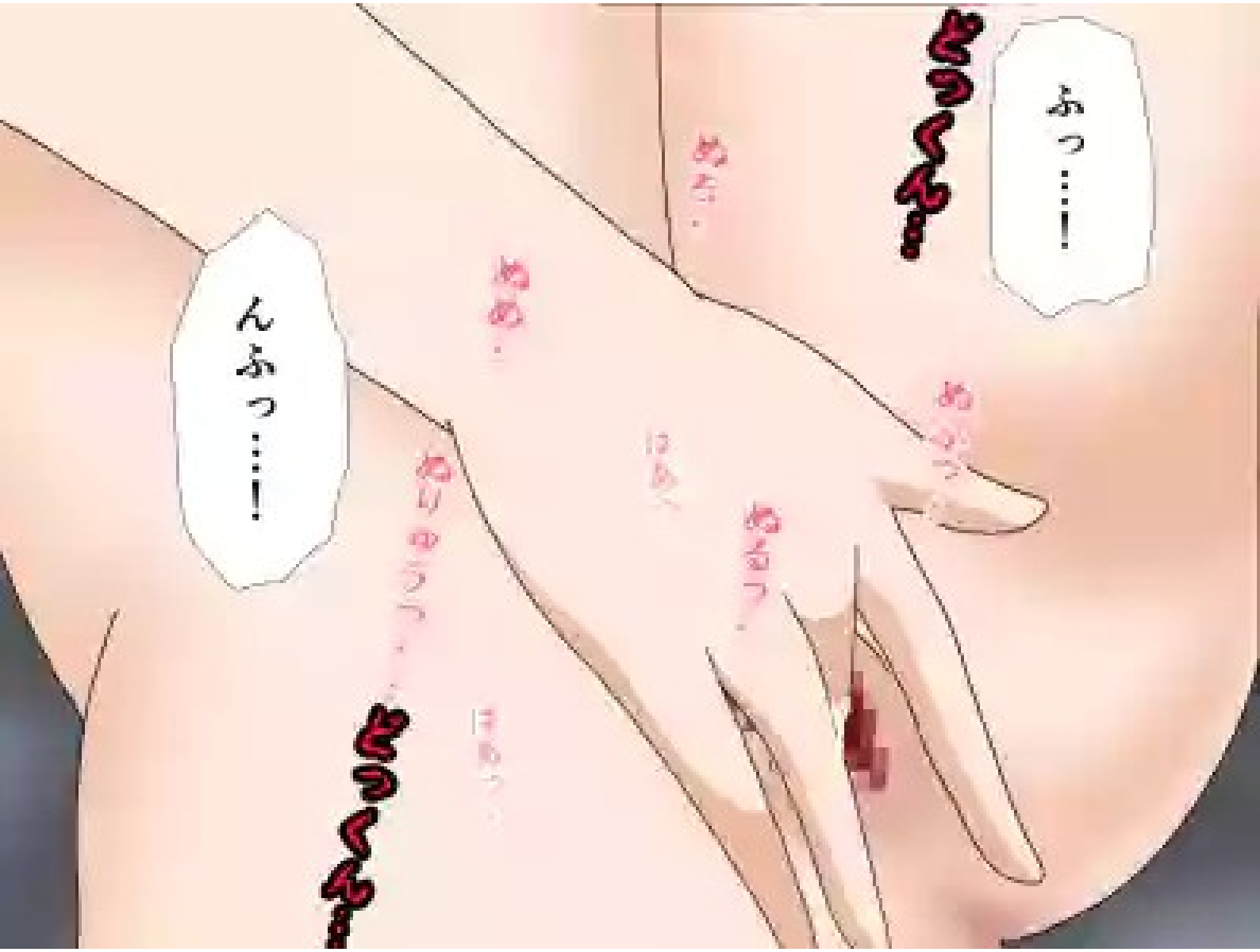
どうくん…

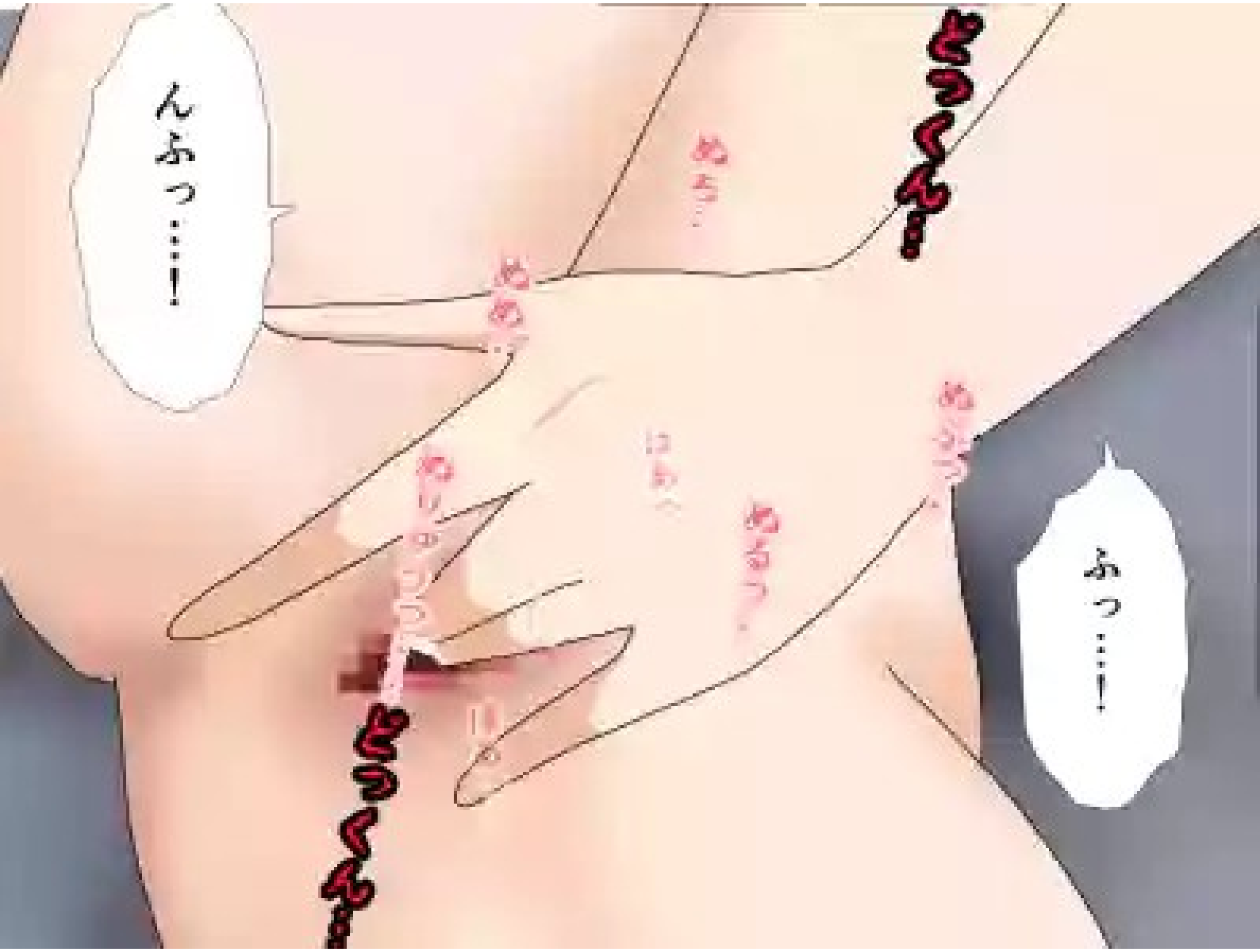
あふっ…

んふっ…！

どうくん…

ふっ…！
どくどく
二人の世界で…
たかまり合って…
あふっ…
ぬるっ
ぬるっ
んふっ…！
どくどく


ふっ…！
どっくん…
んふっ…！
どっくん…


どっくん!!
んふっ…!
ふっ…!
どっくん!!

見てる方が
なんかもう
色々な感情が
ぐちゃぐちゃだよ…っ
ふっ…！
どっくん…
んふっ…！
どっくん…

どっくん…
んっ…！
んふっ…！
どっくん…

ふっ…！
どっくん…
あふっ…
んふっ…！
どっくん…

それにしてもー
ぐっくん…
じゅぶ
じゅぶっ…っ…
ぐっくん…
じゅぶっ…
じゅぶっ…

今の二人のマンコ…

どっくん…

確かにチンポ挿れたら
めちゃくちゃ
気持ちよさそう…

どっくん…

ね…ねえっ…！
…っん…
あっ…
ふっ…
どうぞ…
どうぞ…

どっくん…
そ…そろそろ
どっちかのオマンコに
挿れたいんだけど
勝敗決めて
い…いいかな…？
どっくん…

ふっ…！
あふっ…
どっくん…
んふっ…！
どっくん…

だって…
…どうする？
どうぞ…
ん～…
どうぞ…

……
……
どっくん!!
どっくん!

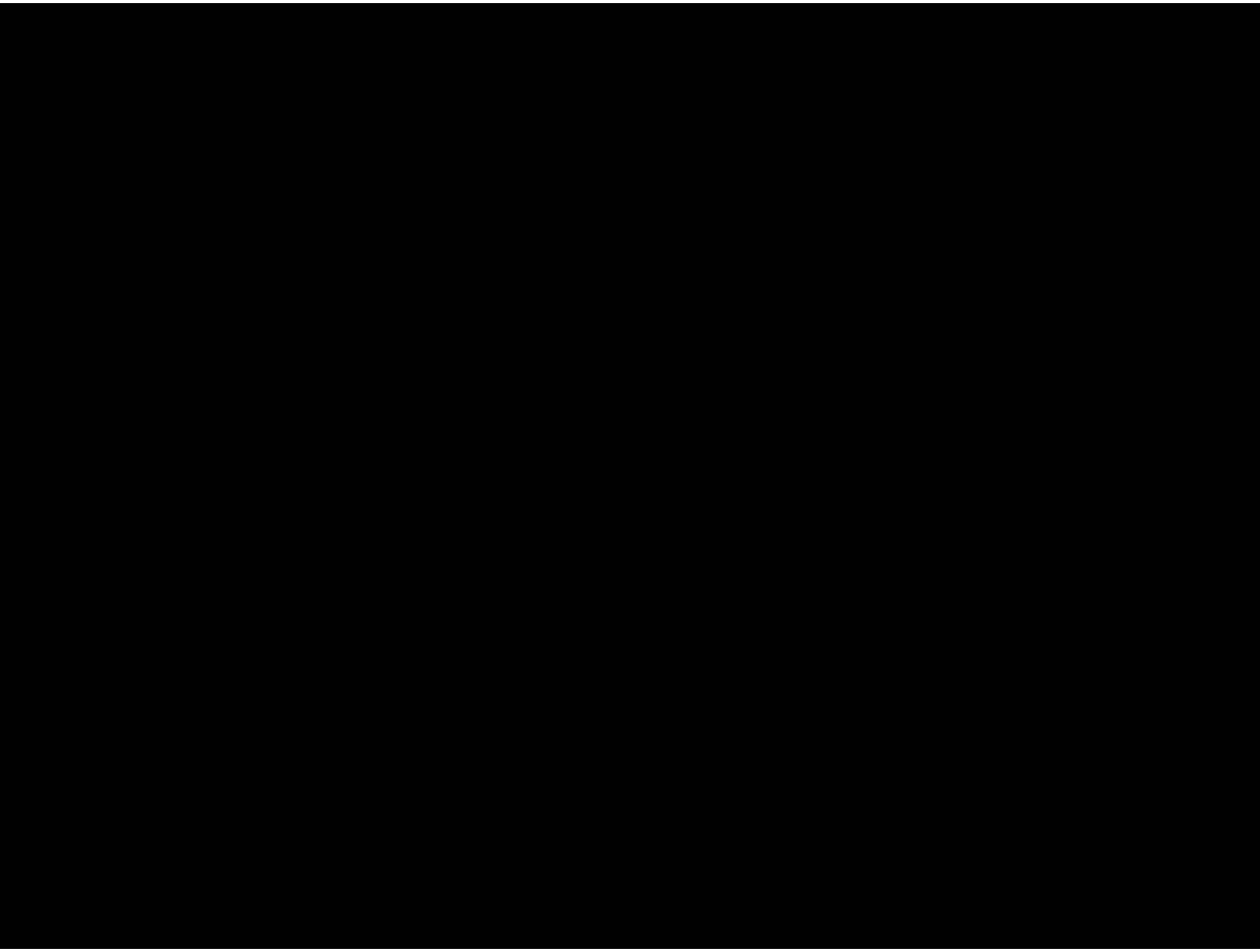
ん…なんか…もう…
後でも
いいかな…
そうね…
んっ…

んっ…
ふっ…
んふっ…
どっくん…
どっくん…

ふっ…！
どっくん…
あふっ…
んふっ…！
どっくん…

あぁっ
んふっ…！
ふっ…！

……
…っん…
どっくん…
あっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…



どうぞ…
どうぞ…

どっくん…
二人は
完全に男の僕を
ほったらかしにして
どんどん深く
交わる一方で…
どっくん

見つめ合ったまま…
とろ〜ん…
さっきより激しく
お互いの性器を
とろ〜ん…
刺激し合っていた…

どうぞ…
…あっ…
だめっ…
ああっ…
どうぞ…

どくん…
…あっ…
すごいっ…
それっ…
すごい…ですっ…
どくん…

どっくん！
はあ…あっ…
ああっ…
もうっ…
たまん…
な…いっ…
どっくん！

どうくん…
あ…あんっ…
ああっ…
だめっ…
かん…じる…っ
どうくん…

とっくん
やっ…そこっ
あ
そこ…
擦ってっ…
とっくん

あっああっ…
やば…い…
い…イキ…
そ…
どっくん…
どっくん…

どっくん…
あっああっ…!
びくっ…
ぬぷっ
じゅぷっ
びくっ…
びくっ…
あんっ…ああっ…!
じゅぷっ
どっくん…

どっくん…
はっ…ああっ…
あ…あふっ…うっ…
ひくっ…
ひくっ…ひくっ…
どっくん…

どっくん。
はああ…
す…すごいね…
これ…
ひくっ…
ひくっ…ひくっ…
どっくん。
どこからが
自分の身体だか…
…わかんなく…
なっちゃう…

相手のオマンコを
愛撫してるはず
なのに…
どうくん…
ひくっ…
ひくっ…
どうくん…
自分のオマンコが
気持ちいい…の…

ふ…不思議な…
気持ち…
ひくっ…
ひくっ…
どくん！
どくん！
まるで二つの身体が
一つにつながってる
…みたい…っ！

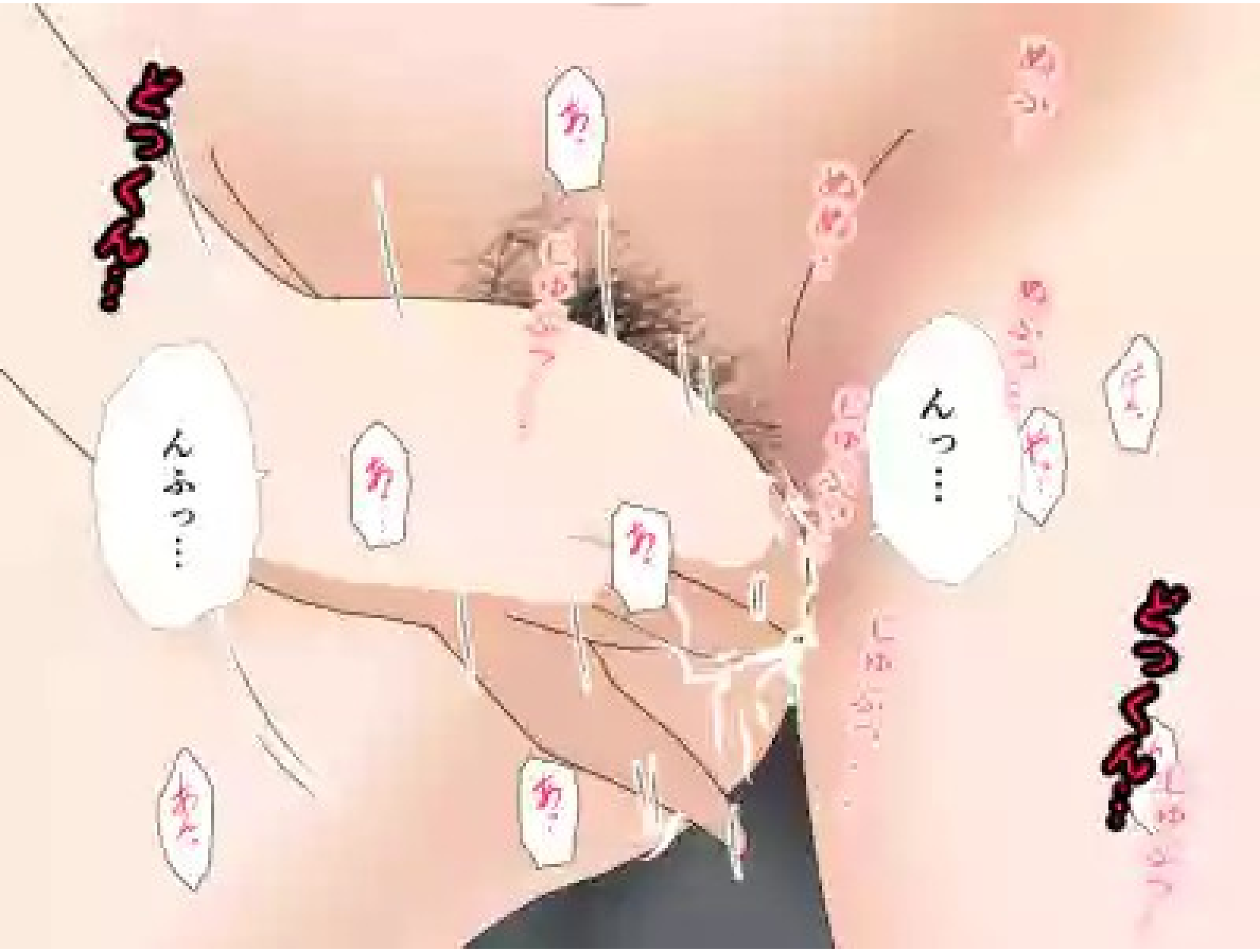
こんな…
世界があったのね…
どうくん…
どうくん…
そうよ…
彼とも違う…
女だけの快楽の世界…

もっと…
一つに…なりましょ
うん…

どっくん…
んっ…
んふっ…
どっくん…

ぐぐぐ…
んふっ…
ぐぐぐ…
んっ…

そう言って
交わす…
んっ…
どうくん…
二人のキスは…
どうくん…
んふっ…


んっ…
んふっ…
どっくん!
どっくん!

んっ…
んふっ…
ふっ…
どっくん…
どっくん…

今までで一番深くて…
んっ…
相手のことを思う…
気持ちが籠ってる…

そんな…
キスだった…
んっ…
どっくん…
どっくん…
んふっ…

どっくん…
んっ…
んふっ…
どっくん…

なんか…
変な感じ…
一つになればなるほど…
んっ…
どっくん…
どっくん…
んふっ…

だんだん…
彼女の事が…
愛おしく
なってくる…
んっ…
どうくん…
どうくん…
んふっ…

あっ…あっ…
んっ…
んふっ…
どっくん!!
どっくん!!

彼…じゃないのに…
ぷはっ…
はあぁ…

あっ…
ああっ…
どくん！
どくん！
あ…んっ…
ああっ！
女同士なのに…っ！

やっだめっ…
また…イクっ…
どくん!
どくん!
イっちゃう…
ああっ…

どっくん…
どっくん…
あっ…！
ああっ…！
ひくっ…
ひくっ…
ひくっ…
いっくっ…！
あああっ…！

彼女のことが…
ぴくっ…
どっくん…
どっくん…
こんなにも…
ぴくっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
愛おしいなんて…！

はあっ…
あっ
あふっ…
んっ…
どくどく…
ひくひく
ひくひく
ひくひく
どくどく…
ひくひく
ひくひく
はあっ…

あっ…
ひくっ…
ぬりゅっ…
どっくん!
どっくん!

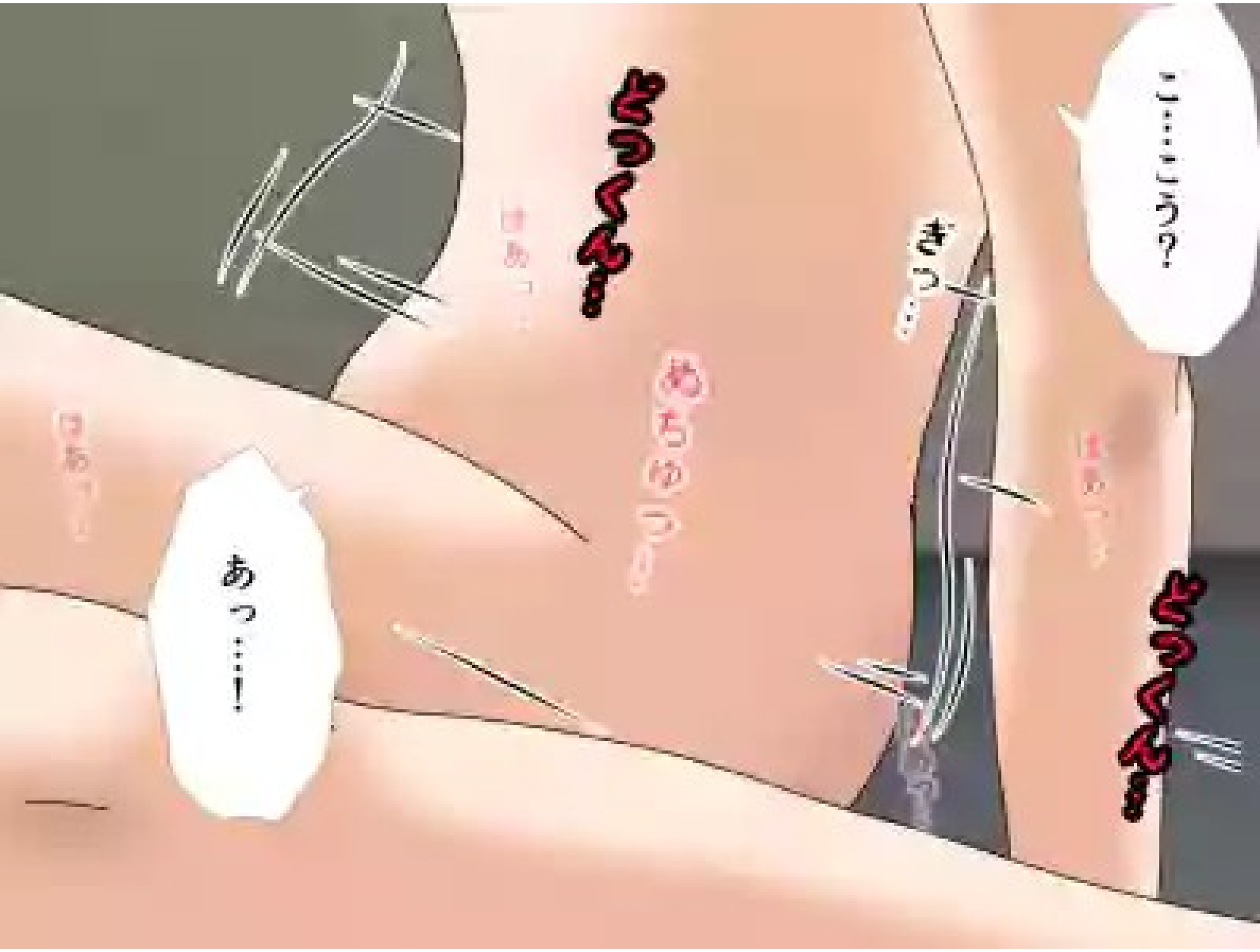
どっくん…
ぴくっ…
どろっ…
どっくん…
やっ…

……
どっくん!!
どっくん!!

……
どっくん!
どっくん!

あっ…！
ぬちゅっ…
ぼっくん！
ぼっくん！
んっ…！

ね…ねえ
クリちゃん
くっつけたまま…
どくん…
ええ…
こ…腰…
動かして…
で…できる…？
どくん…


こ…こう？
どっくん…
ぎっ…
めちゅっ…
どっくん…
あっ…！

な…なにっ
これっ…!?
どうくん
きっ
そ…そう…
上手…
どうくん
ぎっ
自分が
気持ちいい
角度見つけて
擦りつけ合うの…

あ…あぁっ…
ぎっ…
どくどく
あっ…
あんっ
どくどく
あふっ…
んっ…んっ！
ぎっ…

あ…ああっ…

ぎっ…

あっ…
あんっ

どっくん…

どっくん…

あふっ…
んっ…んっ！

ぎっ…

あ…ああっ…

ぎっ…

あっ…あんっ

どっくん…

どっくん…

あふっ…んっ…んっ！

ぎっ…

ああ…だめっ…
こんなのっ
ああ…だめ…
気持ち…いい…

あっ…
すごい
これっ…
きっ…
ここっ
どっくん…
ああ…もっと
押し付けてっ
どっくん…
きっ…

うわあ…
どうして？
クリトリスと
クリトリスを
押し付け合ってる…
どうして？

どっくん!!
きっ…
どっくん!!
ぬふっ…
きっ…

二人とも…
きっ…
どうくん…
どうくん…
僕の事なんか
忘れたかのように…
必死に…

どっくん…
きっ…
どっくん…
気持ち…
良さそう…
ぬぷっ…
きっ…
どっくん…

どっくん…
きっ…
どっくん…
ぎっ…

2匹のメスが
繋がったまま
悶え合う
このプレイは…
どっくん…
どっくん…

どっくん…!
きっ…
どっくん…!
きっ…

どうくん…!
きっ…
ああ…
や…やば…い…
かもっ…
ぬぷっ…
ぬうゅっ…
ぬりゅっ…
きっ…
どうくん…!

ぴくっ…
あっ…
どっくん…
どっくん…
きっ…

ああっ…
あっ…
ひくっ…
ひくっ…
どっくん…
きっ…
突然…
予告なく―
どっくん…

ゆり菜さんだけ
先にイったり…
んんっ…
んっ…
びくっ…
びくっ…
どうくん…
どうくん…
ぬちゅっ…
ぬぷっ…
ぎっ…
ぬりゅっ…

あ…やば…
くる…
どっくん…
びくっ…
びくっ…
ぎっ…
きちゃう
そうかと思うと
後を追うように―
どっくん…

どっくん…
あっ…あっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
ああっ…
ぎっ…
どっくん…

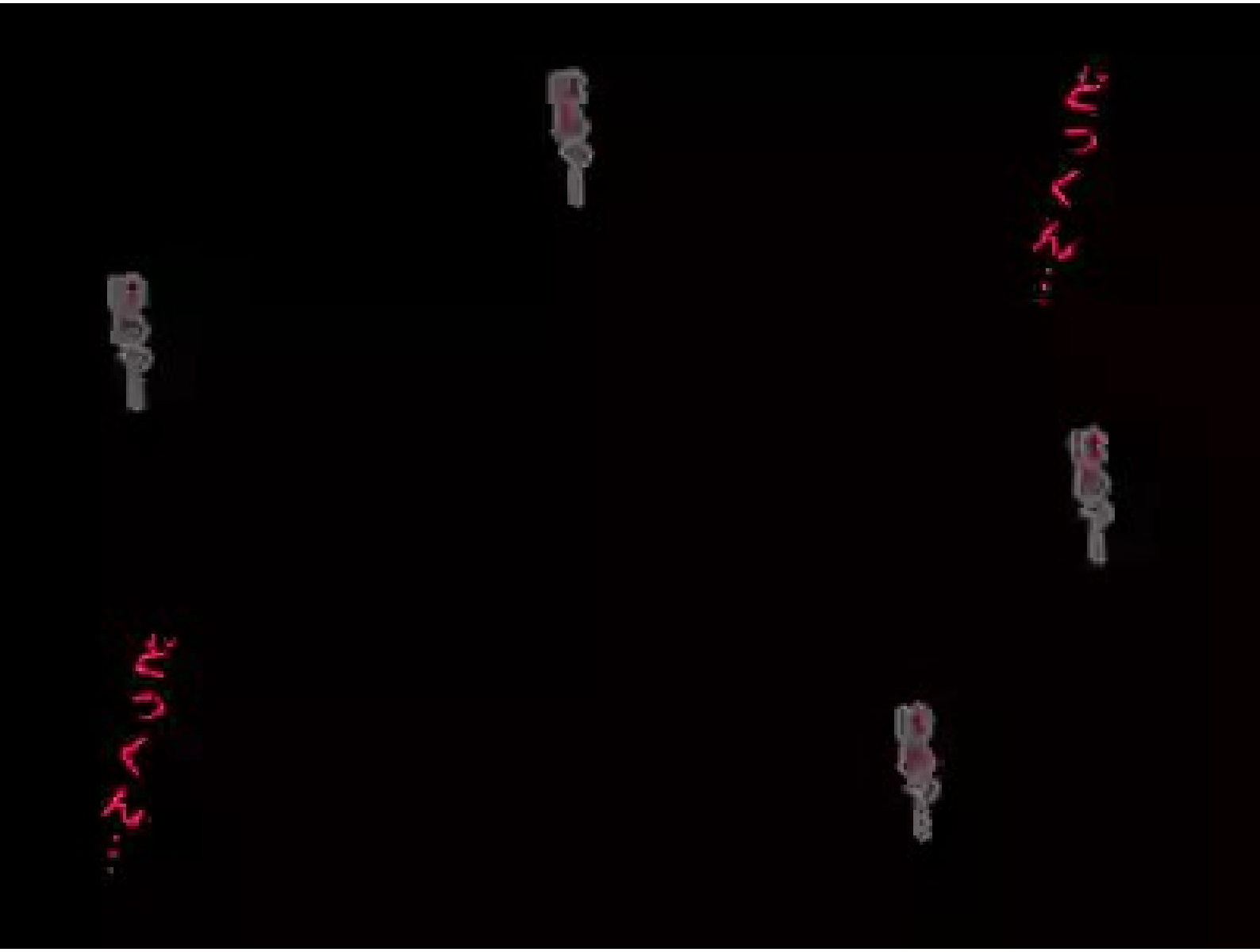
杜戸先生も
激しく
体を痙攣させて
あっ…あっ…
どうくん…
ああっ…
一人で
イったりして…
どうくん…

ただただとうくる…
生々しい…
ひくっ…
ぬちゅっ…
ぬりゅっ…
ぬぷっ…
きゅっ…
とうくる…

快楽を求めあう
儀式へと…
昇華していった…
とろ～ん…
とろ～ん…

あっ…ああっ…
どっくん…
ぴくっ…
ぴくっ…
ぎっ…
どっくん…

どっくん…
びくっ…
はあっ
…ああっ…
ひくっ…
きゅっ…
どっくん…


どっくん…
どっくん…

どっくん…
どっくん…

どうくん？
…わあ…
股の間…
ぐちょぐちょで
すごいことに…
…なってる…
どうくん。

ちゅっ
ちゅっちゅっ

…んっ…
ちゅぱ
…ふっ…
ちゅぱ

…は…ん…
どっくん…
…んっ…
どっくん…

…んっ…

どうぞ？

んふっ…

どうぞ？

…んっ…
…ああ…
どっくん…
んふっ…
どっくん…

…これだ…
どくどく
どくどく

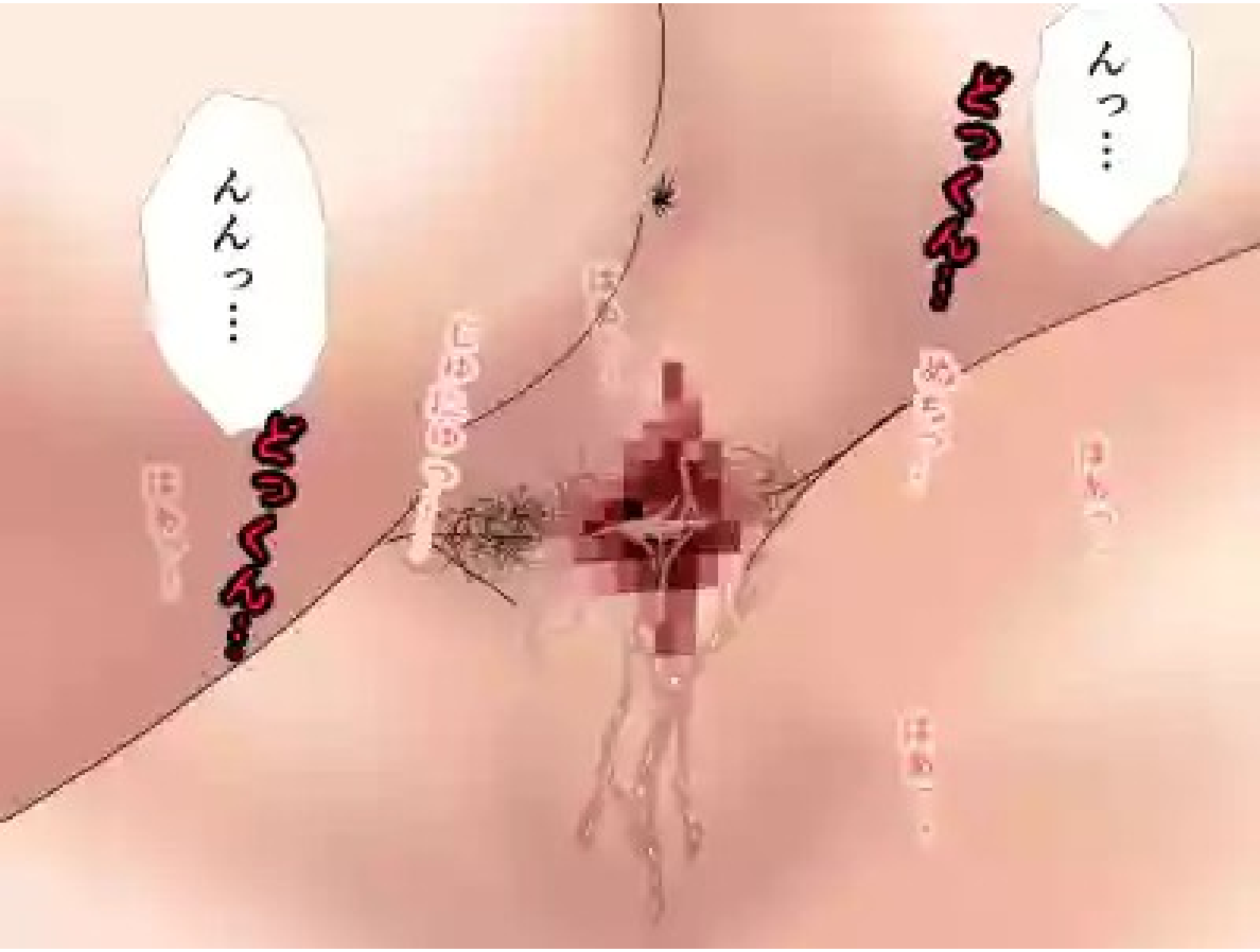
どっくん！
僕が
見たかったのは…
はぁっ…
どっくん！

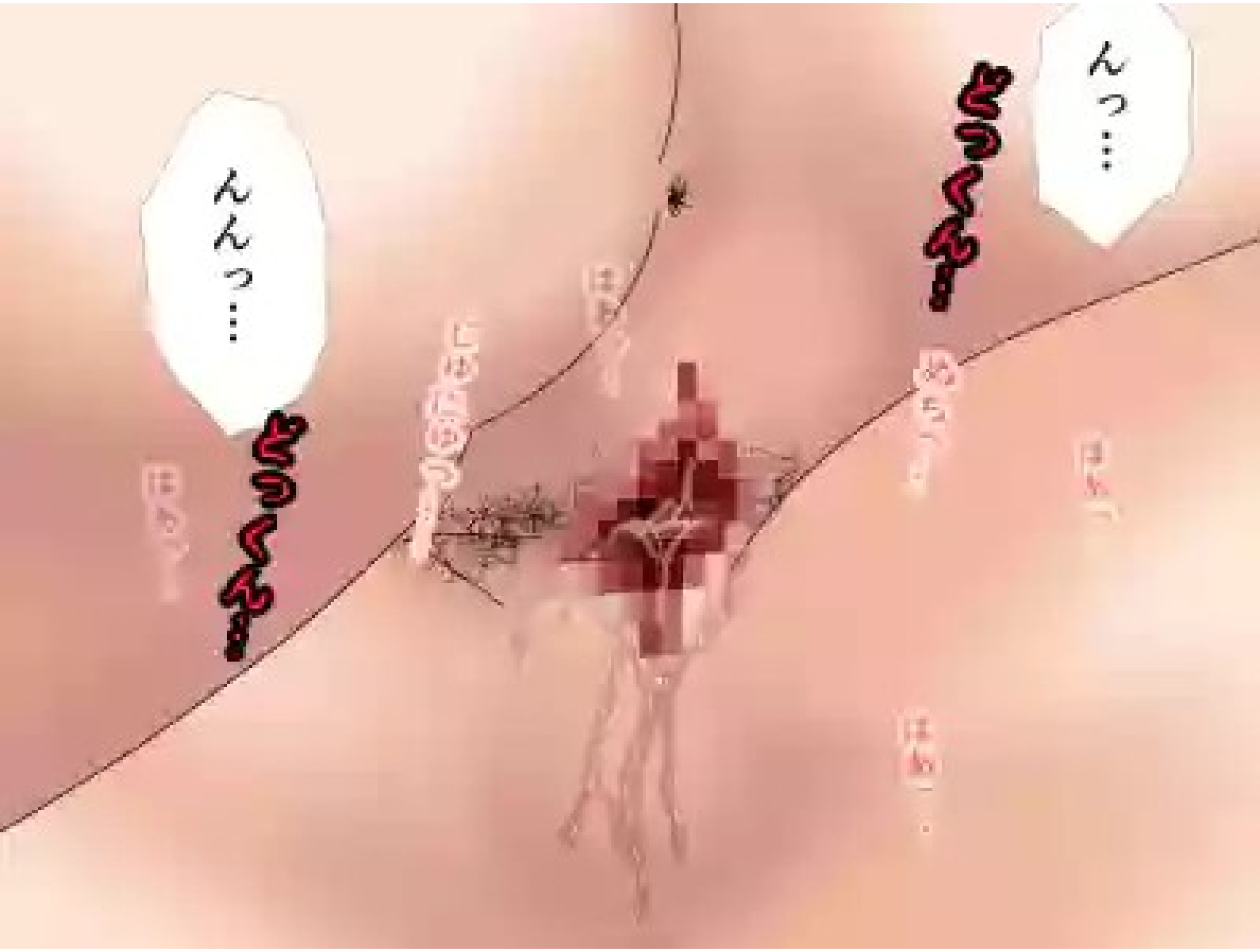
二人の…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
ぬぷ
ぬちゅ…
どっくん…
どっくん…

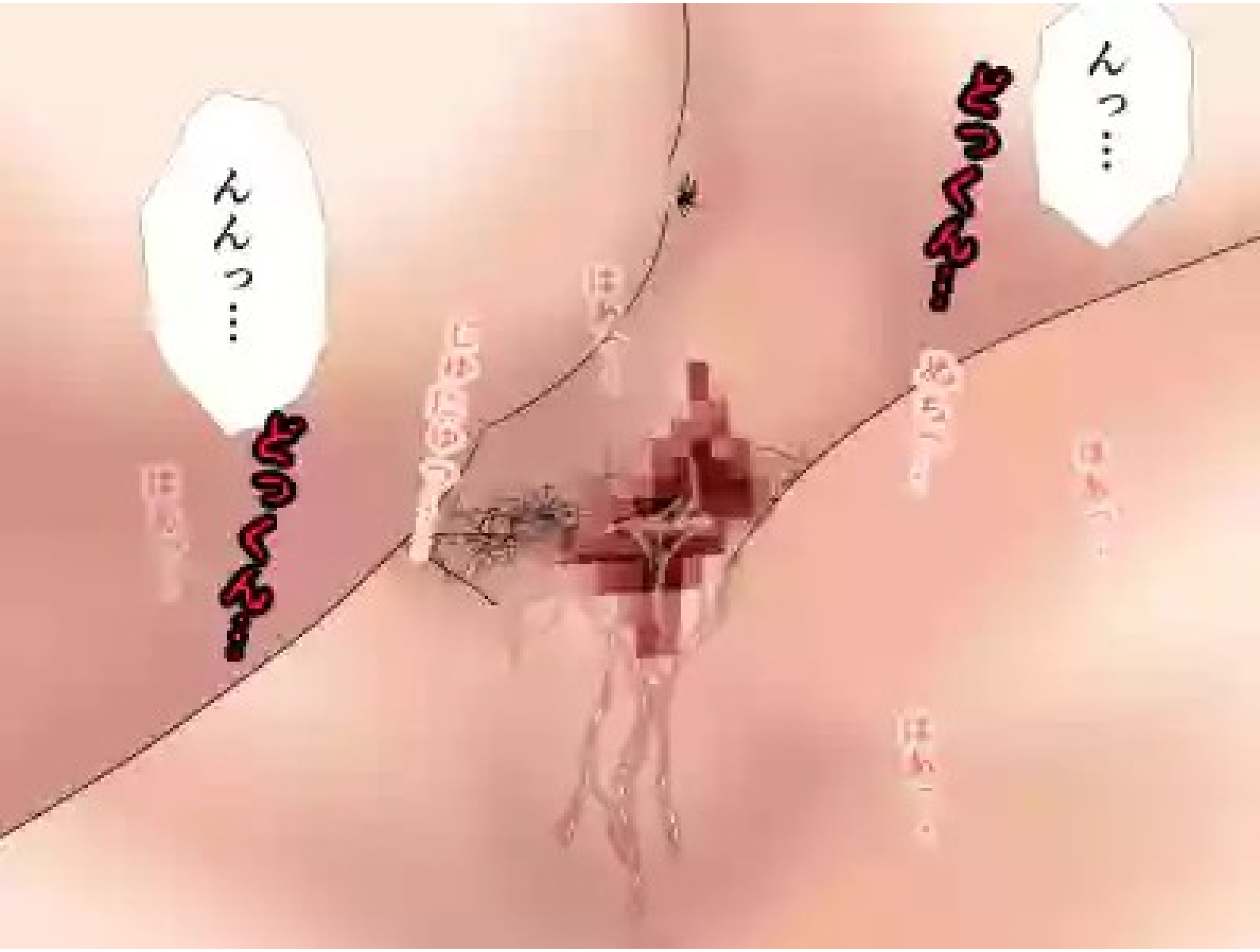
ハァハァ…
ハァハァ…

一心不乱にレズってる…
どっくん…
どっくん…

この景色
だったんだ…！
どくどく
どくどく


んっ…
ぐりぐり…
んんっ…
ぐりぐり…


んっ…
ぐぐぐ…
んんっ…
ぐぐぐ…


んっ…
ぐりぐり…
んんっ…
ぐりぐり…

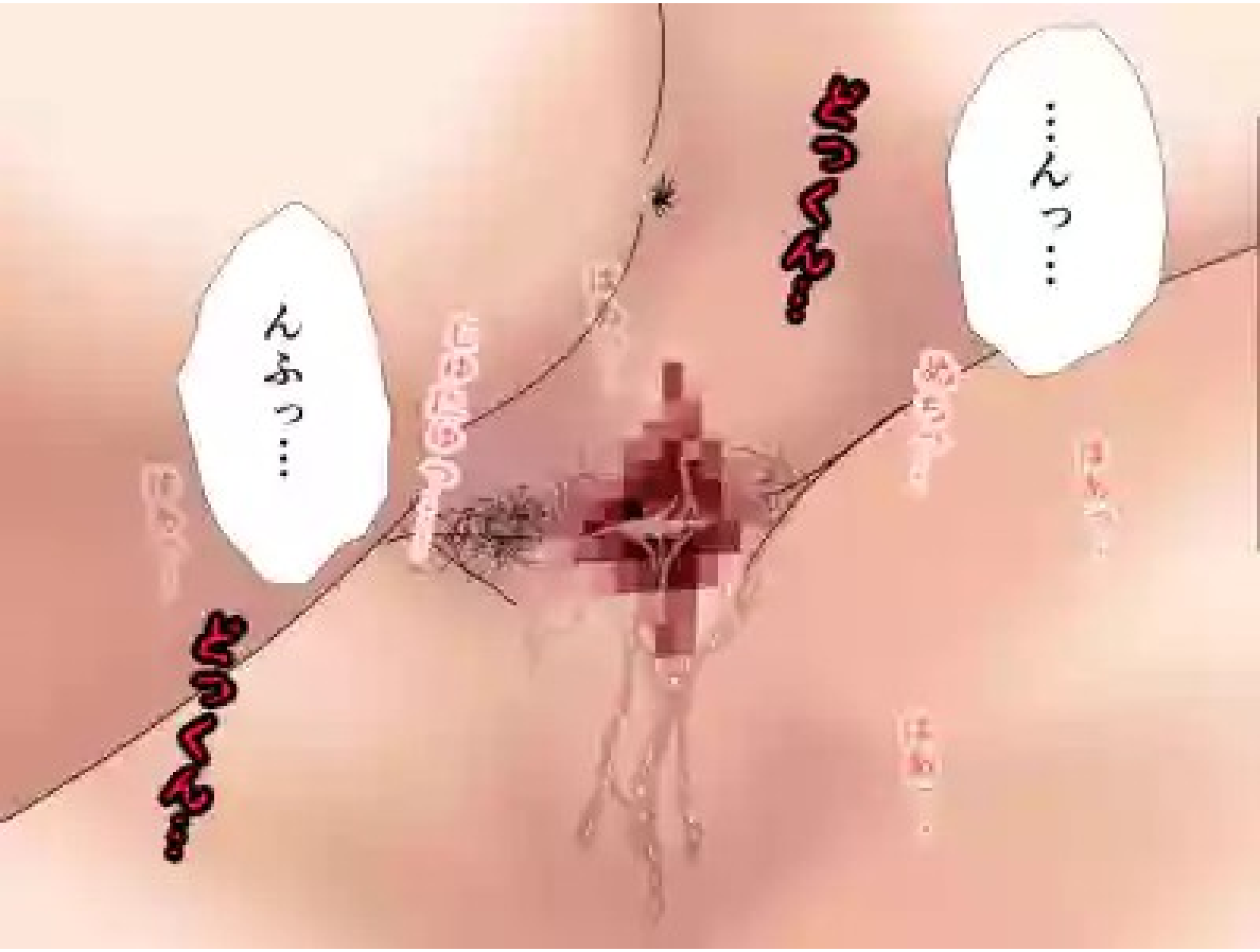
はあむっ…
どっくん…
あふっ…
んっ…
んんっ…
どっくん…

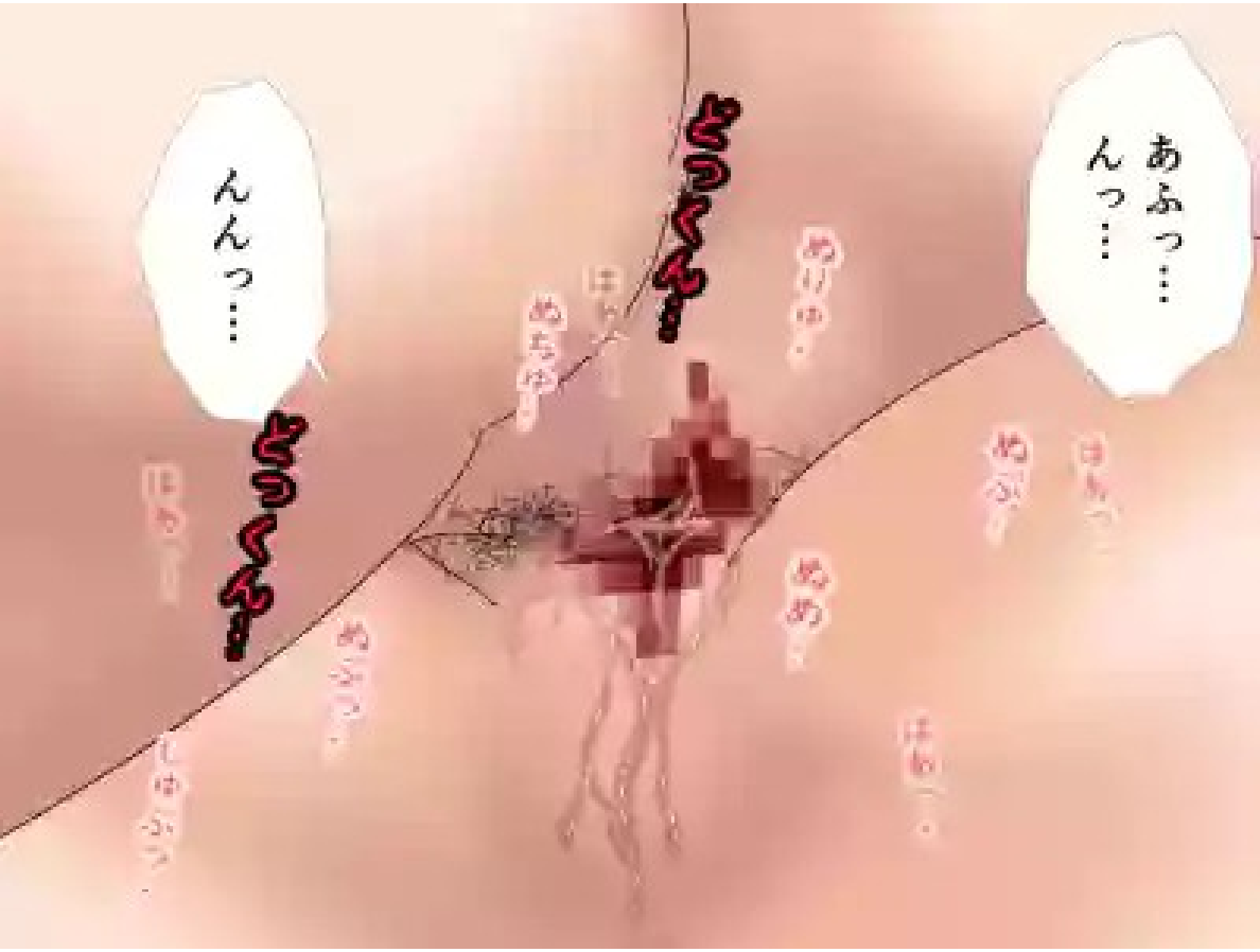
あんっ…
どっくん…
す…すご…い…っ
んんっ…
どっくん…

あふっ…
んっ…
どっくん…
んんっ…
どっくん…
ぬめ…
ぬちっ…
はぁ…

はあ…んっ
ま…またっ…
く…クリが擦れて…っ
どっくん!
どっくん!
はむっ…んんっ…
んんんっ…!

あふっ…
んっ…
どうぞ
んんっ…
どうぞ


…んっ…
どくん…
んふっ…
どくん…



あふっ…
んっ…

どっくん…

んんっ…

どっくん…

ああっ…
んっ…
あんっ…

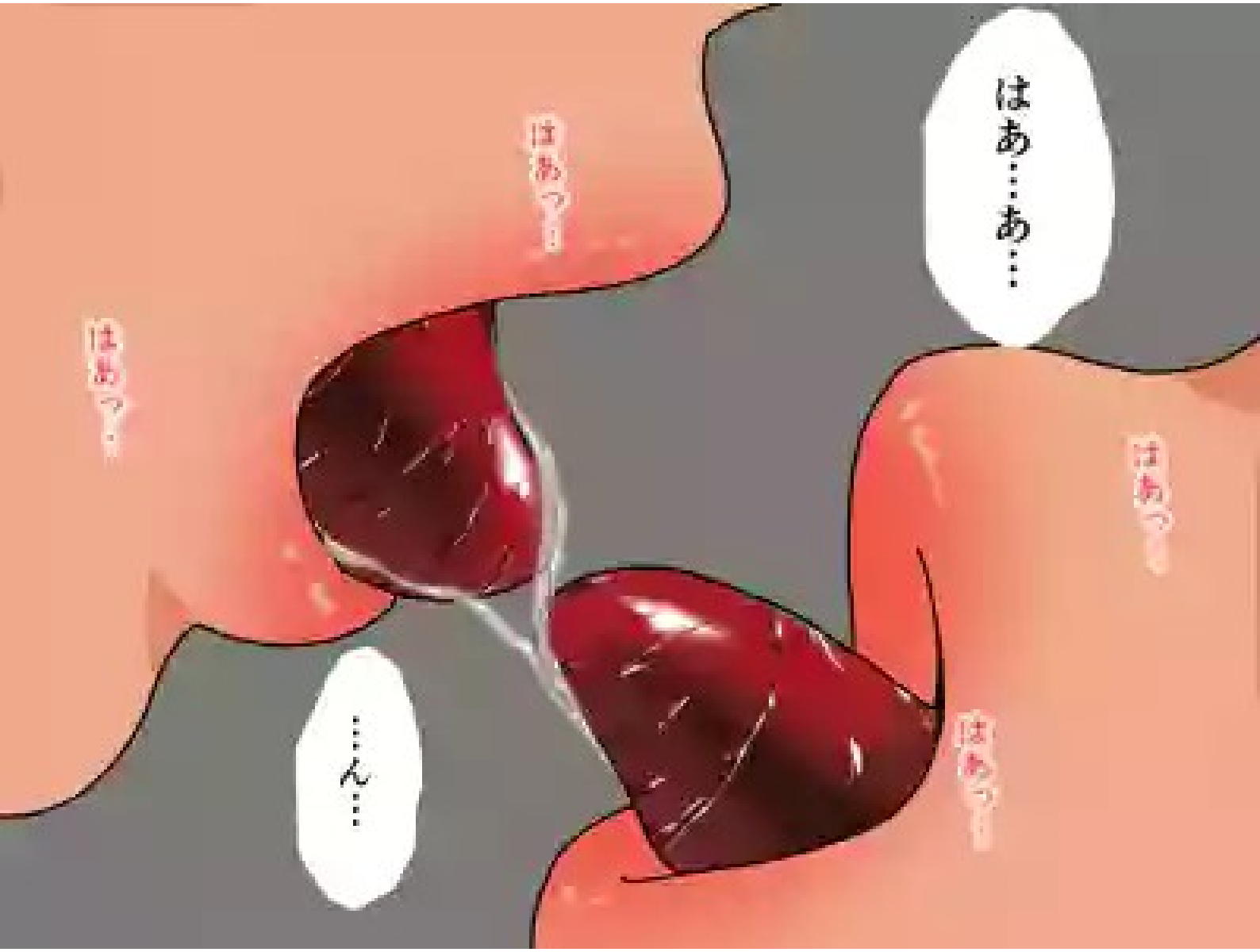
はあっ…
はあっ…
ぴくっ…
はあっ…
ぴくっ…

こんな…
世界があるなんて…
知りませんでした…
はあっ…
はあっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
はあっ…

ふふ…
男とヤルのとは
また違うでしょ…
はあっ…
…ん…
はあっ…
はあっ…
はあっ…

あふっ…
んっ…
どっくん…
んんっ…
どっくん…
ぬめ…
ぬちっ…
はぁ…

はあむっ…
あふっ…
んっ…
はあっ
んんっ…
はあっ
ぬちゅ
ぬふ
ぬちゅ
はあっ
はあっ

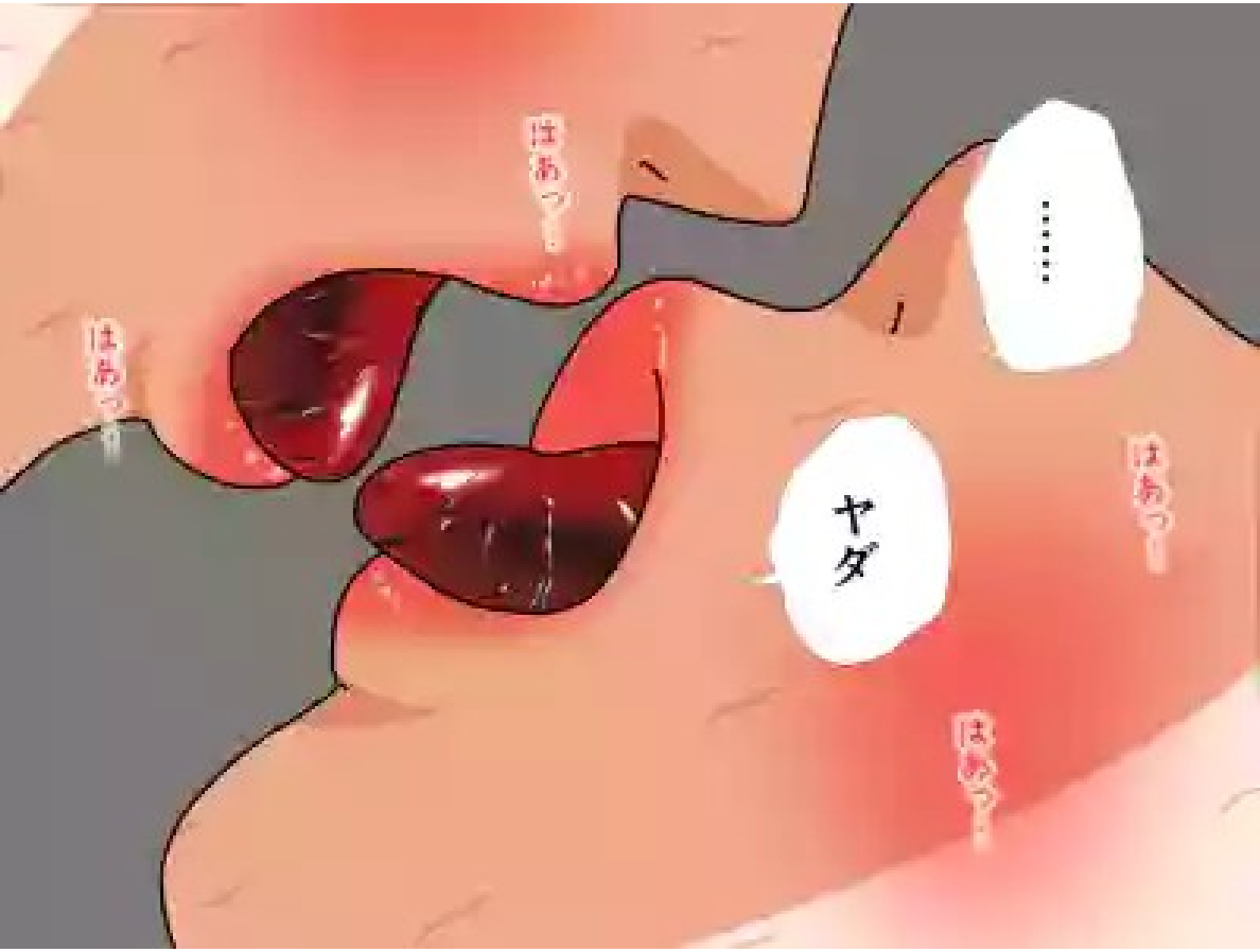

はあ…あ…
はあっ！
はあっ！
はあっ
はあっ！
…ん…

ねえ…今日だけ
じゃなくて…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
また…
シテください
ますか…？

…どうしよう
かしら
はあ…
はあ…
はあっ…
はあっ…
そうだ
彼の「恋人」の座を
譲ってくれるなら
考えても良いわよ…

……っ！
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…

……
はあっ
ぬちっ
はあっ
はあっ
ぬちゅ
ぬぬ
はあっ
しゅんゅっ

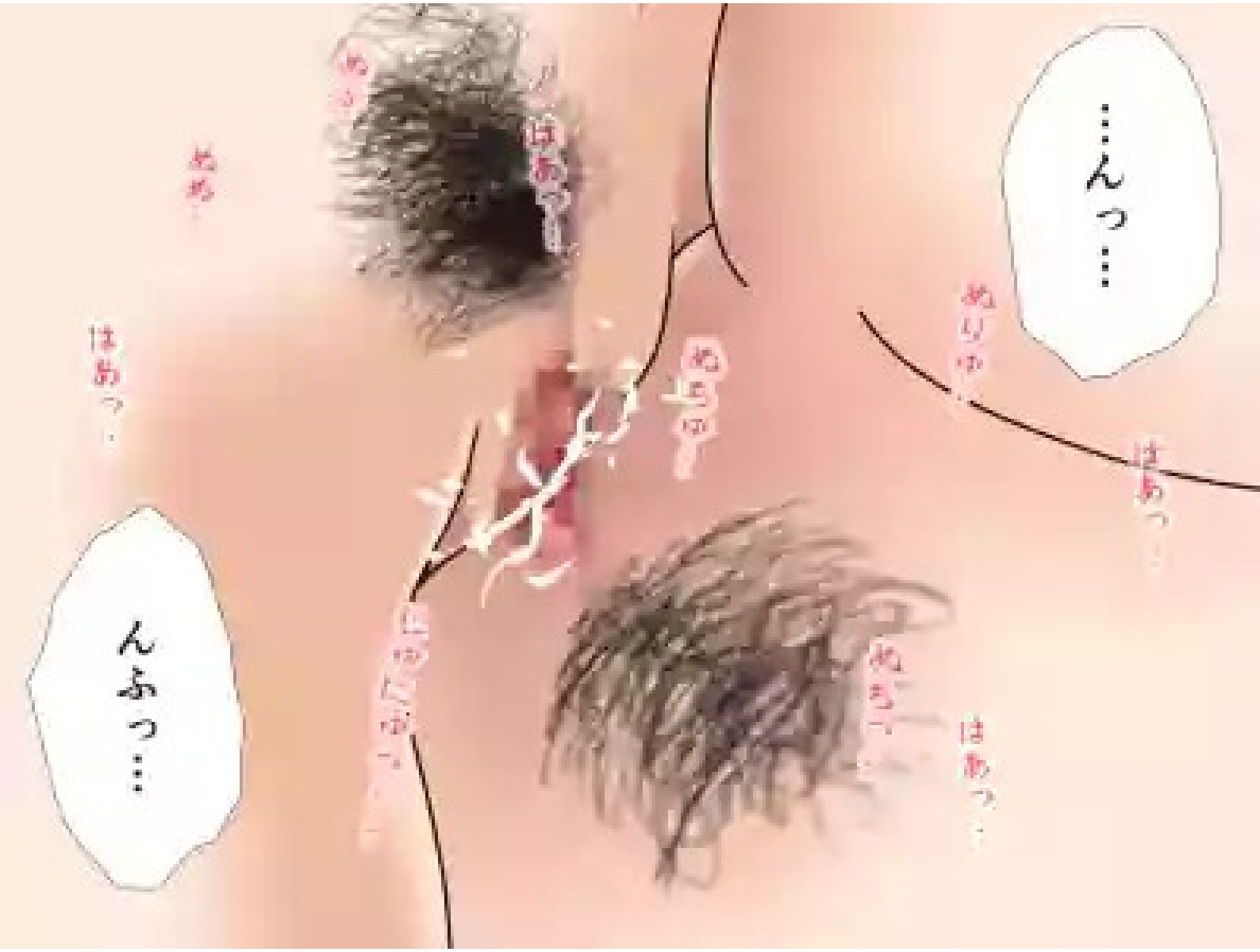

はあっ
はあっ
……
はあっ
ヤダ
はあっ

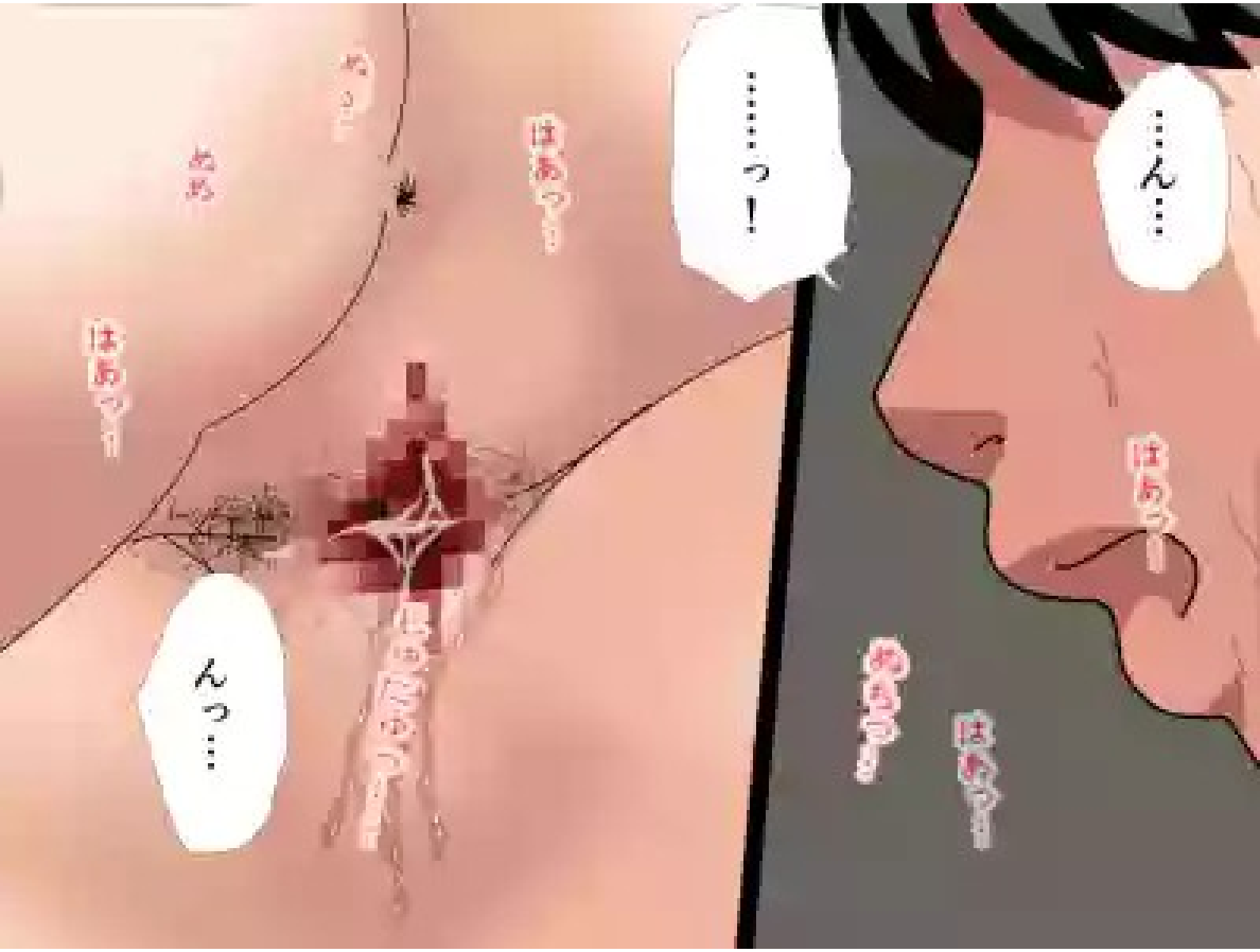
…ん…
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
んっ…

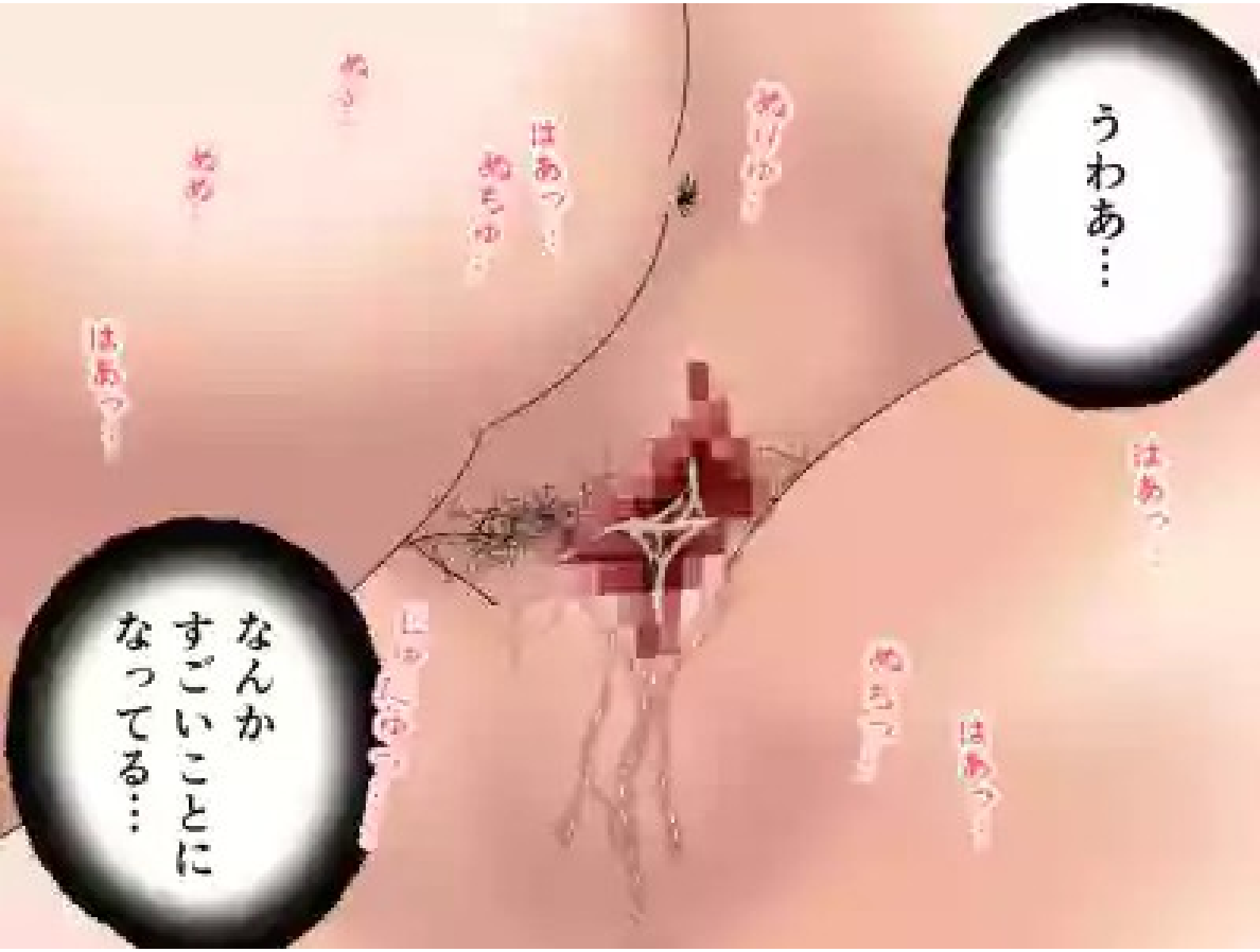
あふっ…
んっ…
どっくん…
んんっ…
どっくん…

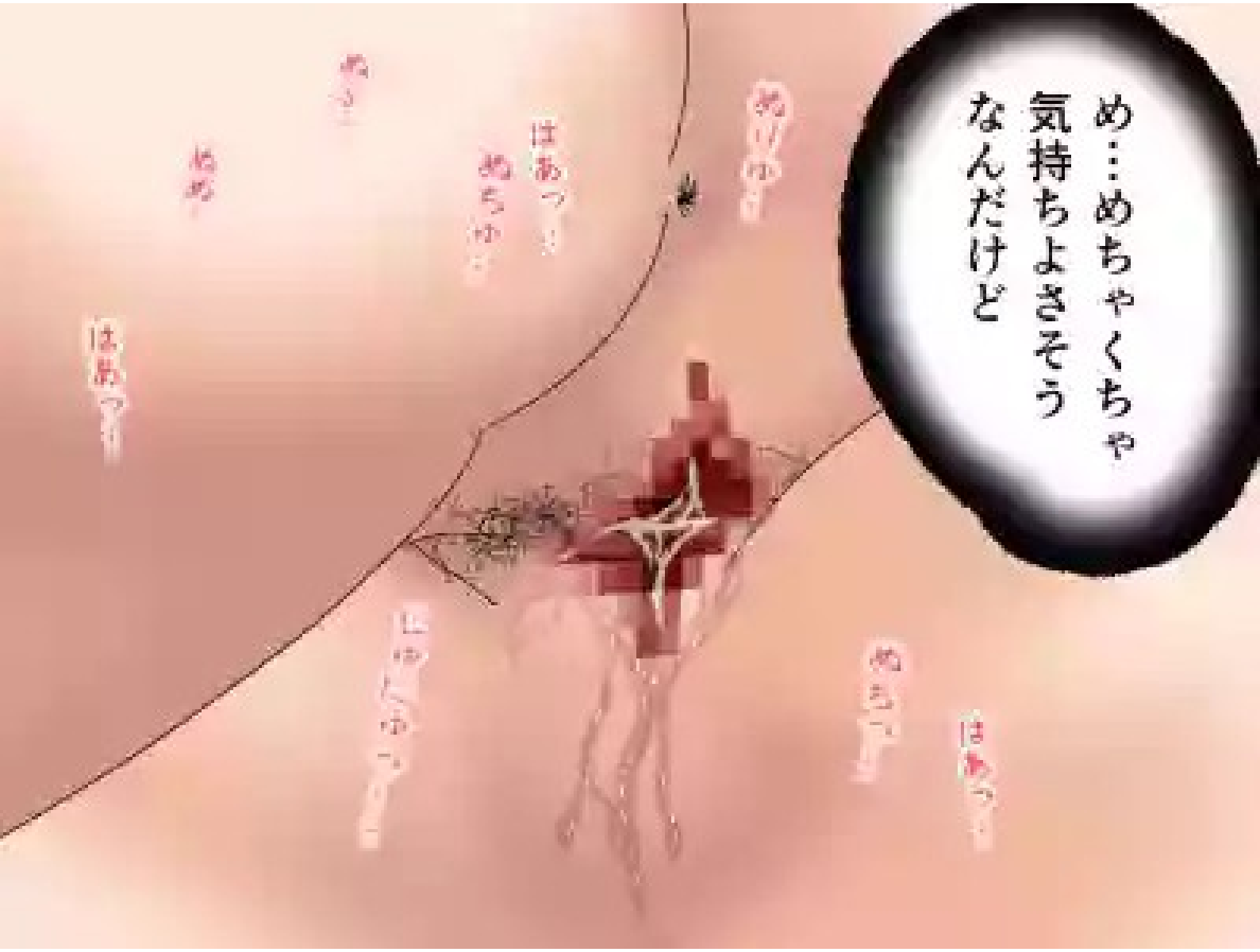
…ん…
はあっ…
んっ…

…ん…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
んっ…


…んっ…
ぬりゅ…
はあっ…
ぬちゅ…
ぬちっ…
はあっ…
ぬぬ…
はあっ…
ぬぬ…
はあっ…
んふっ…


…ん…
はあっ…
はあっ…
ぬちっ…
……っ！
はあっ…
ぬぬ
はあっ…
んっ…

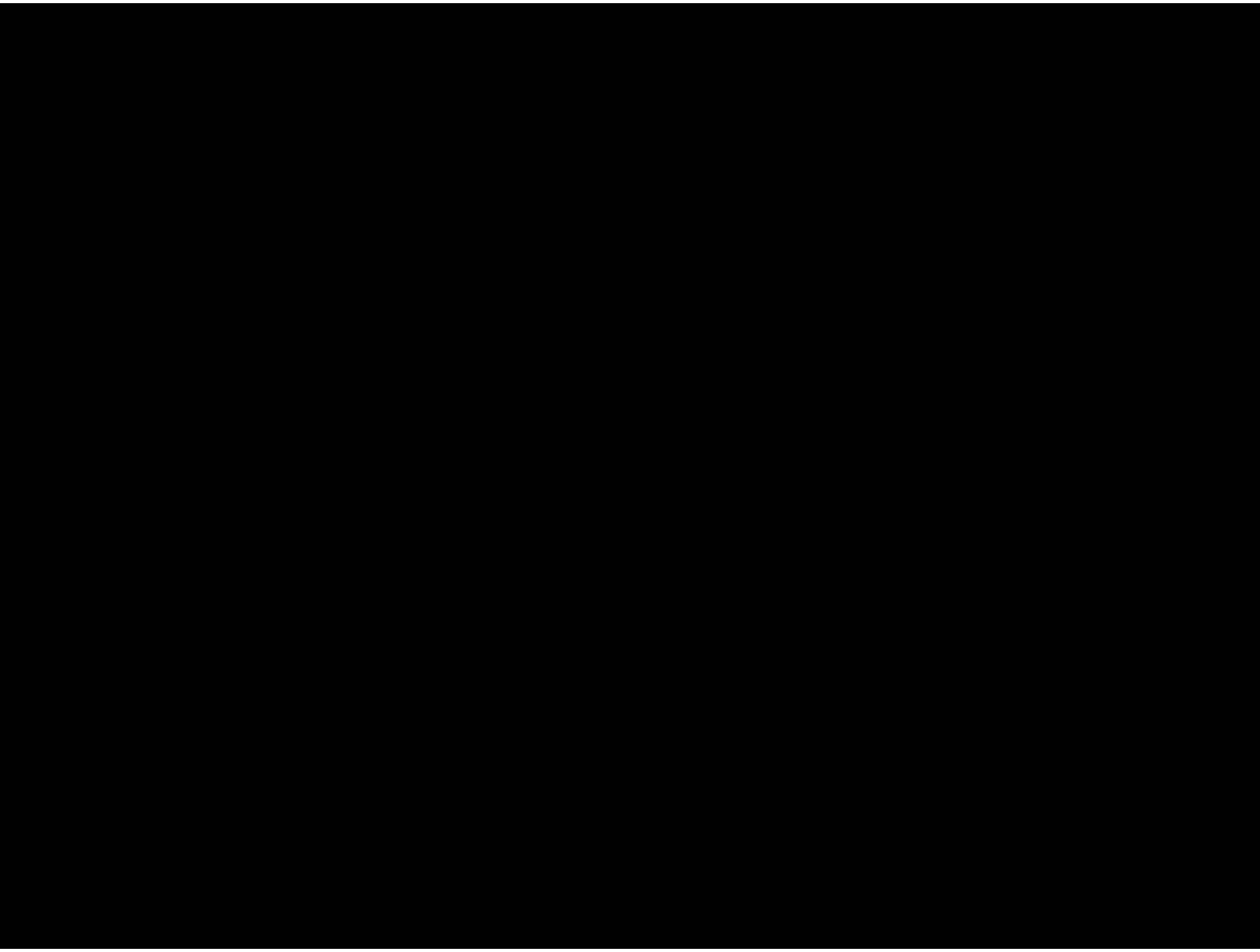

うわあ…
はあっ…
ぬりゅ…
はあっ…
ぬちゅ…
ぬる…
ぬめ…
はあっ…
ぬりゅ…
はあっ…
ぬる…
なんか
すごいことに
なってる…



め…めちゃくちゃ
気持ちよさそう
なんだけど

…あんっ…
んふっ…
ぬりゅ…
はあっ…
はあっ…
ぬらっ
ぬっ…
ぬぬ…
はあっ…
はあっ…
……
んっ…んんんっ！

い…
挿れて
ええええ…！
はあっ…
ぬりゅ
ぬにゅ
はあっ…
ぬりゅ
ぬにゅ
はあっ…
ぬりゅ
ぬにゅ



…い…
はあっ…
挿れ…たい…

…その…
マンコに
挿れたい…っ
もう我慢
できない…っ

二人の
レズプレイ
観てたら
たまんなく
なってきた…
もうずっと
チンポが
ガチガチなんだ…

……
ぬっ
はあっ
ぬちゅ
はあっ
はあっ
ぬちっ
……
はあっ

…も…
もういいよねっ？
はあっ…
…こ…
このまま
挿れるよっ？
ふ…
二人が何を言っても
もう挿れるからねっ

はあっ
ぬるぬる
はあっ
はあっ

はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあ…

僕が叫んだ後…
しばらくの静寂…

やがてふたりは
黙って…
体勢を変え―

はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

はあ…
はあ…
はあ…
はあ…

気がつくと目の前には

はあっ

はあっ…

レズプレイの成果で

濡れそぼった…

愛液まみれの…

はあっ…

はあっ…

はあっ…

ぐちょぐちょの
二つのマンコを
僕に見せつけて…

「さあどちらを選ぶの？」
はあっ…
はあっ…
はあっ…

そう言わんばかりの
表情で…
はあっ…
はあっ…

僕の決断を
ただ黙って待つ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…

発情中の
二人が並んでいた

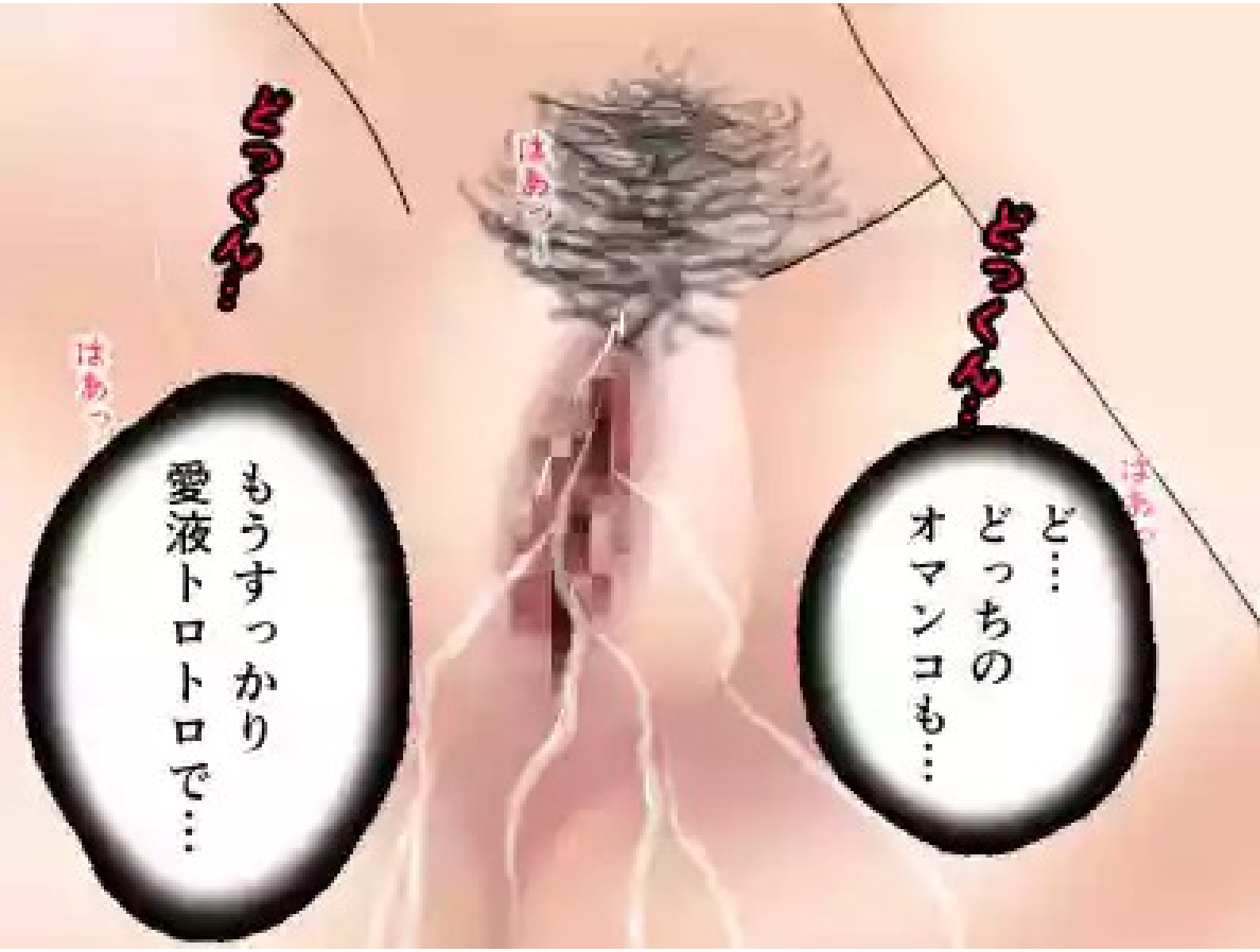
……
……
はぁっ
はぁっ
はぁっ

杜戸先生と苗田ママをレズらせて3Pしちゃう夜

～ふたなりの淫魔物語～

どっくん…
はあっ…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
はあっ…

ど…
どっくん…
はあっ…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
どっちに挿れる…？


どっくん…
ど…
どっちの
オマンコも…
はあっ
はあっ
どっくん…
もうすっかり
愛液トロトロで…
はあっ

最高の状態だ…！
どっくん！
はあ〜
どっちも
気持ちよさそう…
どっくん！
はあ〜

ああ…だめだ！
どっくん。
はあっ
はあっ
どっくん。
はあっ
もう…
チンポ我慢できなくて…
あれこれ深く考えてる
余裕がないっ…

その時…
ゆり菜さんが
杜戸先生の方を
見て…
どっくん…!
どっくん!
うなづいた…

それを見て…
……っ！
どっくん
どっくん
はあっ
はあっ
どっくん
何かを感覚的に
理解した僕は―

気が付くと
もう杜戸先生の前に
立っていて…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
どっくん…

ああ…嬉しい…！
はあっ…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
どっくん…
はあっ…
来て…

……
はあっ…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
どっくん…
はあっ…

そのまま…
どうぞ？
はあっ…
はあっ…
くちゅ…
はあっ…
はあっ…
どうぞ？
一気に！

…あひっ…
ずっ…！
あっ…
どっくん…
はあっ…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
いっ…

…あっ…
きたっ…
ひ…さしぶり…っ！
どっくん…
どっくん…

……！
確かに…な…
どっくん…
どっくん…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
ぬっ…
ぬっ…
ぬっ…
ぬっ…
ぐちゅっ…
じゅぷっ…

杜戸先生の膣内…

久しぶり…
…かも…

杜戸先生…
僕の初めての人…

学校生活の中で…
一番初めに「母性」を
感じさせてくれた女性

僕だけじゃなくて
学校の男子みんなの
憧れだった
この美しい女性（ヒト）は―

実は意外と
嫉妬深かったり、
独占欲も強くて…
話があるんだけど
いいかしら…？

感情の起伏が
激しかったりする…
怒って…
…ないわ…
中身は
どこにでもいる
普通の…女性…で…

そんな彼女を…
いつしか僕は…
随分と…放って
おいてしまって
いたかもしれない…

ああっ
好きっ…！
やっぱり…
これっ…
好きいっ…！

そう言いながら
彼女の瞳は…
好きっ…！
大好きっ…
涙で
潤んでいたようだった

お…ねが…い…！
キ…ス…
して…っ

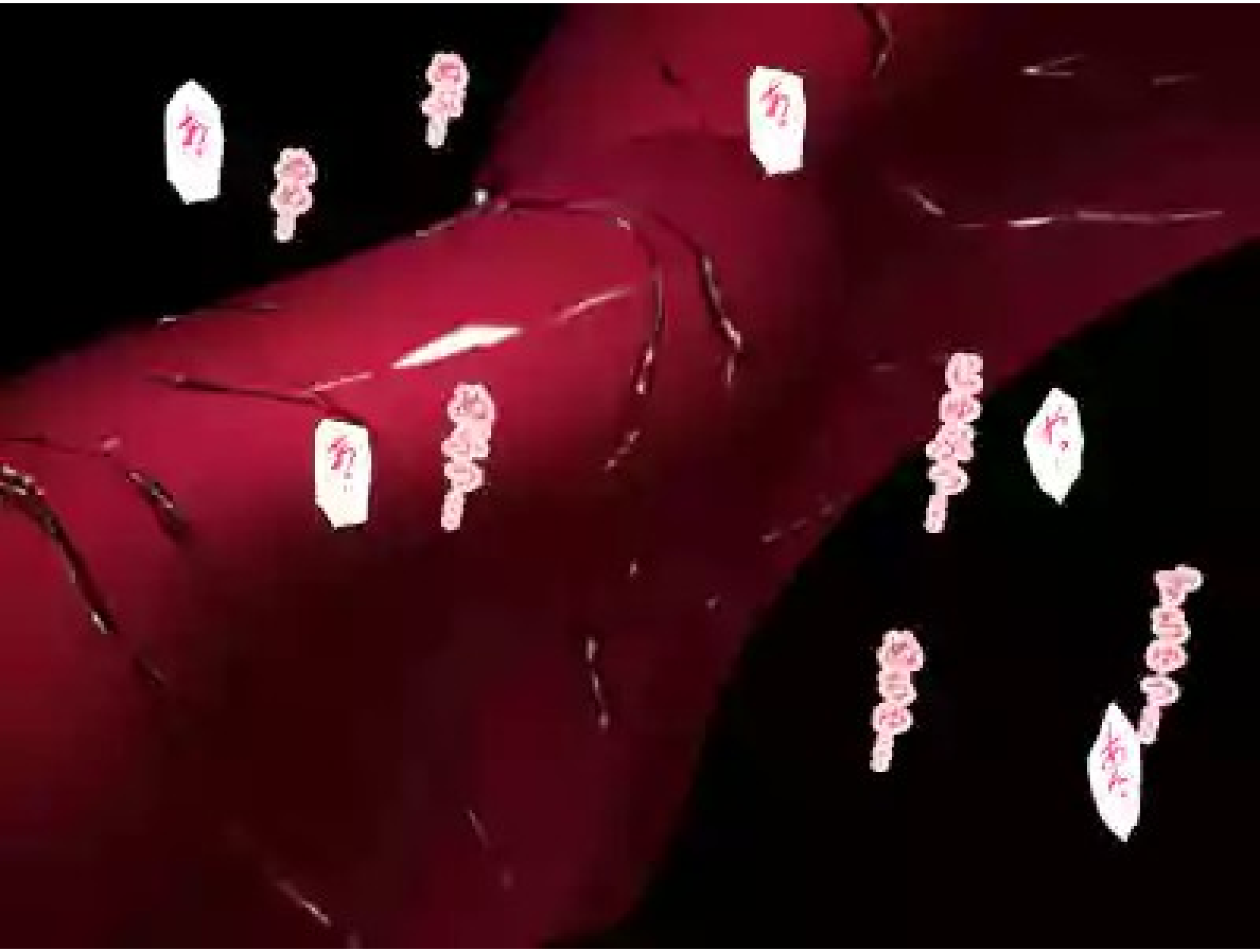
は…っん!
んっ… …ふっ……!

うわ…あ…
これ…
…いい
な…

キスしながら
正常位…

前傾姿勢になって…
より深く奥までチンポが突き刺さって…

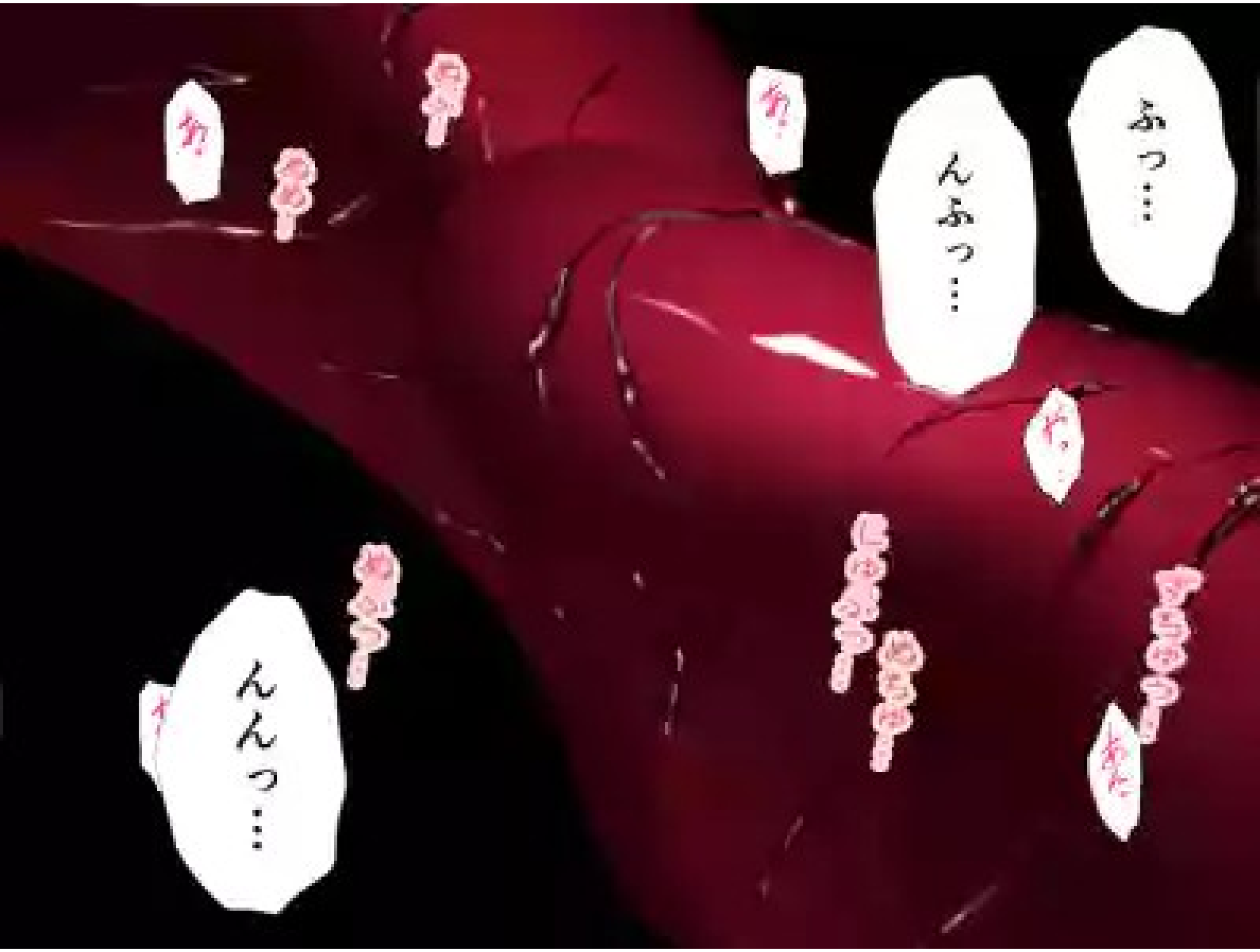
とうくん!!
とうくん!!



舌と…チンポで…
目の前の女の
すべてを
味わっている
感覚っ…
ふっ…
んっ！

ふっ…
んんっ…

うわあ…
なんか
すごいね…

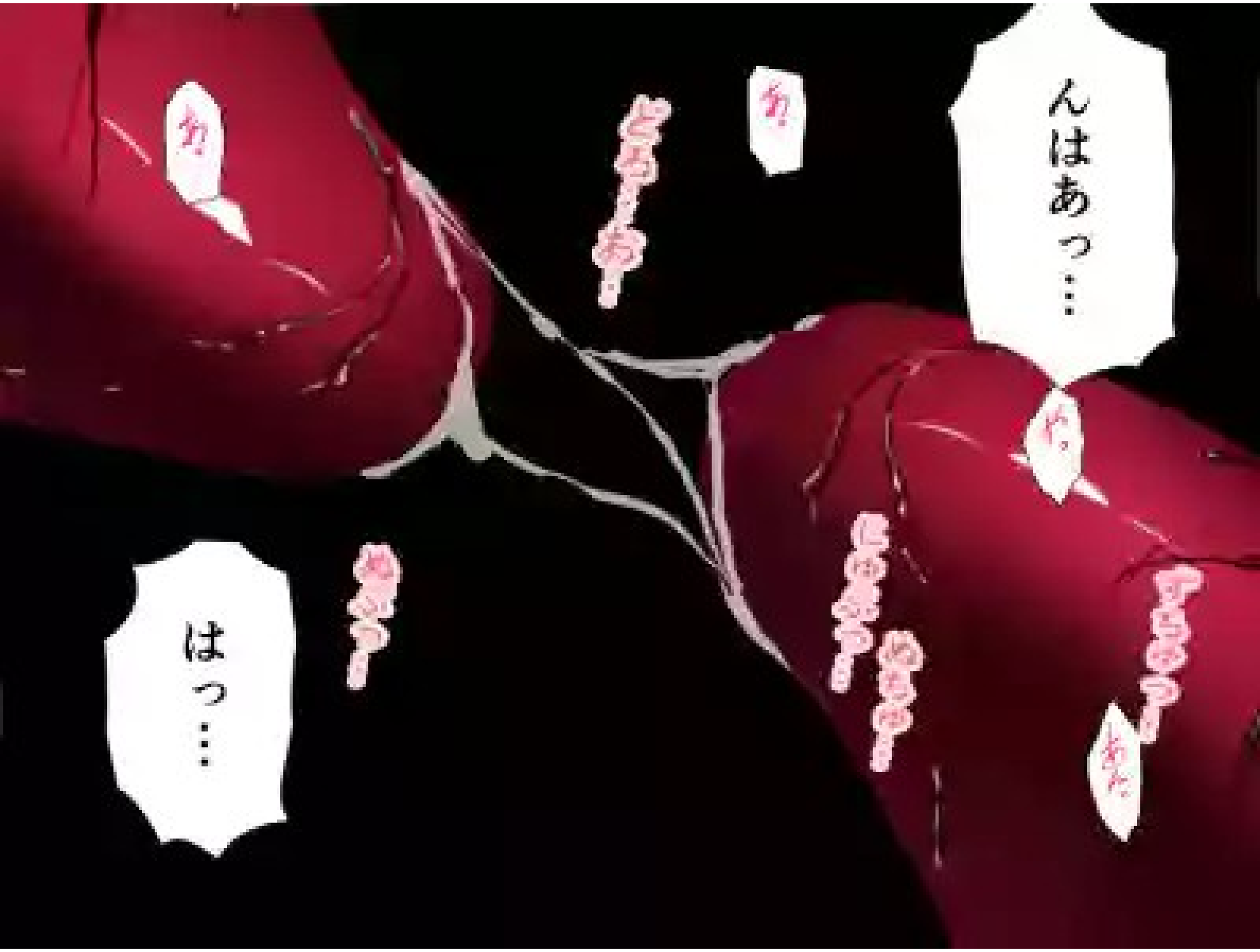

ふっ…
んふっ…
んんっ…

ああ…っ…
やっぱり
大好きだ…

男なら
だれでも
惚れちゃうような
超美人さんなのに…
こんな実は
中身は少女みたいな
ところも含めて…

やっぱり僕はこの女性が大好きだ…！

しゅ…
しゅきっ…！
んんんっ…
ふっ…しゅっ
しゅきいっ…！


んはあっ…
はっ…

先生…
な…なんか…
いつもより
エロい気が…

この…
ウワキモノ…
恋人の目の前で
他の女と
こんな愛しあう
セックスする？
っ…！
フッー

ふふ…
先生…気持ちいい…？
苔田…さ…

盗られちゃった…
私の
負けですね…
仕方ないから
今日は譲ってあげます

その代わり…約束通り
また…シテくださいね
今日みたいな
コト…
……っ！

私…ホントに
感じちゃったんです
こんなの
初めてでした
ハマっちゃいそう…

はむっ…
んふっ…

んんっ…
んふっ…

んんっ…
んふっ…

うわぁ…
んんっ…
すごい…
んふっ…

んんっ…
んふっ…

まだ…
終わってなかった…

僕が…セックス…してるのに…
二人のレズは…まだ…

すごい…
…景色だ…

…マンコには
チンポが
突き刺さってる…

ちんぽで
オマンコを
味わい尽くしながら…
どっくん…
どっくん…

二人のレズの
景色も…
楽しんでる…
んんっ…

…幸せだ…

身体と…目で…
幸せを…
味わってる気分だ…

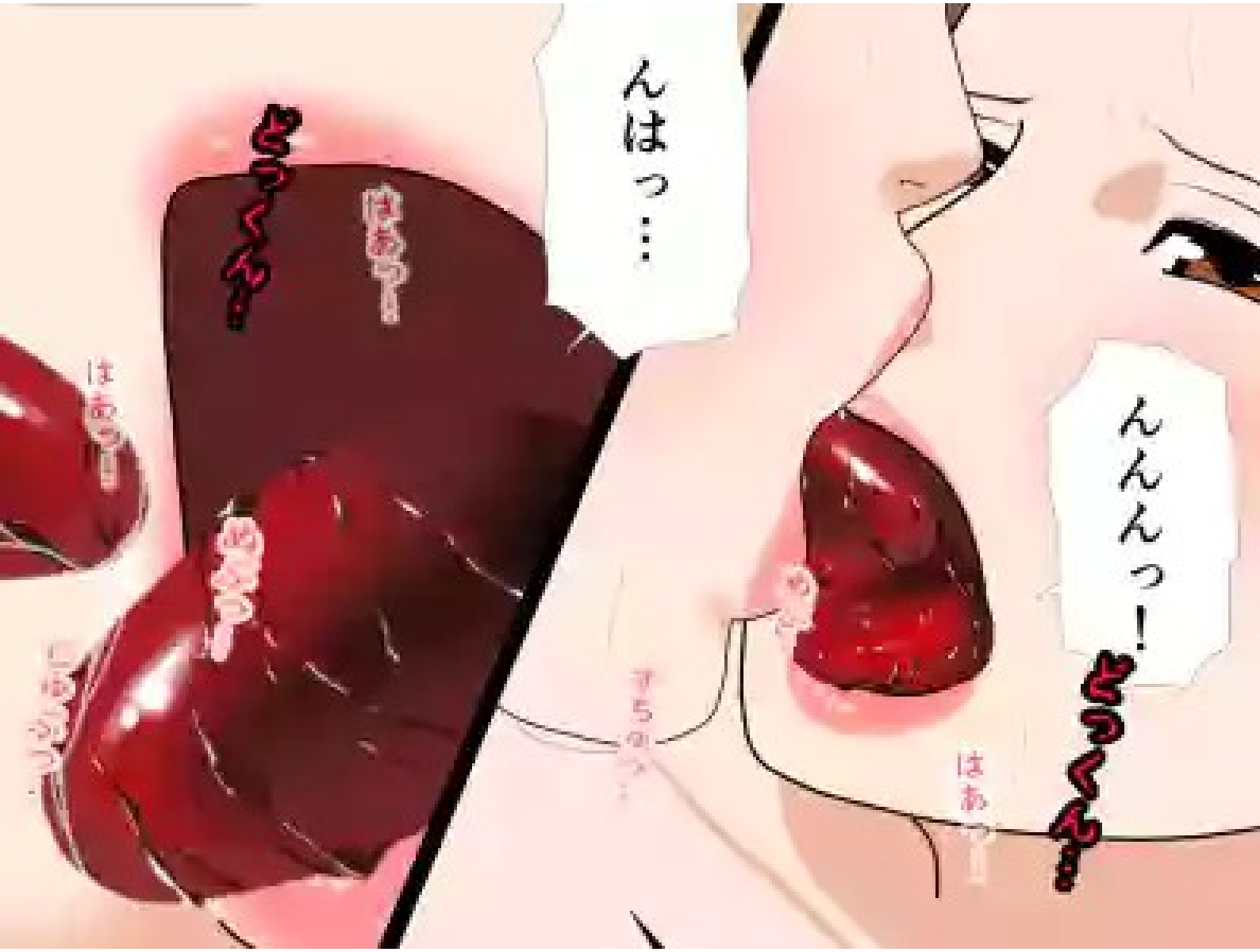
はっ…
ぬちゅ
ぬぷっ
んふっ…
んっ…

ふっ…
んんっ…

す…
ぬちゅっ…
はあっ…
どうくん…
はあっ…
…っ…！
どうくん…
はあっ…

……っ！
先生の
クリトリスを…
はあっ…
とろ～ん…
んーっ！
んんっ…
とろ～ん…
はあっ…

んんっ！
んんっ…
はあっ…
どっくん…
はあっ…
どっくん…
はあっ…
んんっ
ふっ…
はあっ…
はあっ…


んんんっ！
とろ～ん
はぁ～
んはっ…
とろ～ん
はぁ～

ああっ…
だ、だめっっ！
あはっ…
どっくん…
どっくん…
はあっ…
はあっ…

だ…だめよっ…
ああんっ

はあっ…

どっくん…

はあっ…

か…感じすぎ
ちゃうっ…

どっくん…

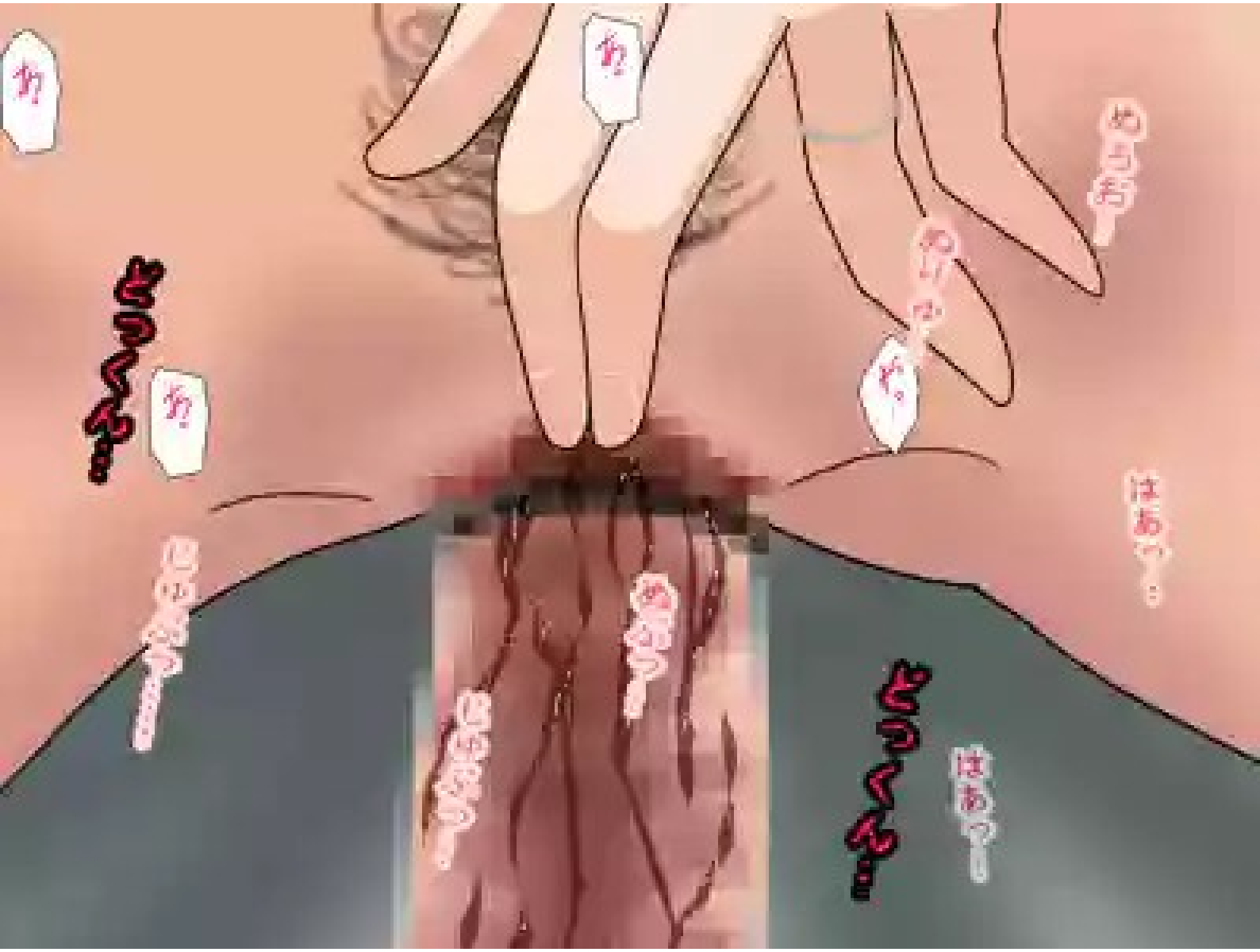
ぬふっ…

じゅふっ…

どっくん…
はあっ
…っ！
やっ…
…あっ…
どっくん…

…っ！
やっ…
…あっ…
どっくん！
どっくん！

どっくん…
…あっ だめっ！
やば…い… い…イキそ…
どっくん…



めうお…
はあっ…
はあっ…
とっくん…
とっくん…

ぬうおっ
ぬりゅ
ぬ
はあっ…
どっくん…
はあっ…
ぬ
ぬぷっ
どっくん…
ぬ
じゅぷっ…
じゅぷっ

あ…あああ…
あ…ひい…
どっくん…
どっくん…

あー…
やばいって…
やばいやばい
やばいやばい
やばい

ぬちお
はあっ…
はあっ…
どうくん…
〜〜〜
〜〜〜っ！
どうくん…

ね…ねえっ…
ホントに
イキそう…なのっ…

お…ねが…いっ…
き、キスしながら…
イカせて…っ

どっくん…
はあっ…
…っ…
どっくん…
ああ…っ

んふっ
んん…っ
どっくん…
どっくん…

んふっ
はぁっ…
どっくん…
どっくん…
んん…っ

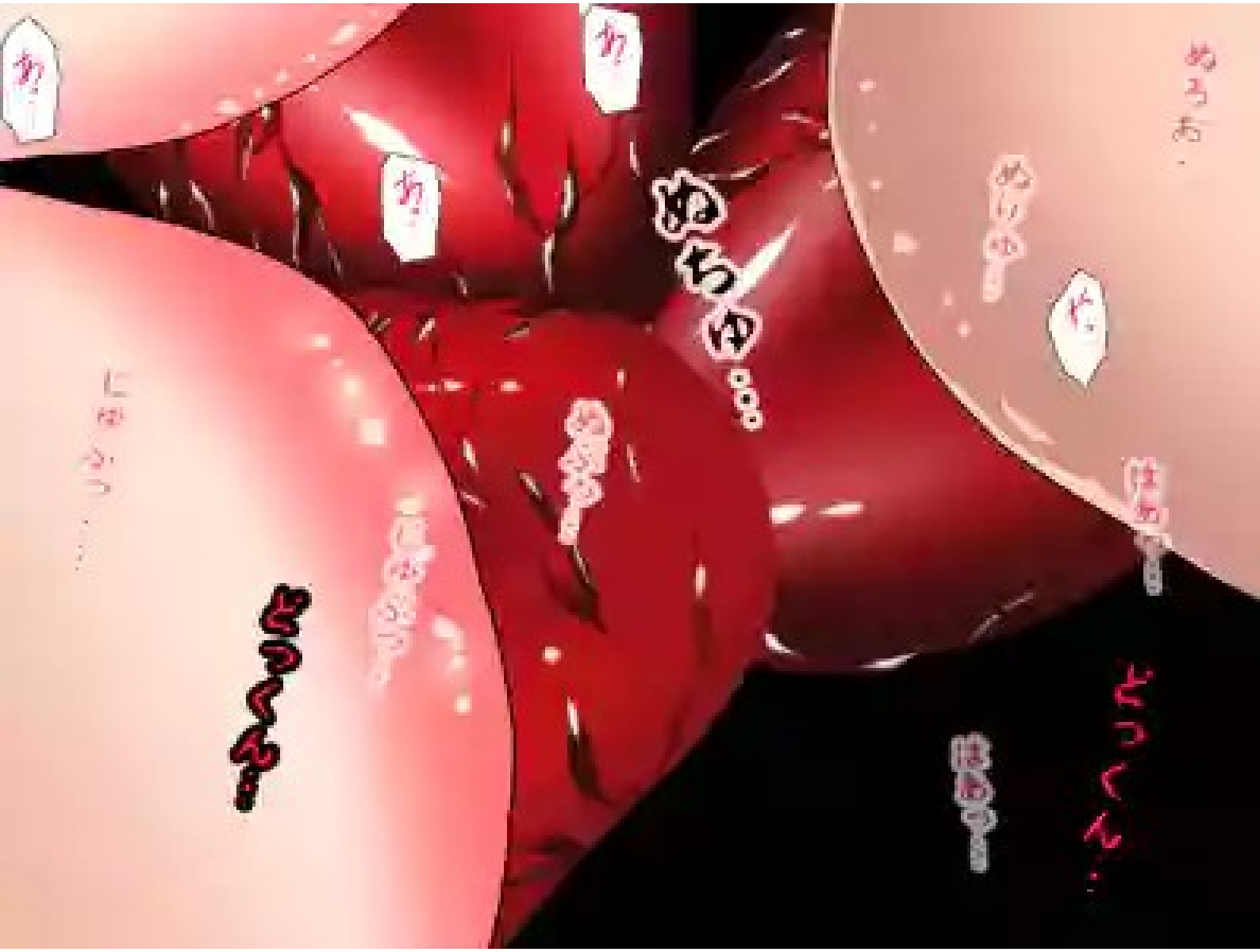
ああ…もう…
どっくん…
何が
何だか…っ

ぐちゅ
ぐちゅの…
どうくん!!
どうくん!!

どろどろ…
だ…
どっくん…
どっくん…

どっくん…
どっくん…

いいなあ…
どうくん？
はあっ…
私も
参加させて
どうくん？


ぬちゅ…
どっくん…
どっくん…

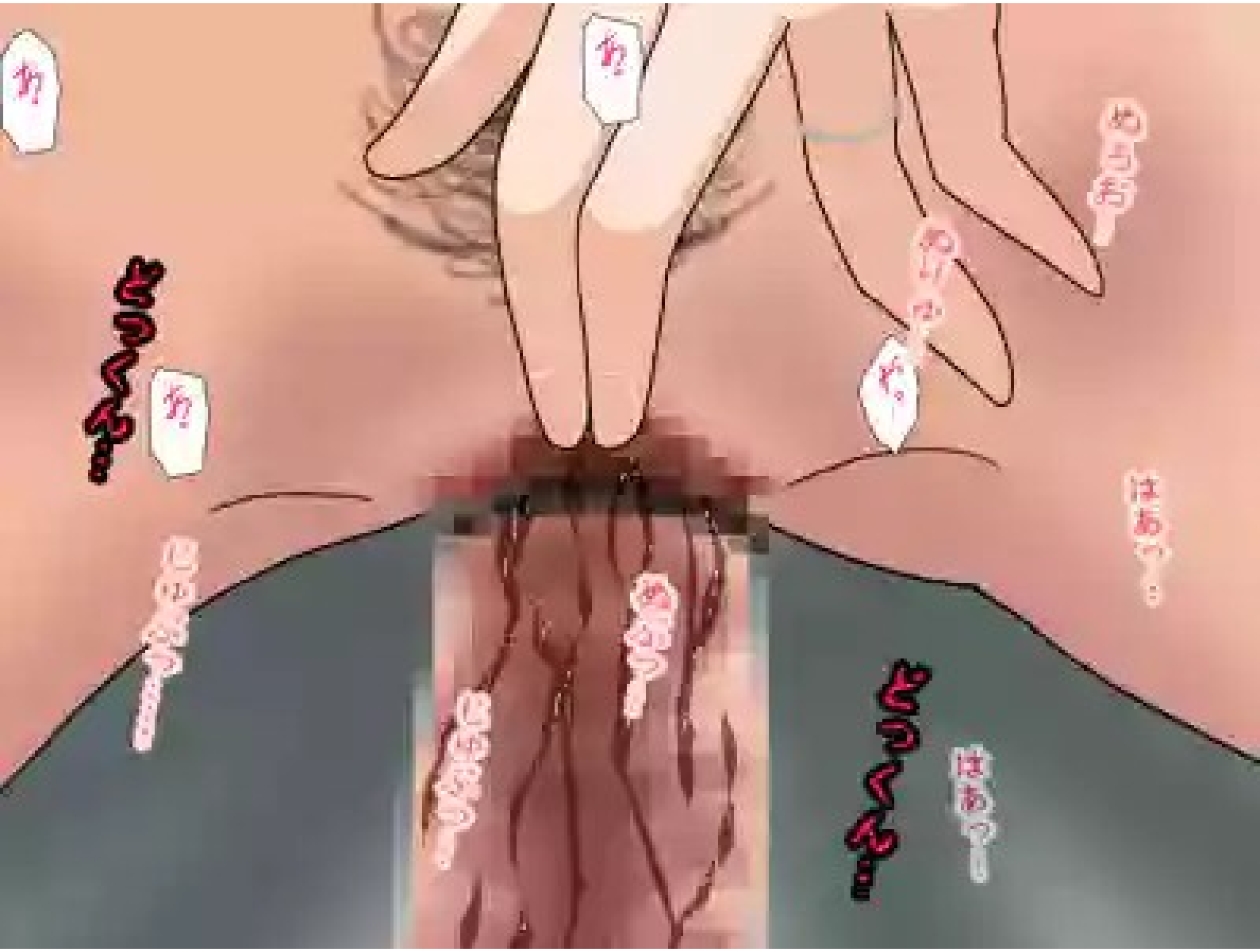
んふっ
どうくん…
んん…っ

ぬろお…
んふっ
ぬりゅ…
はあっ…
どっくん…
どっくん…
んん…っ

ああ…
だめだこれっ…
どうくん。
どうくん。

し、幸せ…
すぎるっ…
どくん…
はぁっ…
どくん…

こ…こんなのっ…
どっくん…
どっくん…



めうお…
はあっ…
はあっ…
とっくん…
とっくん…

さ、三人で
溶け合って…
とろ〜ぉ。
とろ〜ぉ。

全てを
感じ合った
まま…
ぬろぬ…
ぬりゅ…
ぬ…
はあっ…
はあっ…
どっくん…
どっくん…
どっくん…
ぬふっ…
ぬふっ…
ぬふっ…
ぬふっ…
ぬふっ…

ふっ…
んんっ…

イキたいっ……
どっくん…
はあっ…
暖かい膣肉の奥に
全部はきだしたいっ
どっくん…
はあっ…

ああ…ダメ…
んふっ…んっ
イク…
どっくん…
どっくん…
ああ…
ぼ…僕もっ…
んふっ…んっ…

ぬろお…
んふっ
ぬりゅ…
はあっ…
どっくん…
どっくん…
んん…っ

も…もう…んちゅっ
で…出そう…っ
どっくん…
どっくん…
んふっ…
い…いいわっ
き…きてっ…

ああっ…イクよ…
でるっ…んふっ…
どうくん？
わ…私も…
も、もう…
限界…っんっ…

とうくん!!
とうくん!!

あああっ
イクイク…いくっ

めるぬ…

めりゅ…

どっくん!

はあっ…

あ!

あ!

どっくん!

だめえっ
イクッ
イクイク…っ

しゅぶっ…

しゅぶっ…

あああっ…！
どっくん！
ぱぁっ…
ひくっ…
ひくひくっ…
どっくん…
あ？
あ？
あ？
あああっ…！

で…
でるううっ…！

どくっ…

どくどくっ…

どくっ…

どっくん…

はあっ…

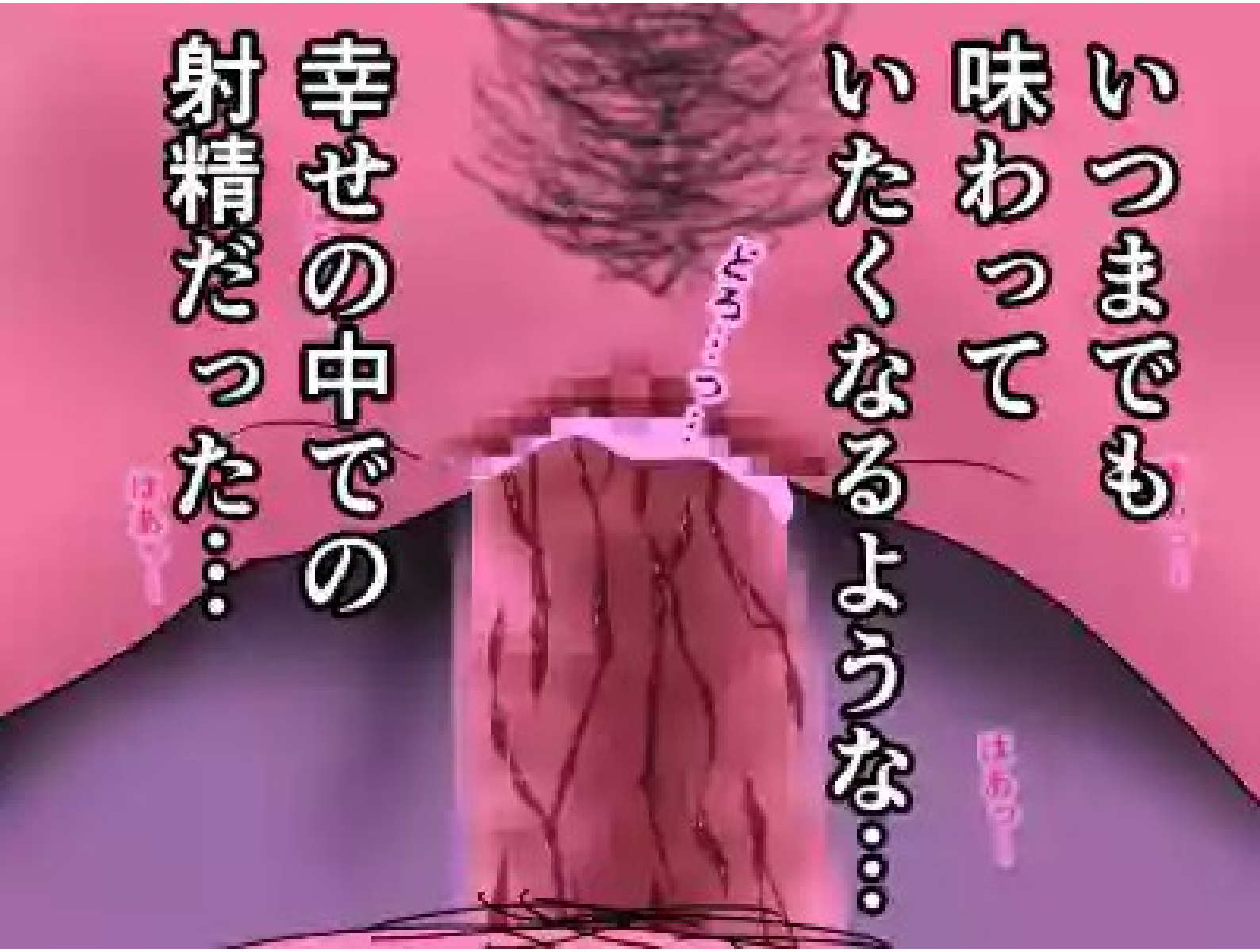
はあっ…

どっくん…

い…イクッ
イクウウウッ…！

あ…ああっ…
びくっ…
びくっ…
びくっ…
どっくん…
どっくん…
あふっ…ん…

あ…ああっ…
ひくっ…
どくどくっ…
幸せな…射精…
ひくっ
どくどくっ…
あふっ…ん…


いつまでも
味わって
いたくなるような…
どろ…っ…
幸せの中での
射精だった…

…あっ…
ずりゅっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
どっくん…
どっくん…

どうして…？
はあっ
どうして…？
はあっ
はあっ
どうして…？
はあっ

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

こうして…
最高の時間は…
嵐のように
過ぎて行った…
はあっ
どうくる…
はあっ

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

セックスだと…
あんな風に
乱れるんですね…
……
気持ち…
良かったですか？
はい…
どっくん!!
どっくん!!

どっくん…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
どっくん…
はあっ…

どうして…
はあっ
んちゅっ
はあっ
はあっ
どうして…

どうぞ…
はあっ…
はあっ…
んちゅ…
はあっ…
んちゅっ…
んちゅっ…
はあっ…
どうぞ…

どうして…
はあっ…
んちゅ…
……
……
んちゅ…
はあっ…
どうして…

ねえ…
来週の水曜日
あたり…

はあっ…

どっくん!

はあっ

…またここで…

子供…また
紫藤先生たちに
見てもらって

ね…

はあっ…

どっくん!

はあっ…

はあっ…
どっくん…
はあっ…
もう…
仕方ないわね…
はあっ…
どっくん…
はあっ…

…はっ…
どくどく…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
どくどく…
はあっ…
んっ…

どうくん…
はあっ…
ぬちゅっ…
ぬりゅっ…
はあっ…
どうくん…
ふんっ…
はあっ…
ぬりゅっ…
ぬちゅっ…
…んふっ…

あれ…？
確か今日は
どっちが
セックスできるかっていう勝負だったんじゃなかったっけ？
…んっ
んん…
はあっ
どうくん…
はあっ

…んっ
でも…
ふっ…
どっくん!!
どっくん!!
んん…

どうやら
今の二人にとってー

…んっ

そんなことは
もうどうでも
いいみたいだった…

どうくん…

はあっ…

はあっ

ぬりゅっ

ぬりゅっ

ぬりゅっ

ふっ…

はあっ

んん…

…んっ
ぬちゅっ…
はあっ…
ぬりゅっ
ぬりゅ…
ぬちゅ…
はあっ…
はあっ…
どっくん…
どっくん…
ふっ…
はあっ…
んん…

…んっ
ふっ…
んん…
どうぞ

杜戸先生と苗田ママをレズらせて3Pしちゃう夜

～ふたなりの淫魔物語～

その後の二人が
どうなったのか…
というと

カチャ
カチャ…
カチャ
……

…待ち遠しかった…

だんだん…
……
…この時間が
来るのが…
ドキドキしちゃう
ようになって
きちゃった…
私も…よ…

美那子…さ…ん…
ああ…

はあ…
んあ…

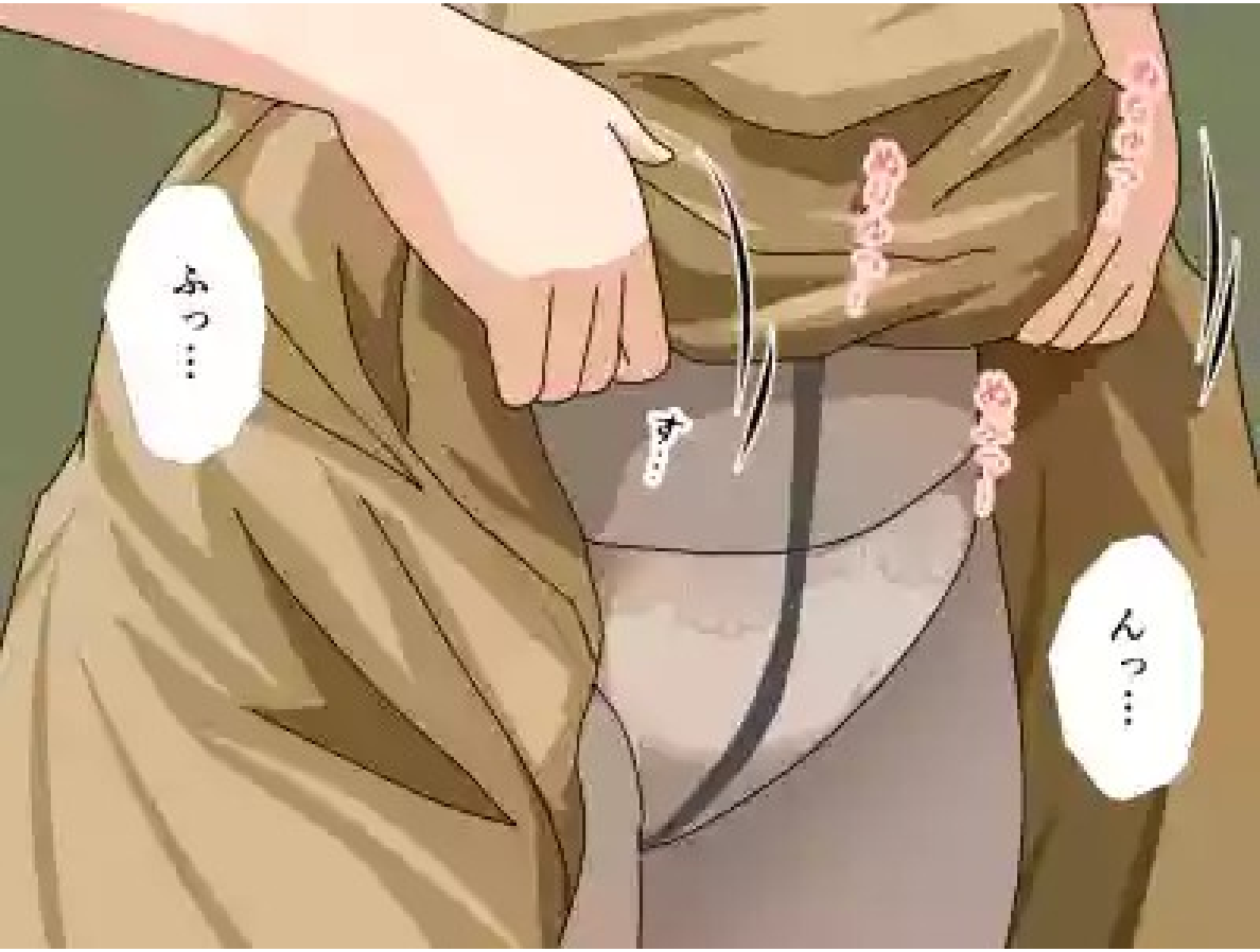
ちょ…おだ…い…
ちょ…お
だ…い…

ふふ…
わかった
わかった…
んあ…
ぬぷ…

ああ…
ふっ…
ぬちゅっ…
ぬちゅっ…
う…れし…
んふっ…
んふ…

ああ…んっ…
んっ…
好きっ…

あ…んっ…
ふっ…
ああ…
もう…
この二人…


ふっ…
ん…
ん…

んっ…
ふっ…

んっ…
ぬちゅっ
ぬりゅっ
ふっ…
…んっ…

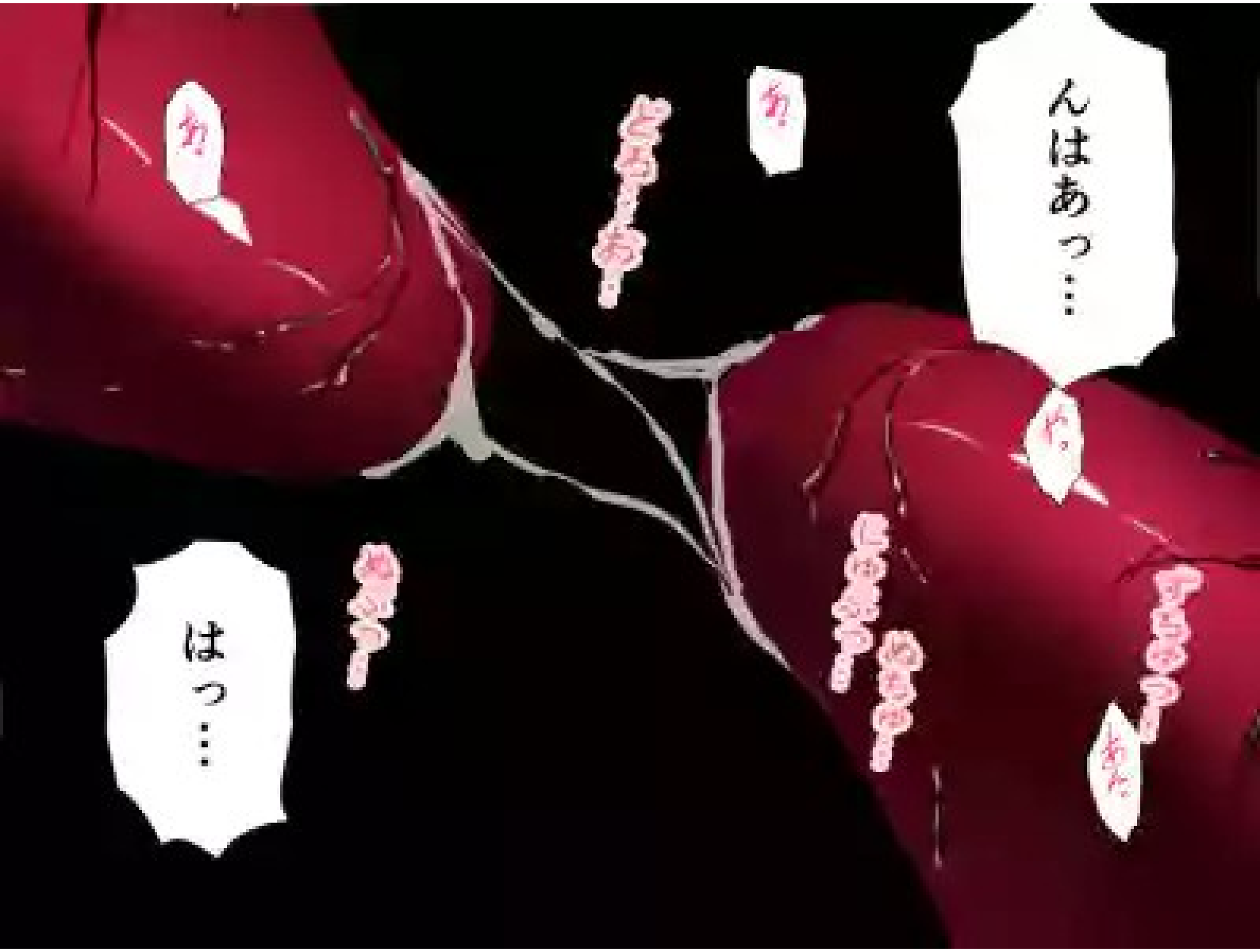
んっ…
すりっ…
むにっ…
すりっ…
むにっ…
ぬらっ…
ぬらっ…
ぬらっ…
ふっ…
…んっ…

ふっ…
すりっ…
すりっ…
むにっ…
ぐにっ…
んっ…
…んっ…

当たり前のように…
出会ってすぐにあんな愛撫をするようになってる…！
…んっ…
んっ…

実はこの二人…
あの日以来ー
すりっ
すりっ
すりっ
ふっ…
…んっ…
んっ…

毎週決まった
曜日に…
子供を預けて…
僕の家で
レズプレイを
楽しむようになっていた
ふっ…
…んっ…


んはあっ…
はっ…

はあっ…
はあ…
はあっ…

も…もうだめっ…
我慢…できないっ…
お願い…
いい…でしょっ？
アレ…
いいわ…
じゃ…脱いで…

スルッ
スルッ

スルルッ…
スッ…

お…
お願い…
早く…
はぁっ

はぁ…
ふふ…
もうこんなに
溢れて…るんだ…
んあ…
ぬちょっ…

あっ…！
ああ…っ

はああ…
あ…ふ…
ああ…

あっ…！
ああ…っ

ああ…
美那子…さ…ん…
ぬちゅっ…
ぬりゅっ…
ぬちょっ…
気持ちいいわ…

…一週間…ずっと
これ…してほしくて…
待ってたの…ああ…
うれし…い…

んふっ…
ああっ…
はあ…あっ…

改めてこの二人が…
こんなことに
なるなんて…
あぁあっ…
はあ…あっ…

ああっ…！
あ…あっ…

ああっ…！
不思議な感覚だった…。
あ…あっ…

す…
する…っ

ふふ…
ほら…
かちゃ…
かちゃ…

すご…い…
おちんちん…が…
生えたみたい…

あん…っ…
ぬとっ

せ…先生…！
あんなもの…
一体どこから…！
ぬろぉ

ぬっ…
ぬりゅ…
ぬちゅ…
んっ…
ふ…
不思議ね…
作り物のオチンチンなのになんだかゾワゾワしちゃう…

あー…
すごい…
変な感じ…
んっ…
ふ…
……

これ…？
ふふ…
借りて
きたのよ…
借りて
きたって…
まさか
原崎先生…？

は…原崎先生って
こ…こんなモノまで
持ってたのか…
確かにそっち方面の
気があるのかなとは
思ってはいたけど…

ま…まさか
僕の知らない
ところで
普段から二人で…

ふふ…

あっ…
ぞくっ…

な…なにこれっ
わ…私っ…
女同志なのに
美那子さんに
犯されてるっ…

ふふ…変な気分…
男の人って
こんな感じなんだ…
ゾクゾク
しちゃう…

ふふ…どう？
私のオチンチン
気持ちいい？
ああっ…
き、気持ちいい…
で…すっ

し…信じられない
光景…っ
ま…まさか…
あの杜戸先生が…

ゆ…ゆり菜さんを…！

ペ…ペニバン
付けて
犯してるなんて…

た…確かに…
二人のレズプレイが
見たいと
言い出したのは
僕自身なんだけど…

まさか二人が
僕の手を離れて
自分たちで
ここまで
発展させちゃう
とは…！

とはいえ―

僕だけ
蚊帳の外と
いうわけ
ではなく〜

我慢できずに
チンポを目の前に
差し出すと…

ぬろ…お…
ぬぷっ
にゅぷっ
にゅぷっ

うっ…

ああ…
はあああ…

当たり前のように
彼女たちは
それを受けいれ…
愛撫してくれるんだ…

ああ…いい…
うお…
…ああ…
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ…お…
ぬるっ…お…
ぬるっ

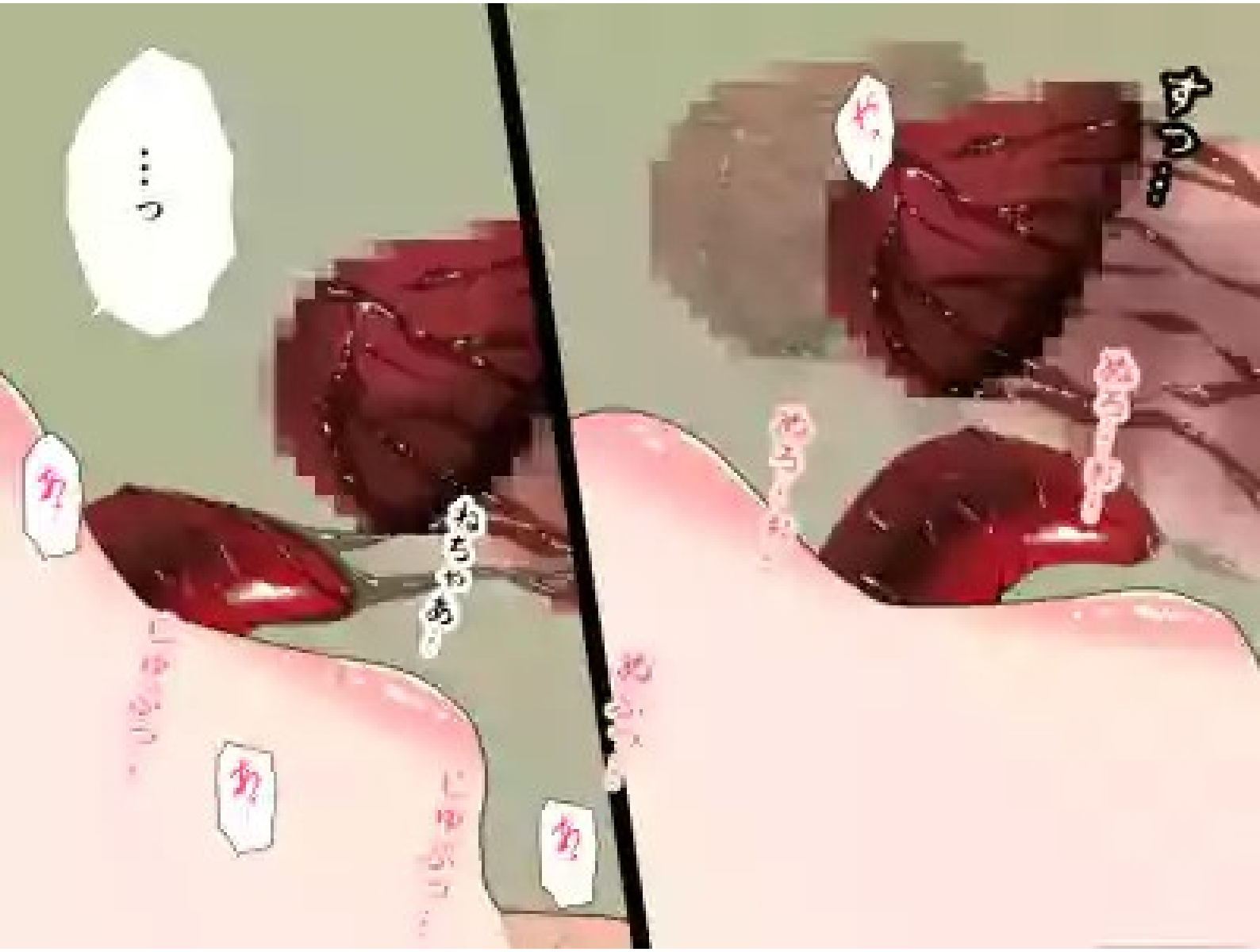
チンポの下で…
ぬめぬめしたものが
這いずり回って…
変な…感じ…

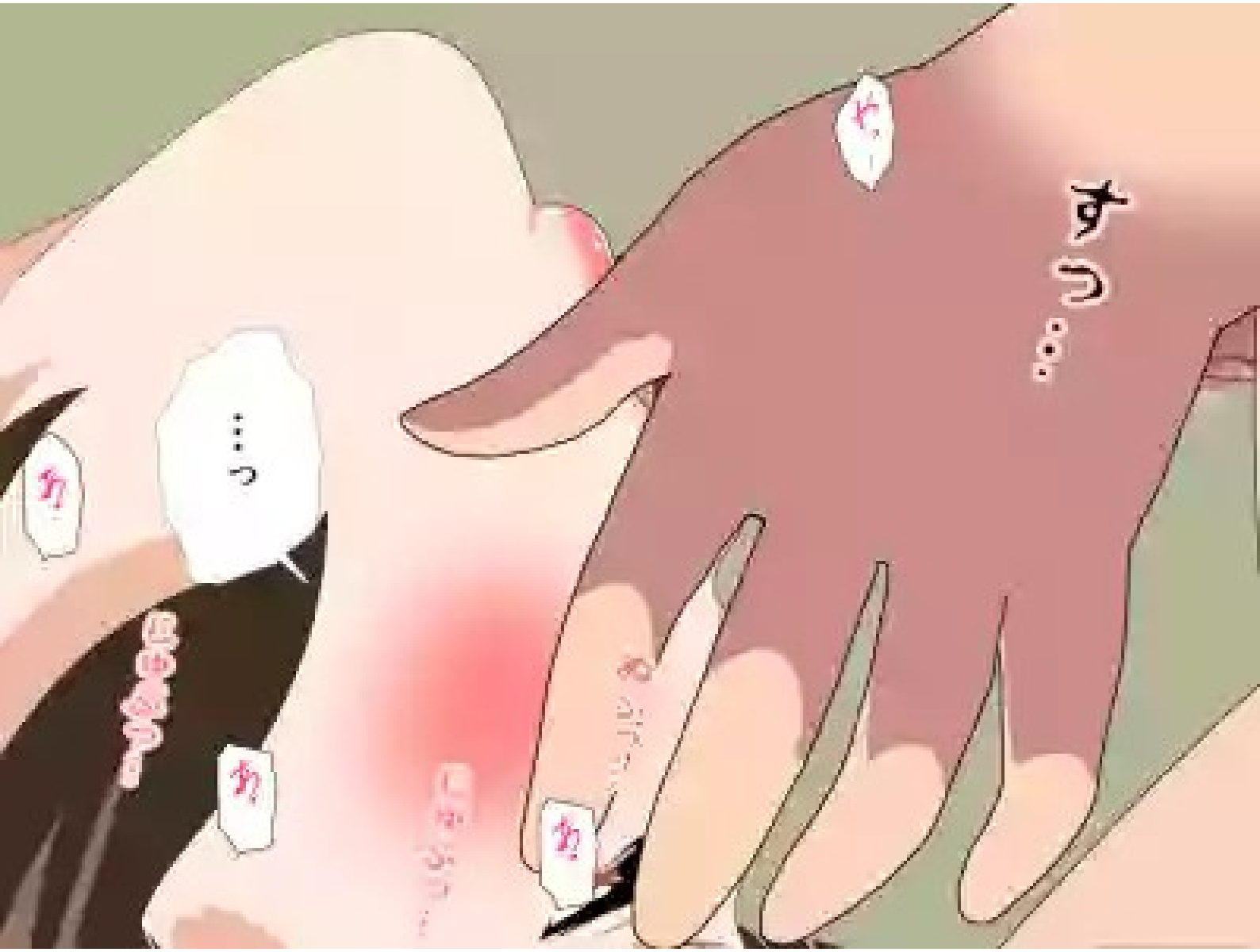
目の前に広がる
この光景を
見ながら…
裏筋
舐めまわされ
てる…

これ…
やべー…!

ああ…
はあああ…

きもちいいい…
やばいくらい


…っ
ぬちゃあ
ずっ！


すっ…
ど、
…っ
あ
あ

がしっ…
…っ

んごおっ…
ふごっ…
んぐっ…

んぐっ…
ふごっ…
んごおっ…

んぐっ…
なんでも
受け入れて
くれる…
んごっ…
ふごっ…

僕が望めば――…
ふごっ…
んぐっ…
んごおっ…

はっ…
はっ…
んぐっ…
ふごっ…
まあ…
すごい…

はっ…
何だか二人で
ゆり菜さんを
犯してるみたい…
んぐっ…
はっ…
ふこっ…

はっ…
ふごっ…
はっ…
前からー
んぐっ…

はっ…
ふごっ…
後から…
んぐっ…
はっ…

はっ…
二人がかりで
串刺しにして
犯してるみたい
だわ…
ふごっ…
…！
はっ…
んぐっ…

はっ…
ゆり菜さんを
二人で
串刺しにして…
ふこっ…
はっ…
んくっ…
…犯してる…

はっ…
ああ…
ふぐっ…
はっ…
なんだ…
これ…
んぐっ…

んぐっ…
やべえ…
ふごっ…
んごおっ…
やばすぎる…

はっ…
んぐっ…
はっ…
ふごっ…

た…たまんねえ…っ！
ふごっ…
んぐっ…
んごおっ…

はっ…
はっ…
んぐっ…
ふごっ…
ああっ…これっ
こ…興奮するっ…

んぐっ…
んごっ…
ふごっ…
……この…
光景が…！

んぐっ…
ふごっ…
んごおっ…

お…おおうっ…

ふふ…
興奮して
気持ちよく
なっちゃった？

オマンコが
欲しくなったら
いつでも
言ってね…

私たちの
オマンコは…
いつでもあなたを
迎え入れる準備が
できているから…

はっ…
……っ
ふごっ…
…！
はっ…
んぐっ…

んぐっ…
ああ…
んごっ…
ふごっ…
また…
幸せな気持ちが…

んごっ…
ずりゅっ…

かはっ…
ごほっ…
僕の中に
広がっていく…！

ずりゅっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

彼女たちが
どれだけレズに
ハマろうと…
はあっ
はあっ
はあっ

僕が挿れたくなったら…
いつでも
ぬれぬれの
マンコ(あそこ)を
差し出してくれる

きて…
はあ…
はあ…
はあ…
さあどうぞ…
挿れてあげて

それが彼女たち…
きて…
さあどうぞ…揉んであげて

だって
彼女たちは
「僕のオンナ」
なんだから！

ちゅく…

ああ…

かちゃっ…

はあっ

かちゃっ…

はあっ

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
オチンチンは
譲ってあげるから…
…私も
気持ちよくして
よね…

はあ……あ……！
はあっ
ぬろ……お……
あっ……
はあっ
はあっ

はああ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
あんっ…！
なんだかー

あんっ…
やんっ…
お…おお…
彼女たちのレズに
参加するのって…
すぶぶ…

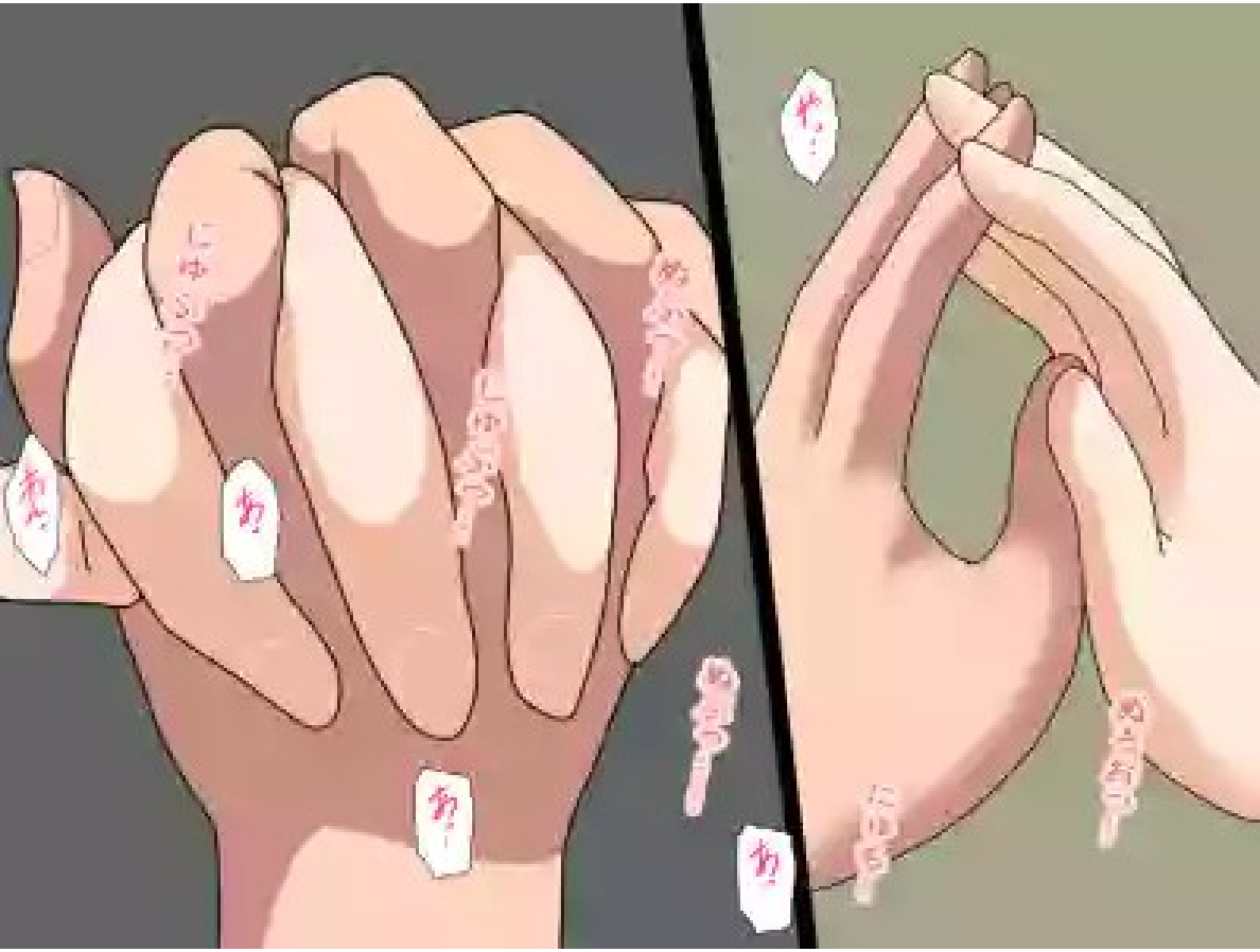
あんっ…
やんっ…
お…おお…
僕が置かれている…
今の幸せを…
改めて確認する作業
みたいだ…

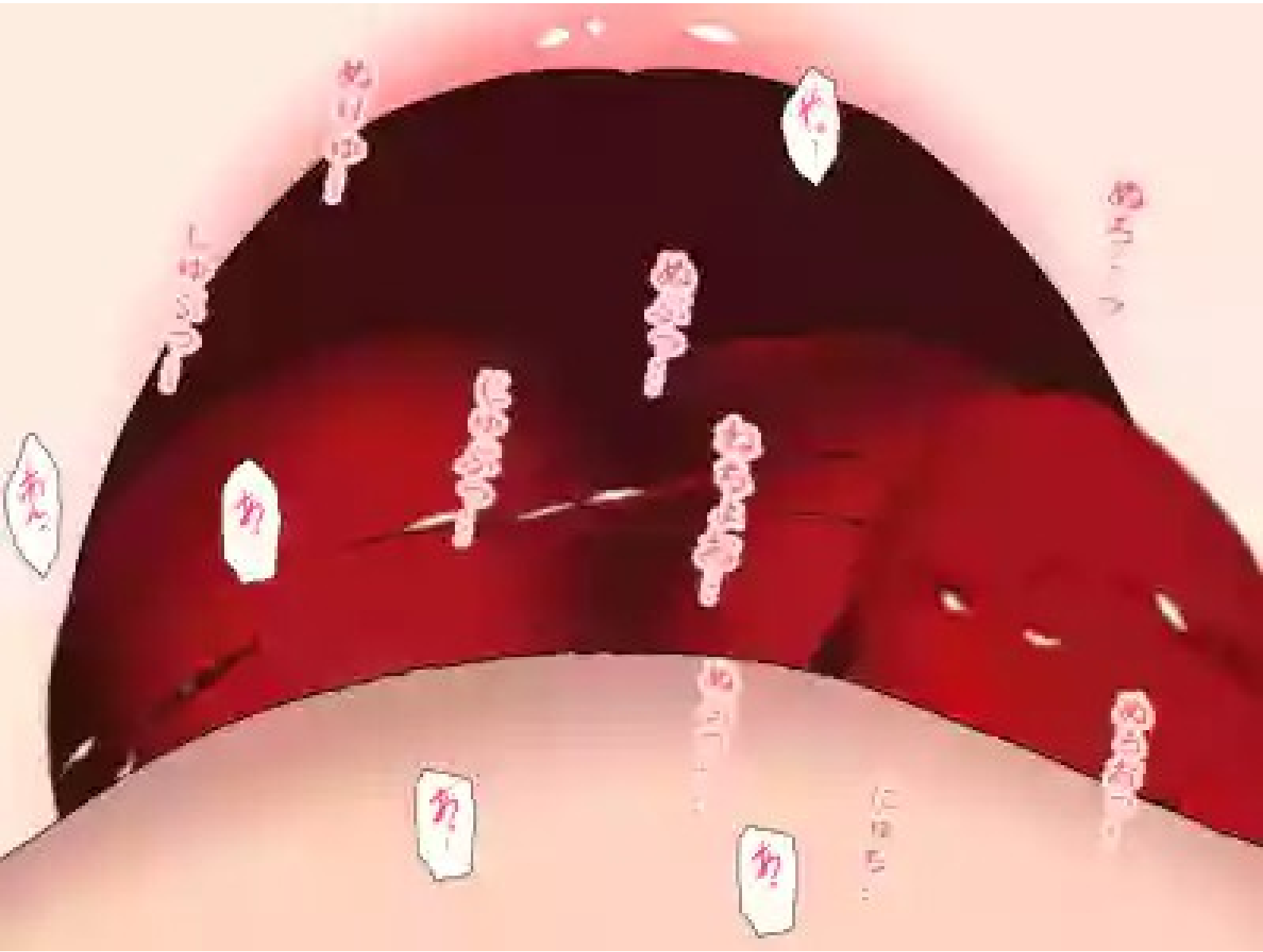
うわ…
すっげー
中ぬるぬる…
杜戸先生に
ペニバンで犯されてたから
もうぐちゅぐちゅに
仕上がってる状態だ…

……
すごい景色だ…

二人をレズらせて
みた成果…
やって
良かったな…

お願い…
んあ…
キス…
キス…





やば…

これ…
3人…
つながってる
感じがする…

彼女たちの
レズプレイに参加して
3Pになると…
最後はいつも
これ…

色んな所で繋がって…
どこからが自分の身体か…

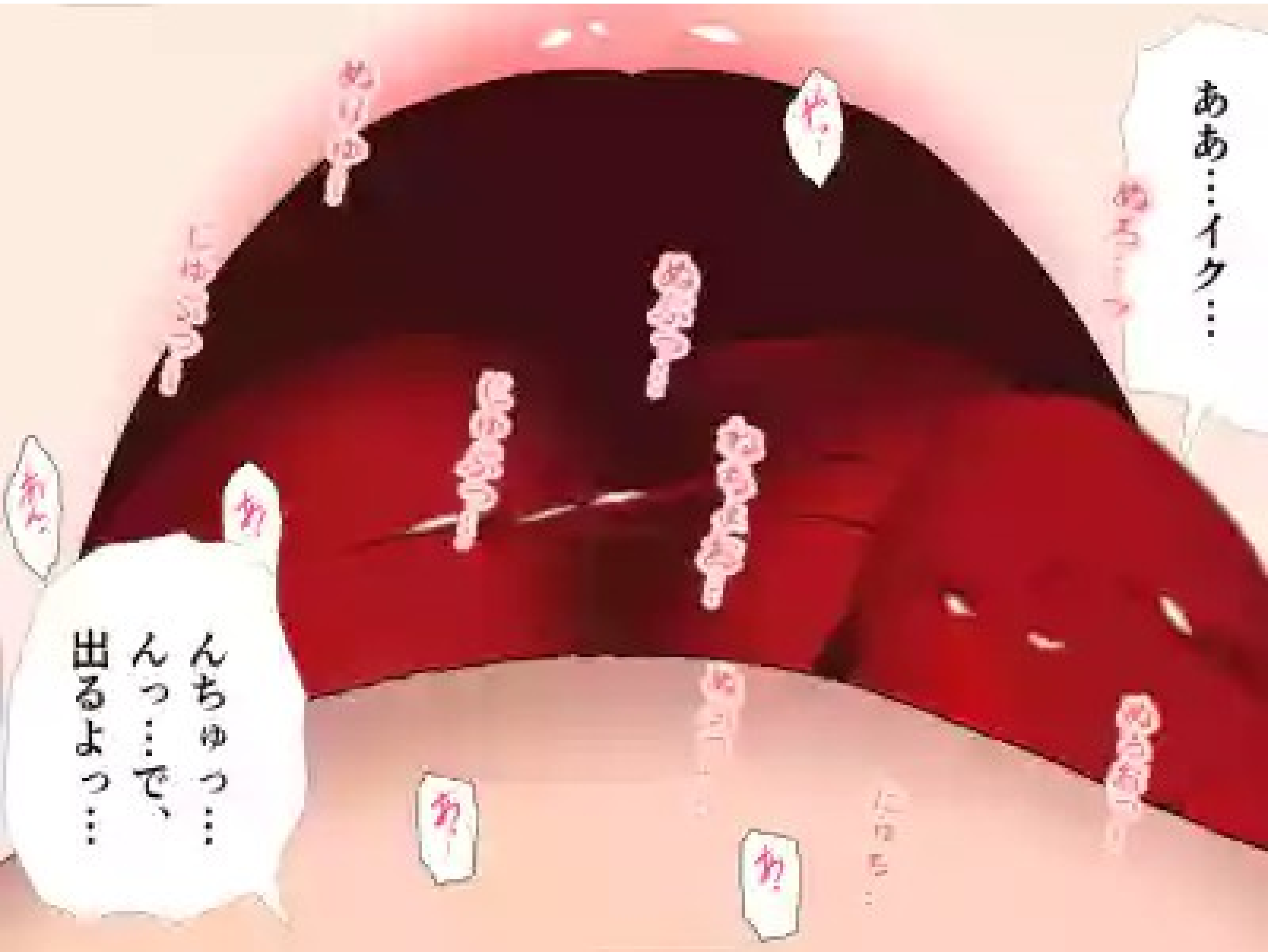
わかんなくなる感覚…
ああ…
…また…

三人で
溶け合って…
幸せに
満たされたまま…
射精したい…

二人の体温と…
舌と…舌…
マンコとチンポを
絡ませあって…
溶け合った
まま…

また…
膣内に全部
吐き出したい…
どくどく
どくどく…

杜戸先生も…
ゆり菜さんも…
大好きだ…


ああ…イク…
んちゅっ…んっ…で、出るよっ…

あぁっ…
一緒にっ…
んちゅっ
みんなで
一緒に…

ああっ…
私も…
もうっ…
イキ…たい…
一緒にっ…

ああ…
もう出るっ…
一緒に…
一緒に…っ！

ああっ…
あああっ…

んはっ…
んはっ…

イクイクイク…ッ
イクっ…
でるっ…

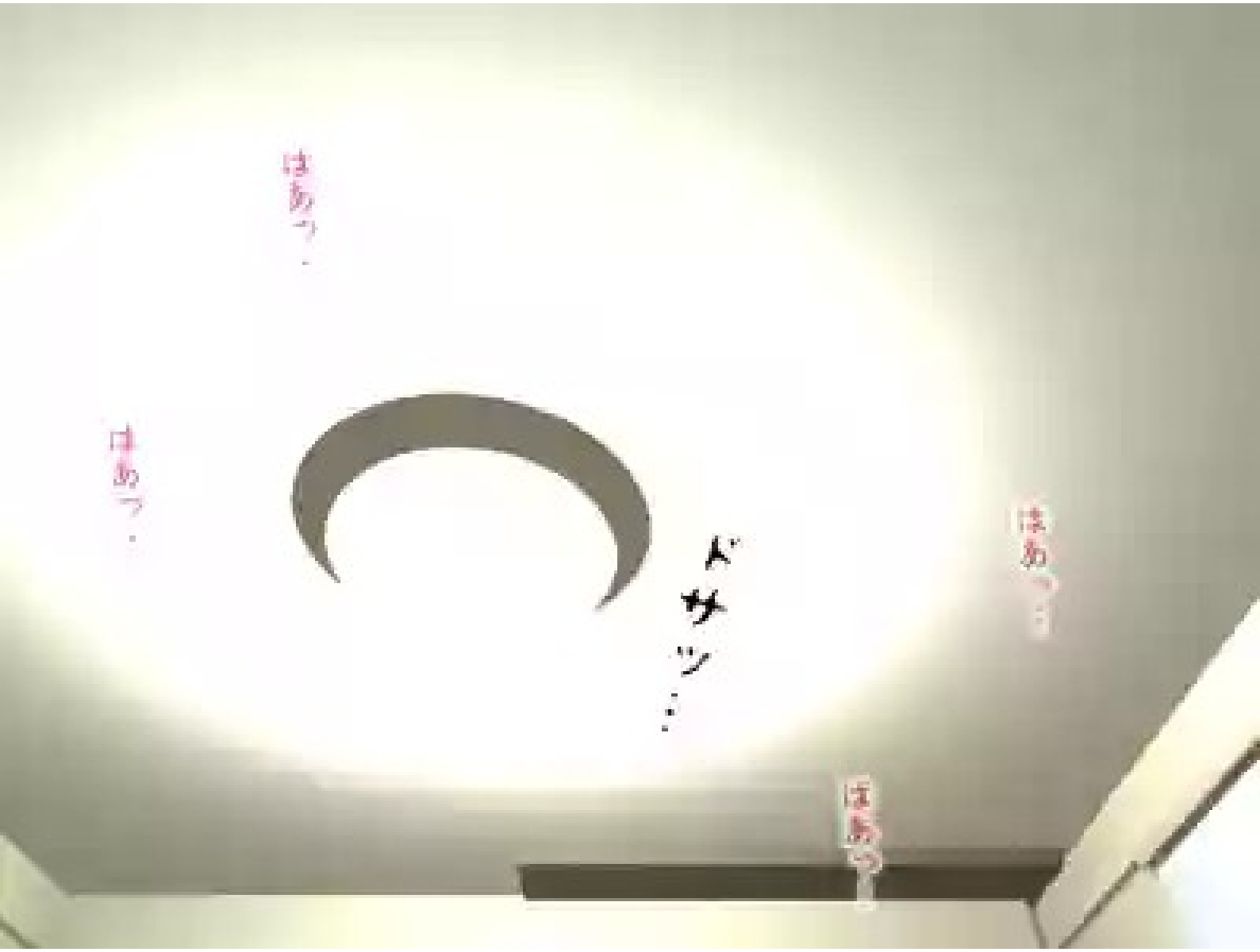
ああっ…
でるう…
あっ…あああっ
どっくん…
ドクッ…
ああっ
イクっ…！
ドクドクッ
どっくん…
どっくん…

あはっ…ふっ
はあ…あ…
ひくっ…
ひくひくっ…
ひくっ…
ひくひくっ…
ひくっ…
あ…あああ…

はあ…あ…
びくっ…
びくびくっ…
びくっ…

はあ…あ…
ずりゅッ

はあ…あ…
ぶぎゅっ…
ぐちゅっ…


はあっ…
はあっ…
バサッ…
はあっ…
はあっ…

はあっ。
はあっ。
はあっ。
はあっ。

今日も…結局…
3Pまで
しちゃった…
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

でもまあ
僕の部屋で
あんな
レズされたら
こうなるよな…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
見てる
だけなんか
できないよ

はあっ…
はあっ…
はあっ…
はあっ…
……

ま…二人も
幸せそうだし…
いっか…

ま…二人も
幸せそうだし…
いつか…

杜戸先生と苗田ママをレズらせて3Pしちゃう夜

～ふたなりの淫魔物語～

僕はその時…
ふと昔のことを思い出していた

……？
あ……

まあいいわ…
とりあえず
ちょっと…
「そっちの女」に
話があるの…

あの時の二人の
険悪な雰囲気…
私…？
二人っきりで
話したいわ…
い、いかしら？
あの…っ
どうして
先生がここに…？

あ、見て
ゆり菜さん！
これ…
かわいくない
ですか？
ほんと！
いいわね
子供に
買ってあげよう
かしら

あれから…
まさか二人が
こんな仲になるなんて
思いもしなかった

今じゃ
僕のハーレムの中でも
一番仲がいい
二人になった

あっ…！
ああっ…！
いっくっ…！
あああっ…！

でもまさか…
二人の
仲をつないだのが
あの濃厚な
レズプレイがきっかけ
だったなんてね…

人と人との関係なんて
わかんないもんだな…
…ね？
あんたは
どうする？

だからー
私たちこれから
女二人で
ラブホテルに
行ってみようかと
話してたんだけど…
なに？
聞いて
なかったの？

あんたも来る？
ま…来なくても
私たち二人で
楽しんじゃうけどね
来るでしょう？
また新しい
すごいの
持って来てる
んだって！

あの時…
二人にレズプレイを
見せてくれって頼んで
ほんとに良かったと
今の二人を見て思う

これからも二人の
レズ関係が
どう発展していくか

愉しみながら
見守っていこう
あ、待って！
勿論
行くよー！

完

あとがきのようなもの

いかがでしたでしょうか。古田ママと杜戸先生のレズ企画。

今までも読者様から、「レズがみたい」というご意見を、かなり頻繁にいただくことがありまして。
需要があるならばと当初、この作品はFantia内で、無料で下書きのような状態で公開したものだったのですが、結果300ページ近くも描いてしまい、せっかく作ったのだからちゃんと着彩して発表しようと考え、完成させたのがこの作品です。レズという一つのジャンルに絞ってのスピンオフは初めてだったので、作っていて新鮮でした。

ただ、私の過去の作品と違い、寝取りや目覚めがでてくることもなく、ただレズするだけのお話なので、私の今までの作品のような背徳感や非道徳感などは無かったと思います。この作品の位置づけとしても、長らく制作してきた性教育と浮気研究部の中のヒロイン的な立場（だと個人的には思っている）の二人が、その後こんなことになったんだよと、「キャラのその後」を幸せな気持ちとともに愛でていただければ嬉しいなという思いを込めて作りました。
あの長編を楽しんでいただいた読者様に、+αで、楽しんでもらうためのスピンオフ、
あくまでファンディスク的な位置づけの作品と捉えていただけると嬉しいなと思います。

この後は、催眠学園第二話の制作に入ります。少し間が空きましたが、その間色々妄想が膨らんでおります。そちらは背徳感マシマシの精神的な感じになると思います。できれば今年の秋には発表したいです。
良かったらそちらもチェックしてみてください！

この作品が皆様のオカズになれていることを祈って：作者　えんぢ

鋭意制作中！
踏み入れてはイケない境界線―
揺れ動く…女としての性…
サークルENZIN的
催眠学園
第二話